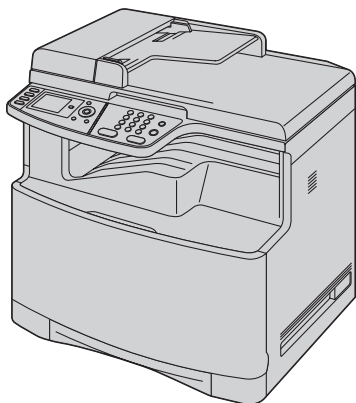
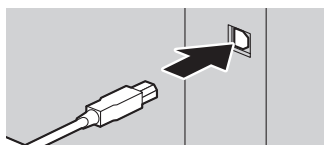
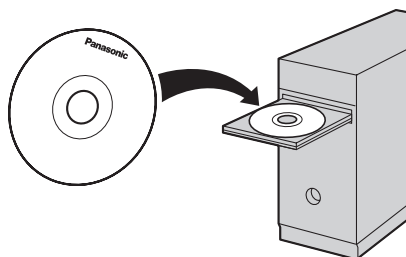
Panasonic®

取扱説明書

カラーレーザー複合機

品番 KX-MC6280N

Multi-Function Station（CD-ROM）のインストール中は、接続の指示があるまで本機をUSBケーブルでコンピューターに接続しないでください。

添付の「取扱説明書（基本編）」には、本機を安全にお使いいただくための注意事項や本機の主な仕様など、基本的な内容を記載しています。

FOR ENGLISH USERS:
You can select English for the display and report (feature #110, page 74).

- 本機は発信者番号通知に対応しています。ご利用にあたっては、サービスプロバイダー／電話会社から提供されているサービスへのお申し込みが必要です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機では、操作に使用する言語を日本語と英語から選択できます。
選択した言語が使用されます。初期値は日本語です。設定の変更方法については、74ページの機能#110を参照してください。

お知らせ
- 用紙の印刷面を消しゴムなどでこすらないでください。印刷がにじむおそれがあります。

製品廃棄、譲渡、および返却時のご注意
- 本機では、個人情報や機密情報を保持できます。プライバシー／機密保護のために、本機を廃棄、譲渡、返却する前に、電話番号（または発信者情報）のような情報の消去を推奨します。
- お客様の大切な情報の流出による不測の損害を回避するため、SDカードは必ず取り出してください。

環境への取り組み
- パナソニックは、より多くの製品の再利用や、無駄をなくした梱包の実践といった省エネルギーデザインの商品開発を通して、製品ライフサイクルのあらゆる側面において環境への配慮を戦略的に取り入れています。

商標
- Microsoft、Windows、Windows Vista、及びInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- スクリーンショットは、Microsoft Corporationからの許可を受けて使用されています。
- Adobe及びAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- 3Mは、3M Companyの商標または登録商標です。
- Averyは、Avery Dennison Corporationの登録商標です。
- PCLは、Hewlett-Packard Companyの商標です。
- SD、SDHC、miniSD、miniSDHC、microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- 本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

本来の性能を発揮させるために

トナーカートリッジとドラムカートリッジ

- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを交換する場合、ドラムにほこり、水、または液体などを接触させせないでください。印刷品質に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 本機を正しくお使いいただくために、パナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジのご使用をお勧めします。パナソニック製以外のトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの使用に起因して次のような問題が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
  - 本機の損傷
  - 印刷品質低下
  - 動作不良

トナーカートリッジ

- トナーカートリッジを保護袋から出した状態で長時間放置しないでください。トナーの寿命が短くなります。

ドラムカートリッジ

- ドラムカートリッジの設置を始める前に、11ページ の説明をよくお読みください。説明を読み終えた後、ドラムカートリッジ保護袋を開封してください。ドラムカートリッジには、感光性のドラムが含まれています。光に当てると、ドラムを損傷するおそれがあります。一旦、保護袋を開封したら、次の点に注意してください。
  - ドラムカートリッジを光に45秒以上当てないでください。
  - ドラムカートリッジ底面の緑色のドラム表面に触れたり、傷つけたりしないでください。
  - ドラムカートリッジをほこりや汚れの近く、または湿度の高い場所に置かないでください。
  - ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。
- 印刷直後に電源スイッチをオフにしないでください。ドラムカートリッジの寿命が短くなります。印刷後は電源をオンにしたままで30分以上放置してください。

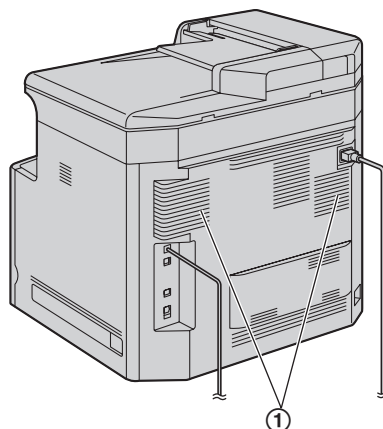
設置場所

- 不具合を避けるため、テレビやスピーカーなど強い磁気を発生させる機器の近くに本機を置かないでください。

静電気

- 本機内部のインターフェースコネクターまたはその他の電気部品の静電気による損傷を防止するため、電気部品に触れる前には、必ずアースに接続されている金属面に触れてください。

使用環境

- 蛍光灯やモーターなど電気的ノイズを発生させる装置に近づけないでください。
- ほこりの多い場所、高温の場所、および振動する場所には置かないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 本機の上に重い物を載せないでください。長期間使用しない場合、電源コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。
- ヒーターや台所用レンジなど熱源機器には近づけないでください。湿気の多い地下室への設置も避けてください。
- 本機の右側、左側、および後面から10 cm以内には物を置かないでください。
- 本機のスロットまたは開口部をふさがないでください。定期的に通風孔を点検し、掃除機でほこりを取り除いてください（①）。

日常のお手入れ

- 本機の表面をやわらかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー、または研磨剤は使用しないでください。

法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますので十分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
  1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  2. 未使用の郵便切手、官製はがき
  3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要

最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。

2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

1. 概要および設置

2. 準備

3. プリンター

4. スキャナー

5. コピー

6. ファクス

7. 発信者番号通知

8. プログラム設定

9. お役立ち情報

10.ヘルプ

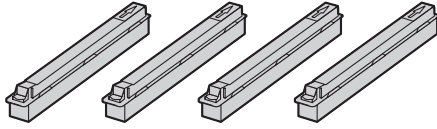
11.紙詰まり

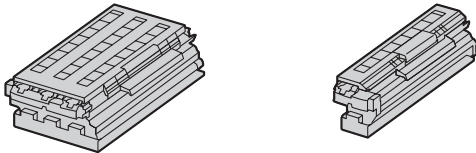
12.清掃

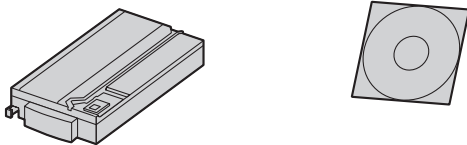
13.一般情報

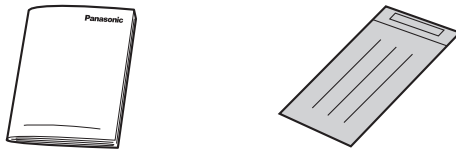
14.索引

1.1 付属品／添付品

① トナーカートリッジ（スターター）（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）[*1]

② ドラムカートリッジ（カラー）

③ ドラムカートリッジ（モノクロ）

④ 廃トナーカートリッジ（本機内部に取り付け済み）

⑤ CD-ROM

⑥ 取扱説明書（基本編）

⑦ 保証書

⑧ かんたん設置ガイド

⑨ 電源コード

⑩ 電話機コード

*1 ISO/IEC 19798で規定されたページを1,000ページ印刷します。

お知らせ
- 購入時の段ボール箱と梱包材は、本機の輸送および運搬に備えて保存しておいてください。
- 本機を箱から取り出した後は、電源プラグキャップや梱包材を適切に取り扱ってください。

1.2 消耗品／オプション品情報

■消耗品

本機を正しくお使いいただくために、弊社ではパナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジのご使用を推奨します。

– トナーカートリッジ

カラー	品番
シアン	KX-FATC506N
マゼンタ	KX-FATM507N
イエロー	KX-FATY508N
ブラック	KX-FATK509N

- ISO/IEC 19798で規定されたページを4,000ページ印刷します。

– ドラムカートリッジ（カラー）
- **品番：KX-FADC510N**

– ドラムカートリッジ（モノクロ）
- **品番：KX-FADK511N**

– 廃トナーカートリッジ
- **品番：KX-FAW505N**

■オプション品

– 増設カセット
- **品番：KX-FAP317N**

– 自動両面印字ユニット
- **品番：KX-FAB318N**

– ハンドセットユニット
- **品番：KX-FA103N**

お知らせ
- ISO/IEC 19798の規定は下記の通りです。
  – 環境：23 ± 2 ℃ ／ 50 ± 10 % RH（相対湿度）
  – プリントモード：連続印刷

1.3 ボタンの説明

❶【コピー】
- コピーモードに切り替わります（21、48 ページ）。

❷【スキャン】
- スキャンモードに切り替わります（21、42 ページ）。

❸【拡張機能】*1
- 基本機能／拡張機能設定に切り替わります。

❹【機能】
- 機能設定を開始または終了します。

❺【セット】*1
- 機能設定中に設定を保存します。

❻【再ダイヤル】【ポーズ】
- 最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。ファクス送信時に話し中の場合、本機は自動的にその番号を2回以上再ダイヤルします。
- ダイヤル中にポーズを挿入します。

❼【フック】
- 専用電話サービスにアクセスするか、内線電話を転送します。

❽【トーン】
- ご利用の回線がダイヤル回線の場合、ダイヤル時にダイヤル回線からプッシュ回線に一時的に切り替えます。

❾【ファクス受信モード】
- 自動応答設定をオン／オフにします（62 ページ）。

❿【ファクス】
- ファクスモードに切り替わります（21、55 ページ）。

⓫【プリント】
- プリントモードに切り替わります（21、38、40 ページ）。

⓬【戻る】*1
- 前のディスプレイに戻ります。
- 文字／数字を消去します。

⓭ ナビゲーターキー *1
- 目的の設定を選択します。
- 音量を調整します（23 ページ）。
- 保存されている項目を検索します（58 ページ）。

⓮【着信メモリー】
- 発信者番号通知サービスの発信者番号を表示します（71 ページ）。

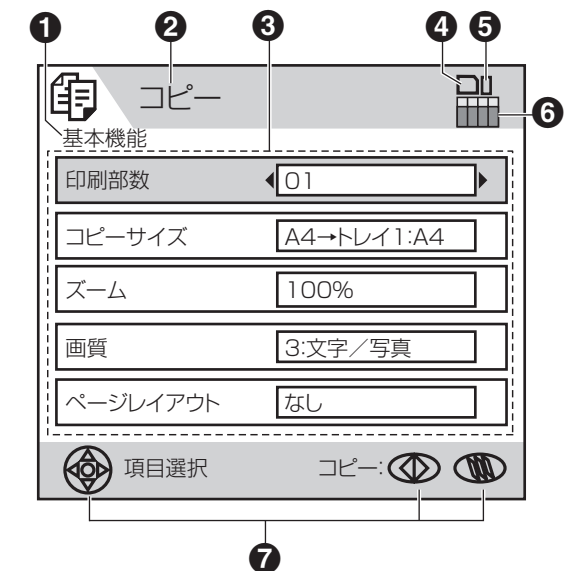
⓯【モニター】
- ダイヤルを開始します。
  受話中に【モニター】を押すと、相手側の音声が聞こえます。こちらの音声は相手に聞こえません。

⓰【モノクロ】
- 原稿を白黒でコピーします（48 ページ）。
- 原稿を白黒でスキャンします（プッシュスキャン）（42 ページ）。
- 原稿を白黒でプリントします（ダイレクトプリント）（38、40 ページ）。
- ファクスを送信します（55、64 ページ）。
- 受信したファクス文書を印刷します（66 ページ）。

⓱【カラー】
- 原稿をカラーでコピーします（48 ページ）。
- 原稿をカラーでスキャンします（プッシュスキャン）（42 ページ）。
- 原稿をカラーでプリントします（ダイレクトプリント）（38、40 ページ）。

⓲【ストップ】
- 操作または機能設定を中止します。

*1 詳細については、9 ページを参照してください。

1.4 ディスプレイの説明

❶ 機能モード
- 機能モードを表示します。

❷ ステイタスバー
- 操作モードを表示します（21 ページ）。
- 日付と時刻を表示します（24 ページ）。
- エラーメッセージを表示します（110 ページ）。

❸ メインディスプレイ
- 機能設定を表示します。
- SD™カードに保存されている画像のサムネールイメージ（38 ページ）または受信したファクス文書（65 ページ）を表示します。
- エラーメッセージを表示します（110 ページ）。

❹ SDカードアイコン
- このアイコンはSDカードが挿入されているときに表示されます（101 ページ）。

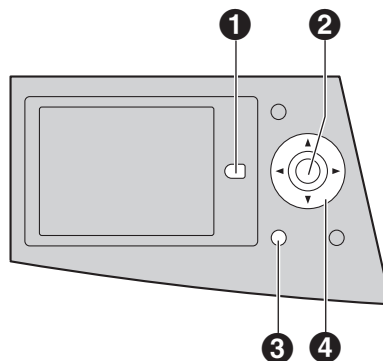
❺ SDカードアクセスアイコン
- このアイコンはSDカードが挿入されているときに表示されます（101 ページ）。
- このアイコンはSDカードへのアクセス時に緑になります。

❻ トナーカートリッジ寿命
- 各カラーのトナー残量を表示します。

❼ ボタン操作ガイド
- 選択中の操作に対して利用可能なボタンを表示します。

お知らせ
- 表示されるメニュー項目は、操作に応じて異なることがあります。現在のページに表示されていないメニュー項目を選択するには、ナビゲーターキーを使用して上または下にスクロールしてください。

1.4.1 ディスプレイとボタン

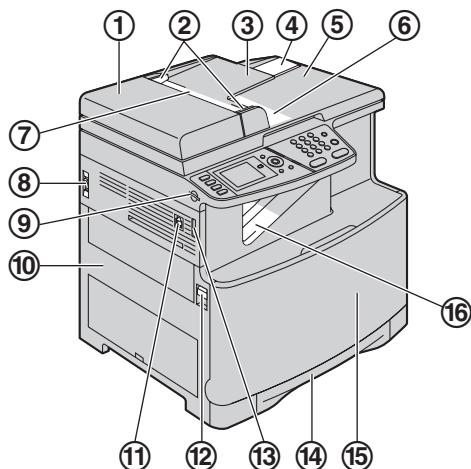
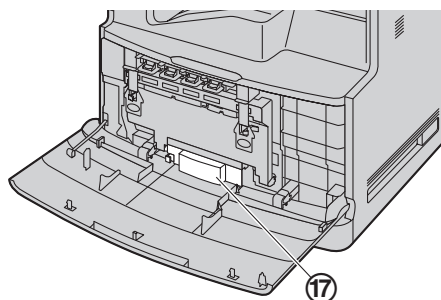
操作項目の移動または表示項目の選択には、次のボタンを使用できます。

❶【拡張機能】
- 機能モード（基本機能と拡張機能）の表示を切り替えます。
- 操作中に機能設定を変更します。

❷【セット】
- 機能設定中に設定を保存します。
- “√”を付けて、項目を選択します。または、“√”を削除して、項目の選択を解除します。

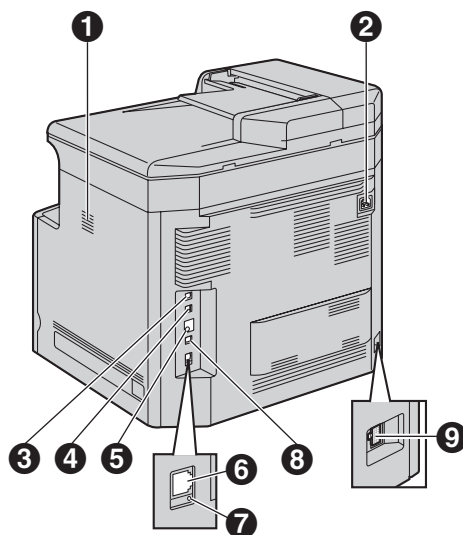
❸【戻る】
- 前のディスプレイに戻ります。
- 設定を維持したまま操作を終了します。

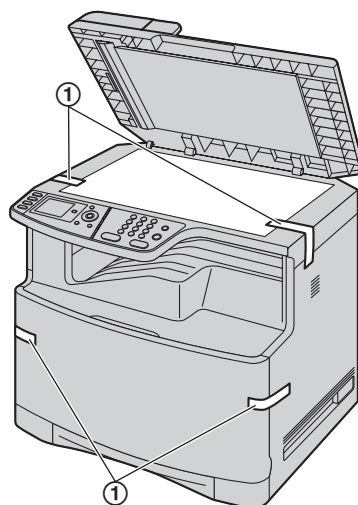
❹ ナビゲーターキー
- ディスプレイに表示されている項目を選択します。
- 機能設定中に機能または機能設定を選択します。
- 次の操作に移動します。
- 表示されているイメージをスクロールします（66 ページ）。

1.5 外観

1.5.1 前面図

① **ADF（自動原稿送り装置）カバー**
② **原稿ガイド**
③ **原稿トレイ**
④ **原稿補助トレイ**
⑤ **ADF**
⑥ **原稿排出部**
⑦ **原稿挿入部**
⑧ **電源スイッチ**
⑨ **SDカードスロット**
⑩ **左カバー**
⑪ **ハンドセット（オプション）接続端子**
⑫ **リリースレバー**
⑬ **ハンドセットコードホルダー**
⑭ **標準カセット**
⑮ **前カバー**
⑯ **用紙排出部**[*1]

⑰ **廃トナーカートリッジ（本機内部に取り付け済み）**[*2]

*1 本機は印刷済みの用紙を約100枚まで収容できます。用紙排出部が一杯になる前に、印刷済みの用紙を取り出してください。（枚数は使用環境によって変わる可能性があります。）
*2 廃トナーカートリッジは、印刷中に排出されたトナーを回収します。

1.5.2 後面図

❶ **スピーカー**
❷ **電源コード差込口**
❸ **電話回線端子**
❹ **外部電話端子**
❺ **アース（接地）端子**
❻ **LAN端子**
❼ **LED**
❽ **USB端子**
❾ **自動両面印字ユニット（オプション）端子**

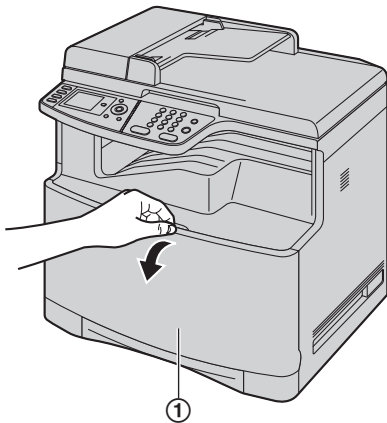
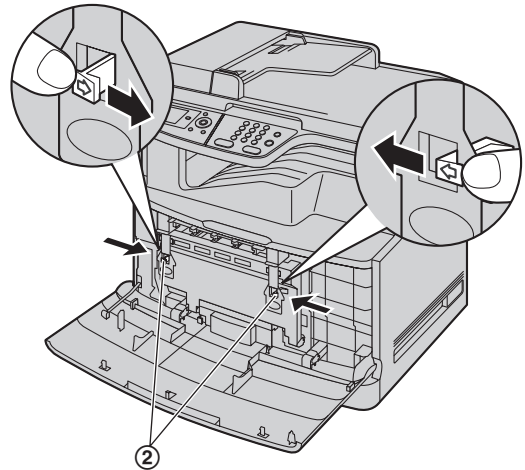
輸送用テープの取り外し
輸送用テープを取り外します（①）。

お知らせ
- 輸送用テープの位置は予告なく変更されることがあります。

1.6 トナーカートリッジとドラムカートリッジ

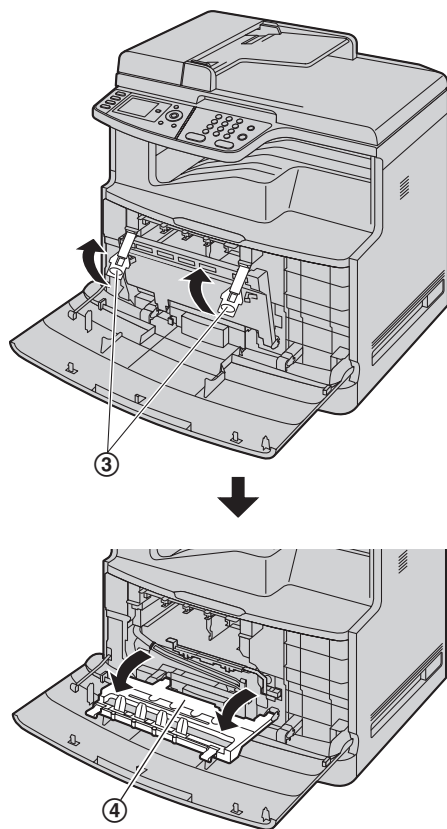
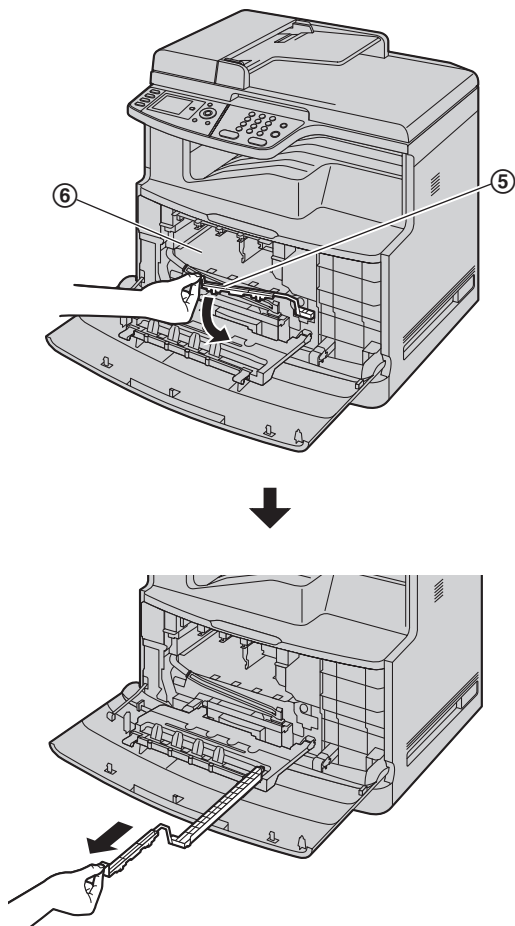
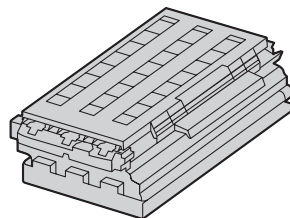
付属のトナーカートリッジはスタータートナーカートリッジです。

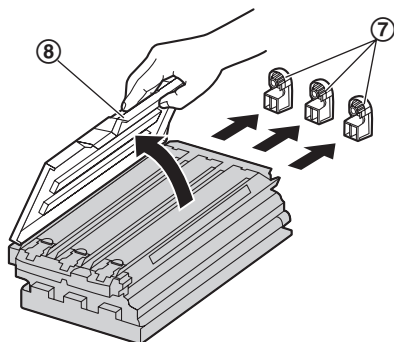
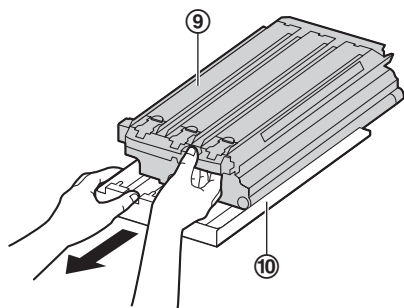
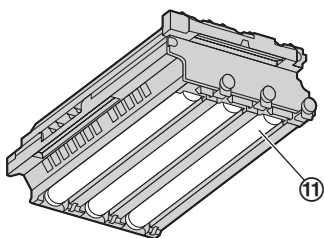
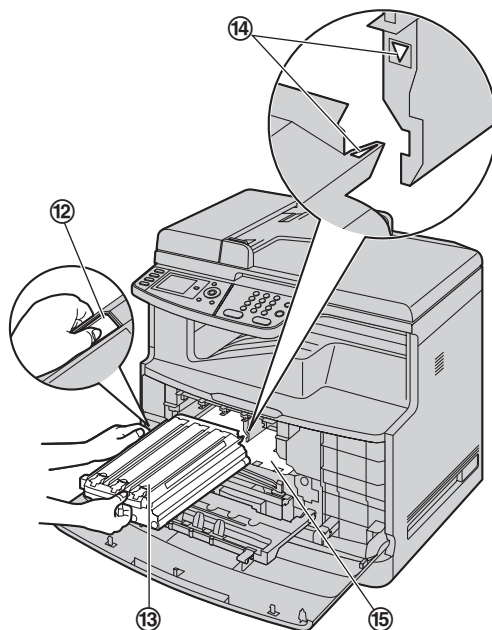
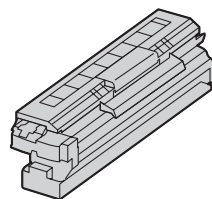
お知らせ

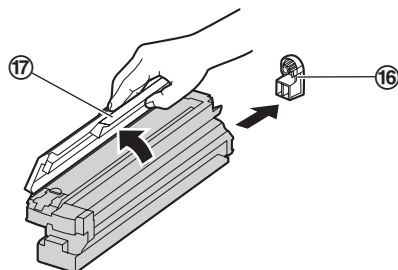
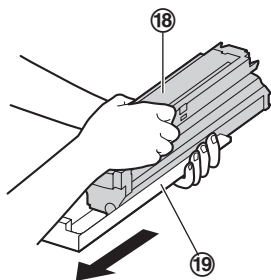
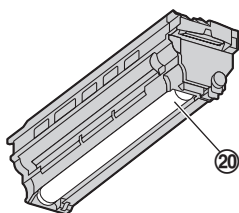
- **設置を始める前に、次の説明をよくお読みください。説明を読み終えた後、ドラムカートリッジ保護袋を開封してください。ドラムカートリッジには、感光性のドラムが含まれています。光に当てると、ドラムを損傷するおそれがあります。一旦、保護袋を開封したら、次の点に注意してください。**
  - **ドラムカートリッジを光に45秒以上当てないでください。**
  - **ドラムカートリッジ底面の緑色のドラム表面に触れたり、傷つけたりしないでください。**
  - **ドラムカートリッジをほこりや汚れの近く、または湿度の高い場所に置かないでください。**
  - **ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。**
- **トナーカートリッジを保護袋から出した状態で長時間放置しないでください。トナーの寿命が短くなります。**
- **本機の損傷または印刷品質の低下が、パナソニック製以外のトナーカートリッジやドラムカートリッジの使用に起因する場合、弊社では責任を負いかねます。**
- **トナーカートリッジにトナーを追加しないでください。**

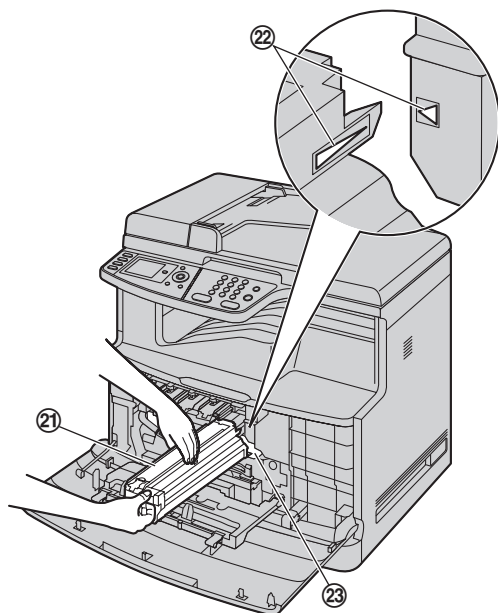
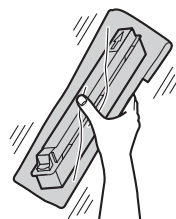
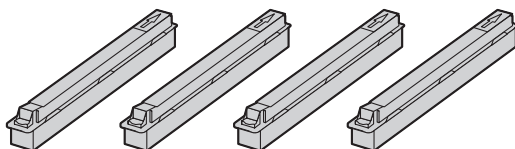
1 中央部を持って前カバー（①）を開ける。

2 タブ（②）を矢印方向に押して、ドラムカートリッジカバーのロックを解除する。

お知らせ

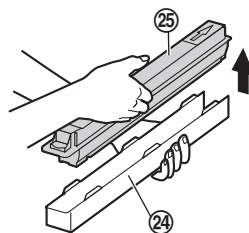
- 動作中に、前カバーまたは左カバーを開けたり電源スイッチをオフにした場合、タブ（②）がロックされて動かない場合があります。このような場合は、前カバーと左カバーを閉めて、電源スイッチをオンにしてください。本機が処理動作を行い、処理動作が終了して停止した後に、タブ（②）を押してロックを解除してください。

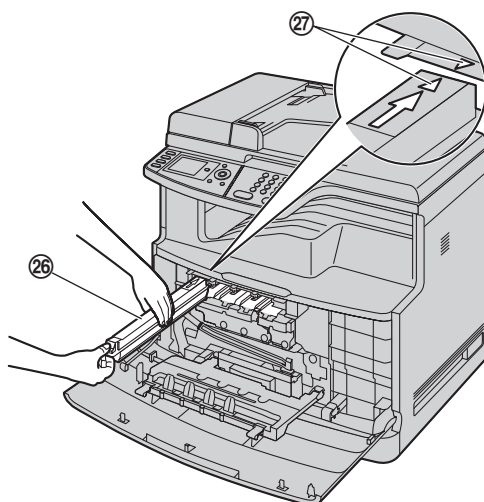
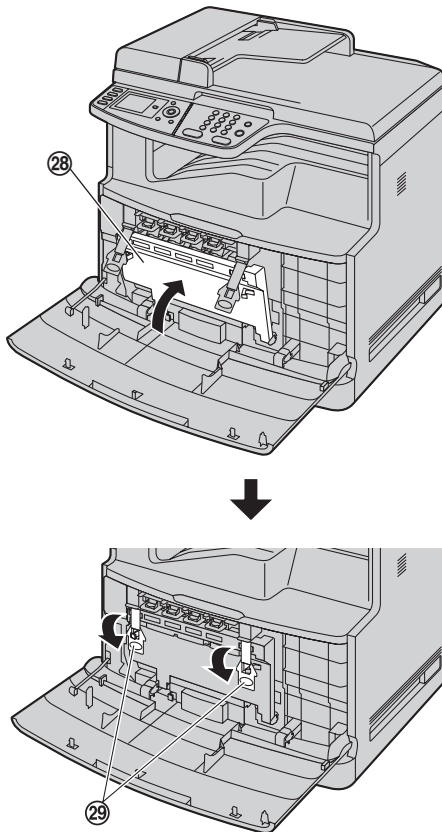
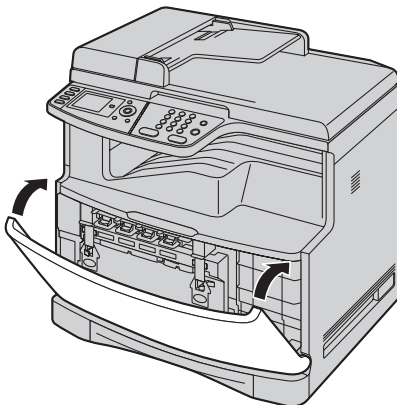
3 レバー（③）を持ち上げて、ドラムカートリッジカバー（④）を開ける。

4 オレンジ色のプロテクター（⑤）を手前に引っ張って取り出し、本機から完全に引き出す。
- 転写ベルト（⑥）に触れたり、傷つけたりしないでください。

5 ドラムカートリッジ（カラー）を保護袋から取り出す。

- 輸送用テープを取り外します。
- ステップ8でドラムカートリッジ（カラー）を取り付けるまで、保護袋からドラムカートリッジ（モノクロ）を取り出さないでください。
- ドラムカートリッジ（カラー）を持つときは、高い場所からの落下による損傷を防止するため、テーブルの上で取り扱ってください。

6 保護キャップ（⑦）を外し、タブ（⑧）をつかんで上部シールカバーを外す。

7 ドラムカートリッジ（カラー）（⑨）をしっかりつかみ、保護トレイ（⑩）を手前に引いて取り外す。

- ドラムカートリッジ底面の緑色のドラム表面（⑪）に触れたり、傷つけたりしないでください。

8 左手でドラムカートリッジ（カラー）（⑬）の緑色のレバー（⑫）をつかみ、右手で前部を支える。この状態で、ドラムカートリッジを本機の左側に挿入する。
- 矢印（⑭）が合っていることを確認して、ドラムカートリッジを正しく挿入してください。
- 転写ベルト（⑮）に触れたり、傷つけたりしないでください。

9 ドラムカートリッジ（モノクロ）を保護袋から取り出す。

- 輸送用テープを取り外します。

10 保護キャップ（⑯）を外し、タブ（⑰）をつかんで上部シールカバーを外す。

11 ドラムカートリッジ（モノクロ）（⑱）をしっかりつかみ、保護トレイ（⑲）を手前に引いて取り外す。

● ドラムカートリッジ底面の緑色のドラム表面（⑳）に触れたり、傷つけたりしないでください。

12 ドラムカートリッジ（モノクロ）（㉑）を本機の右側に挿入する。

● 矢印（㉒）が合っていることを確認して、ドラムカートリッジを正しく挿入してください。
● 転写ベルト（㉓）に触れたり、傷つけたりしないでください。

13 新品トナーカートリッジの保護袋を開封する前に、トナーカートリッジを縦方向に10回以上振る。

14 4色のトナーカートリッジを保護袋から取り出す。

● 輸送用テープを取り外します。

15 トナーカートリッジ（㉕）を持ち上げて、各保護トレイ（㉔）から取り出す。

16 各トナーカートリッジ（㉖）を該当のカラースロットに挿入する。
左から右に、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順序で挿入する。

● 矢印（㉗）が合っていることを確認して、トナーカートリッジを正しく挿入してください。
● トナーカートリッジ底面のトナーカートリッジシャッターに触れないでください。トナーがトナーカートリッジからこぼれるおそれがあります。

17 ドラムカートリッジカバー（㉘）を持ち上げ、レバー（㉙）を押し下げて閉じる。
- カチッという音が聞こえるまでレバーを押し下げてください。この音はカバーがロックされたことを示します。

18 前カバーを閉じる。

トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期

ディスプレイに次のメッセージが表示されたら、トナーカートリッジを交換してください。

- **"トナーが少ないです　交換してください"**
- **"交換してください　ブラックトナー　：少ないです"**
- **"交換してください　シアントナー　　：少ないです"**
- **"交換してください　マゼンタトナー　：少ないです"**
- **"交換してください　イエロートナー　：少ないです"**

- **"トナーがありません　交換してください"**
- **"交換してください　ブラックトナー　：ありません"**
- **"交換してください　シアントナー　　：ありません"**
- **"交換してください　マゼンタトナー　：ありません"**
- **"交換してください　イエロートナー　：ありません"**

ディスプレイに次のメッセージが表示されたら、ドラムカートリッジを交換してください。

- **"カラードラム　まもなく交換時期"**
- **"モノクロドラム　まもなく交換時期"**

- **"カラードラム　交換してください"**
- **"モノクロドラム　交換してください"**

お知らせ
- トナーカートリッジを交換する場合、使用済みのトナーカートリッジをビニール袋またはその他の容器に密閉し、トナーがカートリッジからこぼれ出ないようにしてください。
- ドラムカートリッジ（カラー）を交換する場合、取り付け時と同様に、左手で緑色のレバーをつかんでください。13 ページのステップ8を参照してください。
- 本機を正しくお使いいただくために、弊社では**パナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジ**のご使用を推奨します。アクセサリー情報については、7 ページを参照してください。
- トナーの寿命およびドラムの寿命については、135 ページを参照してください。

トナーセーブ機能

トナーの消費量を減らしたい場合、トナーセーブ設定をありにしてください（78 ページの機能#482）。トナーカートリッジが約40 %長持ちします。ただし、この機能を使用すると、印刷品質が低下することがあります。

1.7 用紙

標準カセットに収容できる用紙の枚数は次のとおりです。規定枚数以上を収容すると、紙詰まりの原因となり、用紙を破損させる場合があります。

- 75 g/m^{2}の用紙：250枚まで。*1
- 80 g/m^{2}の用紙：230枚まで。*1
- 90 g/m^{2}の用紙：200枚まで。*1
- 105 g/m^{2}の用紙：180枚まで。*1
- 106～135 g/m^{2}の用紙：50枚まで。*1
- 136～165 g/m^{2}の用紙：10枚まで。*1
- OHPフィルム：25枚まで。*2
- ラベル紙：25枚まで。*2
- 封筒：10枚まで。*2
- はがき：25枚まで。*2

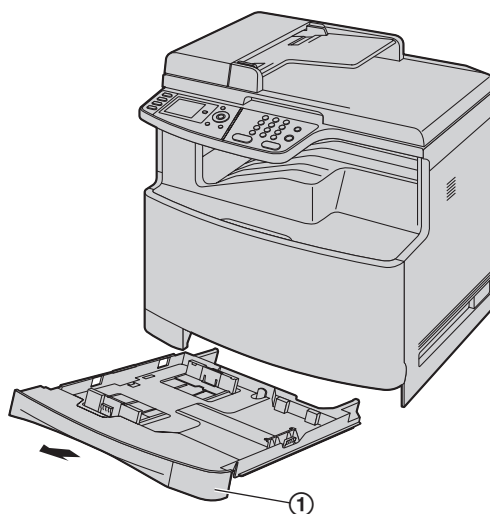
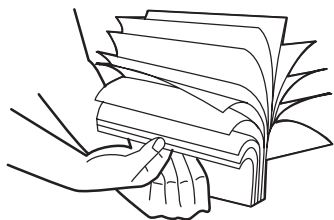
*1 A4、レター、リーガル、B5、216×330、および216×340サイズの用紙を使用する場合です。B5サイズの用紙は本機をプリンター、スキャナー、コピー機として使用する場合のみ使用できます。

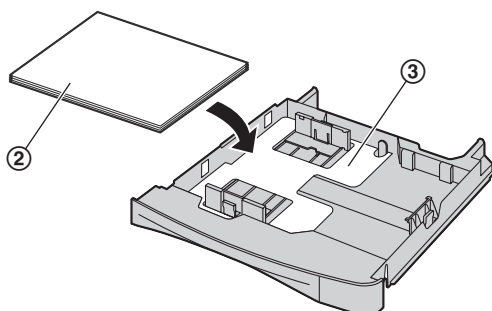
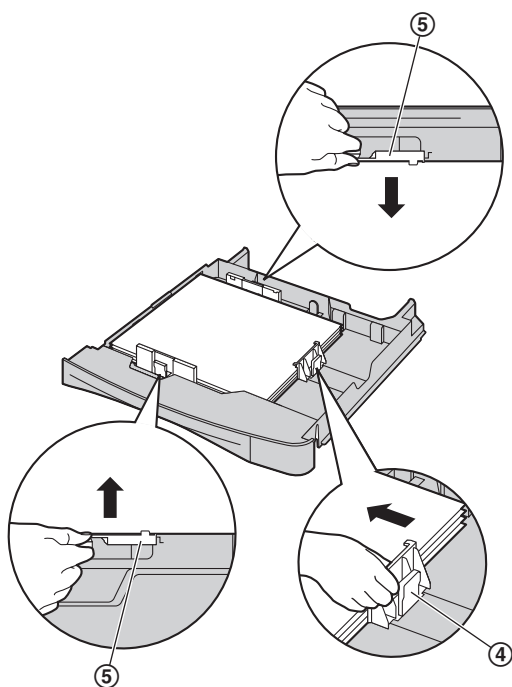
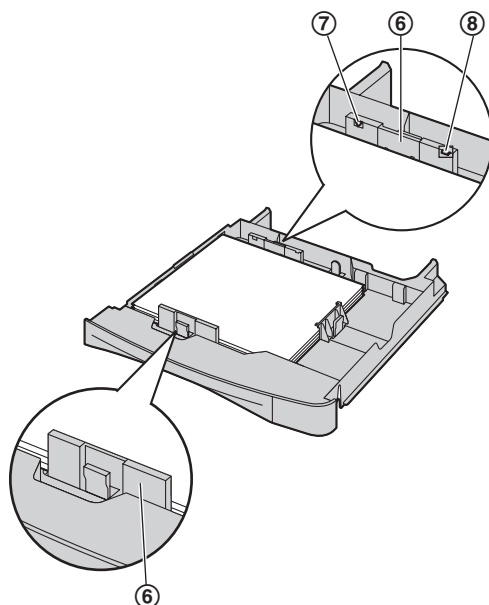
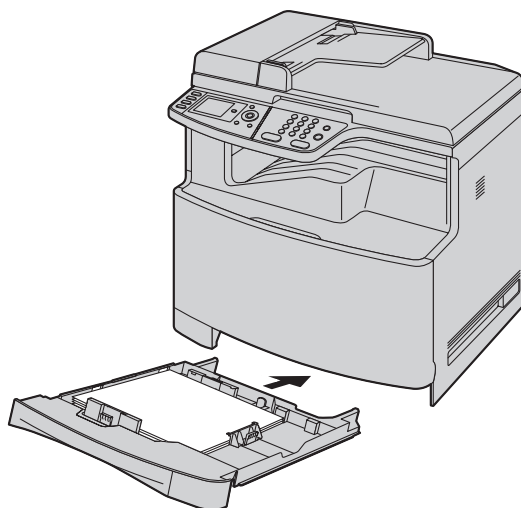
*2 本機をプリンターとして使用する場合のみです。詳細については、35 ページを参照してください。

- 用紙については、135 ページを参照してください。
- **初期値ではA4サイズの普通紙を印刷するように設定されています。**
  - **他の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズ設定を変更してください（76 ページの機能#380）。**
  - **厚口普通紙または厚紙を使用する場合、用紙種類設定を変更してください（77 ページの機能#383）。**

用紙に関するお知らせ

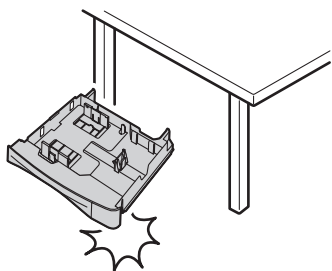
- 用紙を大量に購入する前に、本機で用紙（サイズやタイプが特殊な用紙は特に）のテスト印刷を行うことを推奨します。
- 次のタイプの用紙は使用しないでください。
  - 綿または繊維の含有率が20 %を超えている用紙（レターヘッドのある用紙や履歴書用紙など）
  - 表面が非常に滑らかな用紙、著しい光沢のある用紙、またはざらつきの多い用紙
  - コーティング、傷、またはしわのある用紙
  - 異物（ラベルまたはホッチキスの針など）の付着した用紙
  - ほこり、糸くず、または油染みのある用紙
  - 200 °C付近で融解、気化、変色、焦げ、有毒ガスの放出が発生する用紙（模造皮紙など）。このような材質は定着ローラーに移り、損傷の原因になることがあります。
  - 湿っている用紙
  - インクジェット用紙
- 用紙によっては、片面のみが印刷面として想定されています。印刷品質に満足できない場合や給紙エラーが発生する場合は、試しに用紙の反対面に印刷してみてください。
- 適切な給紙と最高の印刷品質を実現するため、縦目の用紙を使用することを推奨します。
- 種類や厚さの異なる用紙を同時に使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- 本機で印刷した用紙を、他のコピー機またはプリンターで両面印刷用に使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。他のコピー機またはプリンターで印刷した用紙を、本機で裏紙として使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- カールを避けるため、実際に用紙を使用する必要が生じるまでは用紙パックを開封しないでください。未使用の用紙は元のパッケージに入れた状態で、乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 高湿度地域にお住いのお客さまへ：用紙はエアコンの効いた部屋に保管するようにしてください。湿った用紙を使用すると、紙詰まりの原因となります。

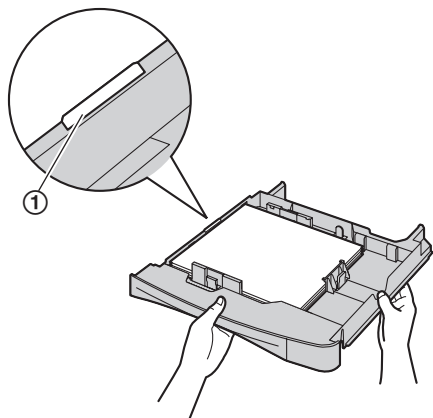
1 所定の位置にカチッと入るまで標準カセット（①）を引き出し、カセットの前部を持ち上げて完全に引き出す。

2 用紙をセットする前に、紙詰まり防止のため用紙をよくさばく。

3 印刷する面を上にして（②）用紙をセットする。

お知らせ
- **プレート（③）が持ち上がっている場合、標準カセットに押し付けてロックしてください。**

4 用紙ガイド（④）右側の固定解除つまみをつまんで、用紙サイズマークに合わせる。
同時に、前後の用紙ガイド（⑤）の固定解除つまみもつまんで、用紙サイズマークに合わせる。

- 用紙サイズガイド（⑥）が用紙サイズマークに合っていること、用紙が用紙上限マーク（⑦）よりも下にあることを確認してください。用紙はタブ（⑧）よりも上にセットしないでください。

5 標準カセットの前部を持ち上げながら、標準カセットを本機に挿入する。標準カセットを奥まで完全に押し込む。

お知らせ
- 用紙が正しくセットされていない場合、用紙ガイドを調整し直してください。用紙が詰まるおそれがあります。
- 標準カセットが閉まらない場合、標準カセットのプレートが持ち上がっている可能性があります。

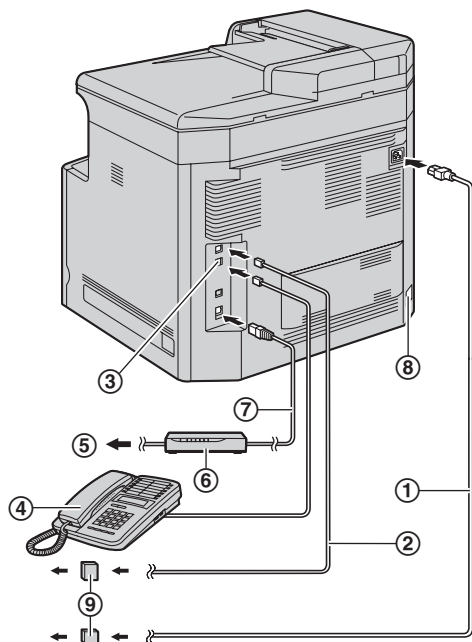
用紙を押し付けて、平らな状態で標準カセットに入っていることを確認してください。

標準カセットの取り扱いに関する注意

- **標準カセットを落とさないでください。**

- **取り外しまたは取り付けのときには、標準カセットを両手で持ってください。用紙を最大枚数までセットした場合、標準カセットの重量は約2.9 kgになります。**

  標準カセットの左側のプレート（①）には触れないでください。

重量は約 2.9 kgです

2.1 接続

お知らせ
- **本機を操作する場合、本機近くの使いやすい場所に電源コンセントがある必要があります。**
- **電話機コードを延長しないでください。**
- **ハンドセットユニット（オプション）を接続するには、102 ページ「9.6 ハンドセットユニット（オプション）」を参照してください。**

① 電源コード
- 電源コンセントに接続します（100 V、50/60 Hz）。

② 電話機コード
- 電話回線端子1個に接続します。

③ ［外部電話］端子
- 留守番電話または内線電話機を接続できます。使用する場合、ストッパーを取り外してください。

④ 留守番電話（別売り）
⑤ インターネット接続
⑥ ネットワークルーター／ネットワークハブ（別売り）
- ネットワークコンピューターも接続します。

⑦ LANケーブル（別売り）
- 電磁波放射限度に関する規定を順守するために、必ずシールドLANケーブル（カテゴリ5ストレートケーブル）を使用してください。

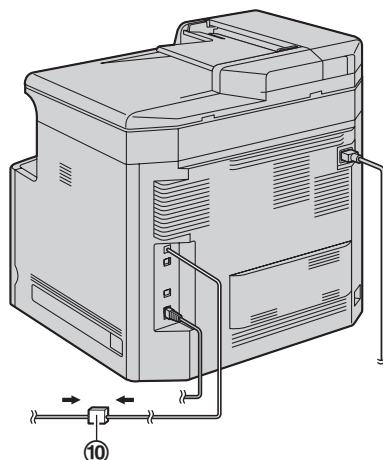
⑧ 自動両面印字ユニット（オプション）端子

USB接続に関する重要なお知らせ
- Multi-Function Stationのインストール中は、接続の指示があるまで本機をコンピューターにUSBケーブルで接続しないでください（26 ページ）。

お知らせ
- 同じ電話機コードにその他のデバイスが接続されている場合、本機はそのデバイスのネットワーク状態を妨害するおそれがあります。

サージプロテクターの使用
- 電力線のサージまたは雷による損傷には、保証は適用されません。保護機能を高めるために、サージプロテクターのご使用を推奨しています（⑨）。

本機がDSLサービスと1つの電話回線を共有する場合

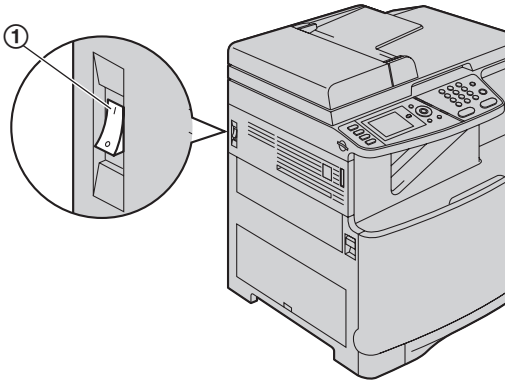
ファクスの送受信に支障を来す、電話での会話中に雑音が聞こえる、または発信者番号通知（71 ページ）が正しく機能しない、などの現象が発生することがあります。このような現象の発生を防止するには、本機の電話機コードにDSLフィルター（⑩）を取り付けてください。DSLフィルターは、ご利用のDSLサービスプロバイダーからお求めいただけます。

光回線（ひかり電話）や ADSL に接続する場合

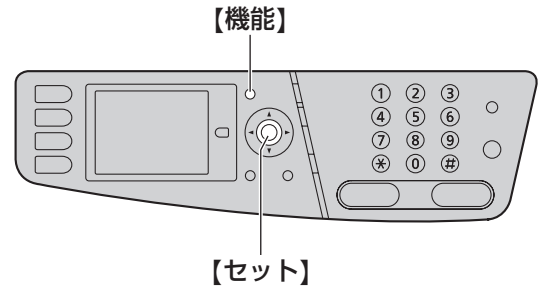
本機は、NTT のアナログ回線規格に準拠しております。光回線やIP 電話回線でご利用の場合、接続環境や接続機器によっては、正しく動作しないこともあります。
- その場合は、光回線やIP 電話のサービス実施会社にお問い合わせください。接続のしかたは、光回線やADSL のサービス実施会社にお問い合わせください。
- 事前にTA／スプリッタ機能が **“あり”** になっていることを確認してください（74 ページの機能#124）。

ネットワーク用ルーター／ハブの使用

- セキュリティが重要なネットワーク環境では、ネットワーク用のルーターまたはハブ（⑥）のご使用をお勧めします。ファイアウォール設定などについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- セキュリティ問題による損害またはそれに関連する不利益については、保証は適用されません。

2.2 電源スイッチをオンにする

電源スイッチをオン位置（①）にします。

2.3 ダイヤル切替

ダイヤルできない場合（55 ページ）、ご利用の電話回線サービスに従って、この設定を変更してください。

1 【機能】

2 【#】【1】【2】【0】を押して、**"ダイヤル切替"** を表示する。

3 【1】から【3】を押して、目的の設定を選択する。
【1】 **"10pps"**：ダイヤル回線（速度10 pps）を利用の場合。
【2】 **"20pps"**：ダイヤル回線（速度20 pps）を利用の場合。
【3】 **"プッシュ"**（初期値）：プッシュ回線を利用の場合。

4 【セット】

5 【機能】を押して終了する。

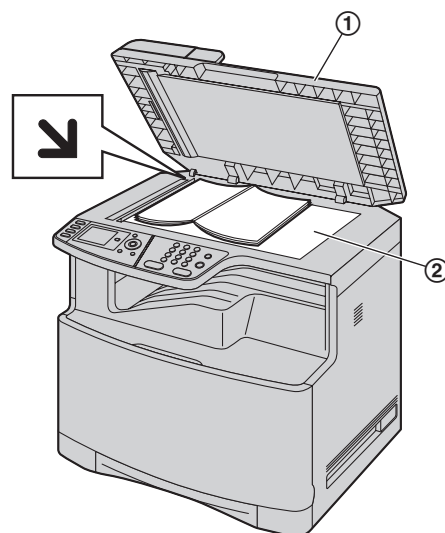
2.4 操作モードを選択する（スキャン／コピー／ファクス／プリント）

次の中から対応するボタンを押すと、目的のモードを選択することができます。

－【スキャン】：本機をスキャナーとして使用するときに、このモードを選択します（42 ページ）。
－【コピー】：本機をコピー機として使用するときに、このモードを選択します（48 ページ）。
－【ファクス】：本機をファクスとして使用するときに、このモードを選択します（55 ページ）。
－【プリント】：本機をプリンターとして使用するときに、このモードを選択します（38 ページ）。

お知らせ
- 操作モードの初期値はコピーモードです。
- 操作モードの初期値（78ページの機能＃463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（78ページの機能＃464）を変更することができます。

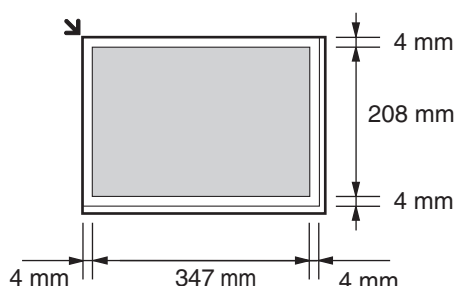
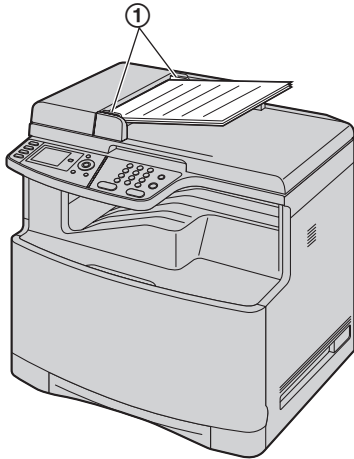
2.5 原稿をセットする

2.5.1 原稿台ガラスの使用

1 ADF（①）を開ける。

2 原稿を下向きにして原稿台ガラス（②）に置き、↘マークに原稿の左上部を合わせる。

3 ADFを閉じる。

お知らせ
- 自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。
- 原稿は原稿台ガラスに軽く置いてください。強く押さえつけないでください。故障の原因になることがあります。
- 厚い本をセットする場合、ADFは閉じないでください。
- インク、のり、または修正液が付着している場合、完全に乾いていることを確認してください。
- 有効スキャン範囲は次のとおりです。

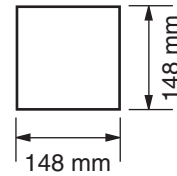
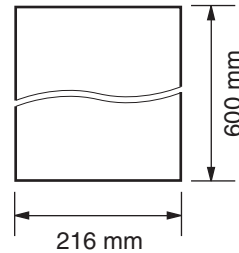
  有効スキャン範囲
  - 網掛け範囲がスキャンされます。

2.5.2 自動原稿送り装置の使用

1 読み取る面を上向きにして、原稿（最大50枚）を自動原稿送り装置に差し込み、ビープ音が1回聞こえる位置まで挿入する。

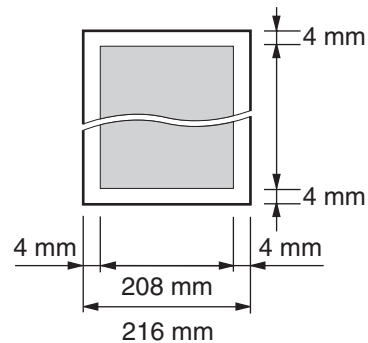
2 原稿ガイド（①）の幅を調整して、原稿の実際のサイズに合わせる。

お知らせ

- 原稿台ガラスに原稿がないことを確認してください。
- インク、のり、または修正液が付着している場合、完全に乾いていることを確認してください。
- クリップ、ホッチキスの針などの留め具は取り外してください。
- 次のタイプの原稿は挿入しないでください（原稿台ガラスを使用して原稿のコピーを作成し、代わりにコピーをセットしてください）。
  – 化学処理された紙（カーボン複写紙、ノーカーボン複写紙など）
  – 静電気を帯びた紙
  – 激しいカール、折り目、または破れがある紙
  – 表面にコーティングが施されている紙
  – 裏面が印刷されていて、透けて見える可能性のある用紙（新聞用紙など）
- 原稿を積み重ねたときの厚さは5 mm未満である必要があります。自動原稿送り装置の規定容量を超えると、原稿の落下や紙詰まりの原因になることがあります。
- 幅が182 mm未満の原稿をセットする場合、原稿台ガラスを使用してA4用紙に原稿のコピーを作成し、コピー原稿の方をセットすることを推奨します。
- サイズおよび重量の要件を満たさない原稿はセットしないでください。原稿台ガラスを使用して原稿のコピーを作成し、コピーの方をセットしてください。

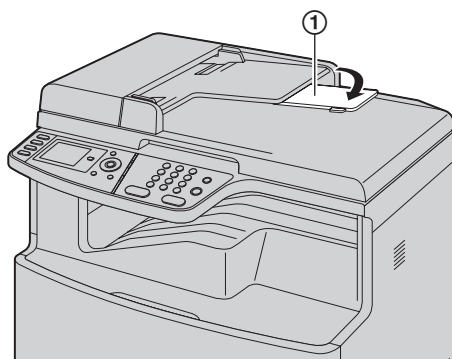
- 利用可能な原稿サイズ、原稿重量および有効スキャン範囲は次のとおりです。

最小原稿サイズ

最大原稿サイズ

有効スキャン範囲

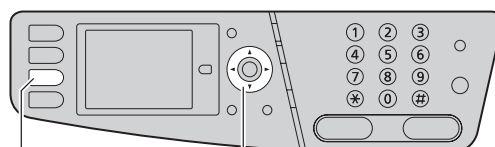
- 網掛け範囲がスキャンされます。

原稿重量

- 1枚：
  45 g/m^2～90 g/m^2
- 複数枚：
  60 g/m^2～80 g/m^2

原稿補助トレイの使用

リーガルサイズ用紙を挿入するときは、原稿補助トレイ（①）を開いてください。

2.6 音量を調整する

お知らせ

- **音量を調整する前に、操作モードをファクスモードに設定します。【ファクス】ライトが消えている場合、【ファクス】を押して点灯させてください。**

呼び出し音量

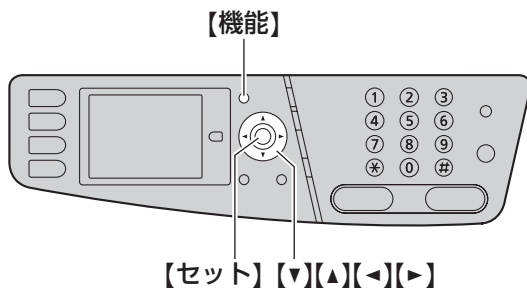
1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"呼出ベル音量"**を選択する。
2. 【◄】または【►】を押す。

電話呼出オフを選択する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"呼出ベル音量"**を選択する。
2. 【◄】を繰り返し押して、ステイタスバーに**"呼出ベル音なし"**を表示させる。
   - 本機の呼び出し音は鳴りません。
   - 呼び出し音をオンに戻すには、【►】を押してください。

モニター音量

1. **モニターの使用中に、**【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"モニター音量"**を選択する。
2. 【◄】または【►】を押す。

2.7 日付と時刻

1 【機能】→【♯】【1】【0】【1】→【◄】/【►】

2 現在の年／月／日／時／分を入力する。
例：2010年8月3日10：15 PM（12時間形式）

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"日付"** を選択する。→【◄】/【►】
2. 【2】【0】【1】【0】【0】【8】【0】【3】を押す。

`Y:2010/M:08/D:03`

3. 【セット】
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"時刻"** を選択する。→【◄】/【►】
5. 【1】【0】【1】【5】を押してから、【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"PM"** を選択する。

`10:15PM`

6. 【セット】

3 【機能】を押して終了する。

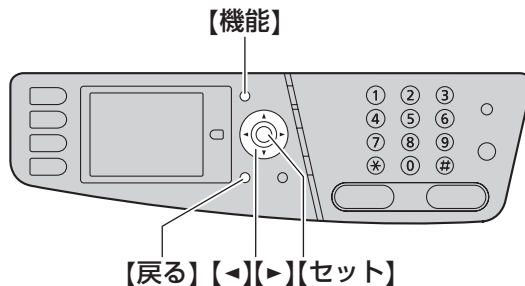
お知らせ

- 相手側のファクス機は、本機の日付および時刻設定に基づいて、こちらから送信された各ページの上部に日付と時刻を印刷します。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

2.8 名前登録

送信する各ページの上部に表示されるように、発信元の情報（名前、会社名など）を登録できます。

1 【機能】→【♯】【1】【0】【2】→【◄】/【►】

2 名前を入力する。30文字まで入力できる（文字入力については98 ページ参照）。→【セット】

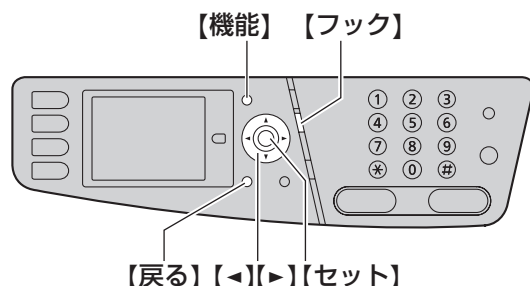
3 【機能】を押して終了する。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている文字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

- すべての文字を消去するには、【戻る】を押したまま保持してください。

2.9 ファクス番号登録

送信する各ページの上部に表示されるように、発信元のファクス番号を登録できます。

1 【機能】→【#】【1】【0】【3】→【◄】/【►】

2 ファクス番号を入力する。20桁まで入力可。
- "+" を入力するには、【*】を押してください。
- スペースを入力するには、【#】を押してください。
- ハイフンを入力するには、【フック】を押してください。
- 数字を消去するには、【戻る】を押してください。

3 【セット】

4 【機能】を押して終了する。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。
- すべての数字を消去するには、【戻る】を押したまま保持してください。

2.10 LANにアクセスできるように設定する

LAN上のコンピューターを使用して、原稿の印刷、原稿のスキャン、またはファクスの送受信を行うことができます。この機能を有効にするには、本機のIPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを設定する必要があります。

お知らせ
- **IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを設定するときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。**

2.10.1 DHCPサーバーによる自動設定

使用状況

－ 1台のみをLANに接続する場合。

ネットワーク管理者がDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーでネットワークを管理している場合、IP（インターネットプロトコル）アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは本機に自動で割り当てられます。

1 本機とコンピューターをLANに接続後、電源スイッチをオンにする。
- IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは自動的に設定されます。

2 使用するコンピューターにMulti-Function Stationをインストールする。詳細については、26 ページを参照。

お知らせ
- 本機を2台以上接続した場合でも、DHCPサーバーでIPアドレスを自動的に割り当てることはできますが、不要なトラブルを避けるため、プリンターごとに静的IPアドレスを手動で割り当てることを推奨します。

2.10.2 手動設定

使用状況

－ ネットワーク管理者がネットワークの管理にDHCPサーバーを使用しない場合。

－ 2台以上をLANに接続する場合。

IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを手動で割り当てる必要があります。

1 【機能】

2 【#】【5】【0】【0】を押して、**"DHCP機能"** を表示する。

3 【0】を押して、**"なし"** を選択する。→【セット】

4 各項目を設定する。

IPアドレスの設定

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ＩＰアドレス"** を選択する。

2. 【◄】/【►】→本機のIPアドレスを入力する。→【セット】

サブネットマスクの設定

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"サブネットマスク"**を選択する。

2. 【◄】/【►】→サブネットマスクを入力する。→【セット】

デフォルトゲートウェイの設定

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ゲートウェイアドレス"**を表示させる。

2. 【◄】/【►】→デフォルトゲートウェイを入力する。→【セット】

5 【機能】を押して終了する。

6 使用するコンピューターにMulti-Function Stationをインストールする。詳細については、26 ページを参照。

IPアドレス、サブネットマスク、またはデフォルトゲートウェイの間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

2.10.3 PCファクス受信のためのコンピューター設定

ファクス受信に使用するコンピューターを選択する必要があります。

- 事前にPCファクス設定が **"常時"** または **"接続可能時のみ"** になっていることを確認してください（82 ページの機能#442）。
- 見てから印刷機能がなしになっていることを事前に確認してください（82 ページの機能#448）。

1 【機能】→【#】【4】【4】【3】→【セット】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のコンピューターを選択する。→【セット】

3 【拡張機能】を押して終了する。

お知らせ

- 本機がLANに接続されていない場合、本機にUSB接続されているコンピューターがPCファクス受信の初期設定コンピューターとして割り当てられます。
- 目的のコンピューターを簡単に選択するには、事前にコンピューター名を変更しておいてください（29 ページ）。

2.11 Multi-Function Stationをインストールする

2.11.1 コンピューター動作環境

パナソニックMulti-Function Stationソフトウェアを使用すると、本機で次の機能を利用することができます。

– 普通紙、厚口普通紙および厚紙、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、およびはがきに印刷する
– 印刷前に原稿をプレビュー表示し、プリンター設定を変更する（Easy Print Utility）
– 原稿をスキャンし、OCRソフトウェアでイメージをテキストデータに変換する（別売り）
– TWAINおよびWIAに対応している、その他のMicrosoft® Windows®用アプリケーションからスキャンする（Windows XP/Windows Vista®/Windows 7、USB接続のみ）
– コンピューターを使用して電話帳の項目を登録、編集、または消去する
– コンピューターを使用して機能設定を行う
– コンピューターを使用してファクス文書を送受信する

コンピューターでMulti-Function Stationを使用するには、次の動作条件を満たす必要があります。

オペレーティングシステム

Windows 2000/Windows XP/Windows Vista/Windows 7

CPU

Windows 2000：Pentium® II以上
Windows XP：Pentium III以上
Windows Vista/Windows 7：Pentium 4以上

RAM

Windows 2000/Windows XP：128 MB（256 MB以上推奨）
Windows Vista：512 MB（1 GB以上推奨）
Windows 7：1 GB（2 GB以上推奨）

その他のハードウェア

CD-ROMドライブ
ハードディスクドライブ（200 MB以上の空き容量が必要）
USBインターフェース
LANインターフェース（10Base-T/100Base-TX）

その他

Internet Explorer® 5.0以降

警告

- 電磁波放射限度に関する規定を順守するために、次のことをお守りください。
  – 必ずシールドUSBケーブル（例：USB 2.0 Hi-Speed対応ケーブル）を使用してください。

– 必ずシールドLANケーブル（カテゴリ5（CAT5）イーサネットケーブル）を使用してください。
- 本機の保護のため、激しい雷雨の発生する地域では、必ずシールドUSBケーブルを使用してください。
- コンピューターでEasy Print Utilityを使用するには、次のものが必要です。
  – Windows 2000 Service Pack 4およびWindows 2000用セキュリティ問題の修正プログラム（KB835732）。
  – Easy Print Utilityをインストールする前に、MicrosoftダウンロードセンターからKB835732をインストールしてください。
  – Windows XP Service Pack 2以降。

お知らせ
- USBケーブルは別売りです。Type Aオス／Type BオスのシールドUSBケーブルをご購入ください。

2.11.2 コンピューターへのMulti-Function Stationのインストール

- 本機をUSBケーブルでコンピューターに接続する前に、Multi-Function Station（CD-ROM）をインストールしてください。Multi-Function Stationをインストールする前に本機をUSBケーブルでコンピューターに接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログ画面が表示されます。［キャンセル］をクリックしてダイアログ画面を閉じてください。
- この説明では、参考用としてWindows XP向けのスクリーンショットが使用されています。
- この説明で使用されているスクリーンショットは、実際の製品のものと多少異なる場合があります。
- ソフトウェアの機能および外観は予告なく変更されることがあります。

1 Windowsを起動し、他のすべてのアプリケーションを終了する。
- Multi-Function Stationをインストールするには、管理者としてログインする必要があります。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。
- ［言語の選択］ダイアログ画面が表示された場合、このソフトウェアで使用する言語を選択します。［OK］をクリックします。
- インストールが自動的に開始されない場合：［スタート］をクリックします。［ファイル名を指定して実行...］を選択します。“**D:¥Install**”（“**D**”がCD-ROMドライブのドライブ文字である場合）と入力します。［OK］をクリックします。
（CD-ROMドライブのドライブ文字がわからない場合、Windowsのエクスプローラーを使用してCD-ROMドライブを確認してください。）

3 ［簡単インストール］
- インストールが自動的に開始されます。

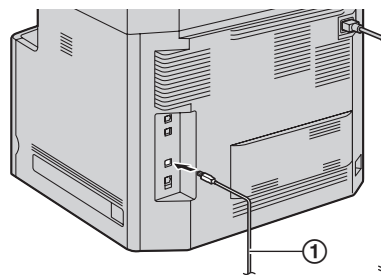
4 セットアッププログラムが開始されたら、画面の指示に従う。
- Easy Print Utility（37 ページ）およびデバイスモニター（99 ページ）もインストールされます。

5 ［接続タイプ］ダイアログ画面が表示される。

USB接続の場合

1. ［USBケーブル接続］→ ［次へ］
- ［USB接続の情報］ダイアログ画面が表示されます。

2. ［OK］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックする。
- ［装置接続］ダイアログ画面が表示されます。

3. 本機をUSBケーブル（①）でコンピューターに接続し、［次へ］をクリックする。

4. ［ハードウェアのインストール］画面にて、［続行］をクリックする。
- 本機をコンピューターに接続すると、モデル名が自動的に検出されます。
- 必要に応じて、本機の名前は変更できます。

5. ［インストール］をクリックし、画面の指示に従う。
- ファイルがコンピューターにコピーされます。

LAN接続の場合

1. ［ネットワーク接続(LANインターフェースモデルのみ)］→ ［次へ］
- ［ネットワーク接続装置の選択］ダイアログ画面が表示されます。

2. ［検索結果のリストから選択］にチェックマークを付けて、リストから本機を選択する。
- リストに本機の名前が表示されない場合、本機のIPアドレスが既に割り当てられているときには、［直接入力］にチェックマークを付けて、IPアドレスを入力してください。

3. ［次へ］
- 必要に応じて、本機の名前は変更できます。

4. ［インストール］をクリックし、画面の指示に従う。
   - ファイルがコンピューターにコピーされます。

重要なお知らせ
Windows XP、Windows Vista、または Windows 7を使用している場合、本機をUSBケーブルで接続した後にメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作であり、このソフトウェアによってコンピューターのオペレーティングシステムに問題が発生することはありません。インストールは問題なく続行することができます。次のようなメッセージが表示されます。
- **Windows XPの場合**
  このハードウェアを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。
- **Windows Vista/Windows 7の場合**
  このデバイスソフトウェアをインストールしますか？

電子取扱説明書を表示またはインストールする

1. Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。
2. ［取扱説明書］をクリックし、画面の指示に従ってPDF形式の電子取扱説明書を表示またはインストールする。
   - 電子取扱説明書を表示するには、Adobe® Reader®が必要です。

お知らせ
- Multi-Function Stationのインストール中に、画面でオペレーティングシステムのCD-ROMを挿入するように指示された場合、CD-ROMドライブに挿入してください。
- 電子取扱説明書をインストールすると、Multi-Function Stationランチャーの［**?**］をクリックするだけで、いつでも電子取扱説明書を表示できます。

コンピューターで別のプリンターを使用する

次の手順に従って、プリンターごとにプリンタードライバーを追加する必要があります。

1. Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。
2. ［変更］→［Multi-Function Station ドライバーの追加］。画面の指示に従う。

お知らせ
- 1つのコンピューターに本機を同時に2台以上接続することはできません（USB接続のみ）。

ソフトウェアを変更する（各コンポーネントの追加またはアンインストール）

インストール後は、インストールまたはアンインストールするコンポーネントを随時選択できます。
Multi-Function Stationを変更するには、管理者としてログインする必要があります。

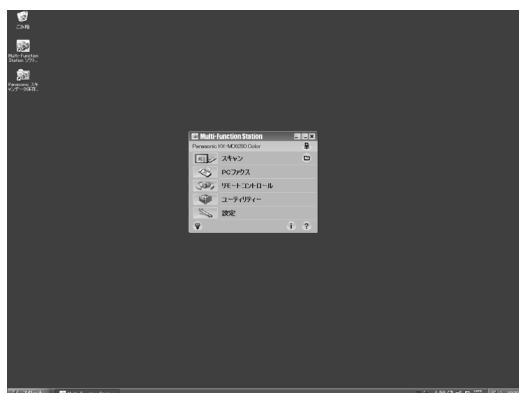
1. Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。
2. ［変更］→［アプリケーションの変更］。画面の指示に従う。

ソフトウェアをアンインストールする

Multi-Function Stationをアンインストールするには、管理者としてログインする必要があります。
［スタート］→［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Panasonic］→本機の名前→［アンインストール］。画面の指示に従ってください。

2.12 Multi-Function Stationを起動する

［スタート］→［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Panasonic］→本機の名前→［Multi-Function Station］

- Multi-Function Stationが表示されます。

［スキャン］(46 ページ)

- スキャンし、スキャンしたイメージを表示します。
- スキャンし、イメージファイルを作成します。
- スキャンし、Eメールで送信します。
- スキャンし、イメージを編集可能なテキストデータに変換します。

［PCファクス］

- コンピューターで作成した原稿をファクスメッセージとして送信します（60 ページ）。
- コンピューターで受信したファクス文書を表示します（69 ページ）。

［リモートコントロール］(99 ページ)

- 機能設定を行います。
- 電話帳の項目を登録、編集、または消去します。
- 通信履歴レポートまたは着信メモリーリストの項目を表示します。
- 発信者情報を電話帳に登録します。
- 同報送信の項目を登録または消去します。

［ユーティリティー］

- クイックイメージナビゲーターを起動します（46 ページ）。
- デバイスモニターを起動します（99 ページ）。
- OCRアプリケーションを起動します（43 ページ）。
- Webサーバー（73、99 ページ）を開きます（LAN接続のみ）。

［設定］(29 ページ)

- 一般設定を変更します。
- スキャン設定を変更します。
- 受信したファクス文書の保存先フォルダーを変更します（66 ページ）。

［?］

- Multi-Function Stationの詳しい使い方を表示します。
- 電子取扱説明書を表示します。

［💡］

- 使い方のヒントを表示します。

［i］

- Multi-Function Stationに関する情報を表示します。

お知らせ

- デバイスモニターを使用すると、本機がコンピューターに接続されているか確認できます（99 ページ）。
- 次の状況では、コンピューターの機能（印刷、スキャンなど）が正しく実行されないことがあります。
  – 本機をユーザーの自作コンピューターに接続している場合。
  – 本機をPCIカードまたはその他の拡張カード経由でコンピューターに接続している場合。
  – 本機を別のハードウェア（USBハブやインターフェースアダプターなど）に接続し、コンピューターに直接接続していない場合。

設定を変更する

事前にMulti-Function Stationの設定を変更できます。

1. Multi-Function Stationから［設定］を選択する。
2. 目的のタブをクリックし、設定を変更する。→［OK］

［全般］

– ［ランチャー表示設定］：ランチャーの表示タイプを選択します。
– ［OCR設定］：OCRソフトウェアを選択します（別売り）。
– ［PC名を装置に表示］（LAN接続のみ）：本機にコンピューター名を表示するかどうかを選択します。
– ［PC名］（LAN接続のみ）：本機に表示されるコンピューター名。

［スキャン］

– ［保存先］：スキャンしたイメージまたは受信したファクス文書の保存先フォルダーを選択します。
– ［ビューアー］［ファイル］［Eメール］［OCR］［カスタム］：Multi-Functionスキャンアプリケーションのスキャン設定を変更します。

お知らせ

- 重複を避けるため、［PC名］には一意の名前を割り当ててください。名前が重複していると、スキャンしたイメージが別のコンピューターに送信されることがあります。

初期設定のEメールソフトウェアを選択する

43 ページ「4.1.3スキャンtoEメール」を使用する場合、初期設定のEメールソフトウェアが使用されます。次の手順に従うと、初期設定のEメールソフトウェアを選択できます。

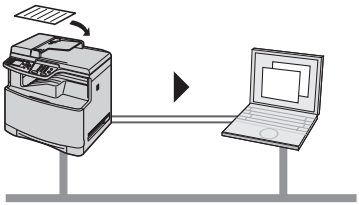
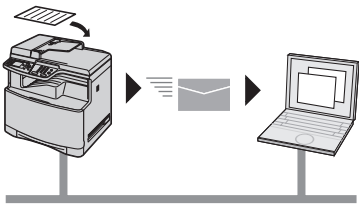
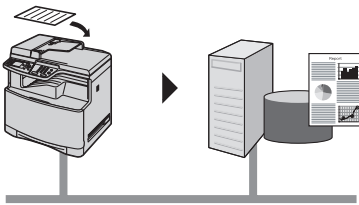
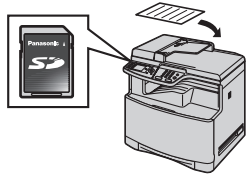
Windows 2000の場合

1. ［スタート］→［設定］→［コントロール パネル］→［インターネット オプション］→［プログラム］→［電子メール］
2. 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（[Outlook Express］など）を選択する。→［OK］

Windows XPの場合

1. ［スタート］→［コントロール パネル］→［インターネット オプション］→［プログラム］→［電子メール］
2. 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（[Outlook Express］など）を選択する。→［OK］

Windows Vistaの場合

1. ［スタート］→［コントロール パネル］→［インターネット オプション］→［プログラム］→［プログラムの設定］→［プログラムのアクセスとコンピューターの既定の設定］
   - ［ユーザーアカウントの制御］ダイアログ画面が表示された場合、［続行］をクリックしてください。
2. ［カスタム］
3. 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（[Windows メール］など）を［既定の電子メールプログラムを選択してください］から選択する。→［OK］

Windows 7の場合

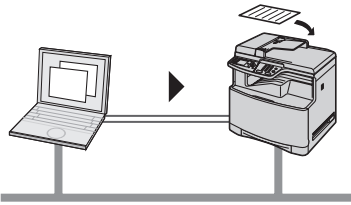
1. ［スタート］→［コントロール パネル］→［ネットワークとインターネット］→［インターネット オプション］→［プログラム］→［プログラムの設定］→［プログラムのアクセスとコンピューターの既定の設定］
2. ［カスタム］
3. 目的のMAPI対応Eメールソフトウェアを［既定の電子メールプログラムを選択してください］から選択する。→［OK］

2.13 主なスキャン機能／ファクス受信機能

コンピューターやネットワークに接続すると、スキャンやファクス受信で便利な機能を使うことができます。

2.13.1 スキャン機能一覧

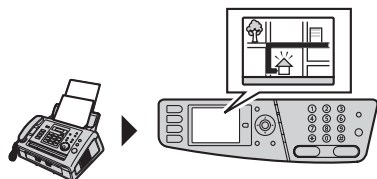
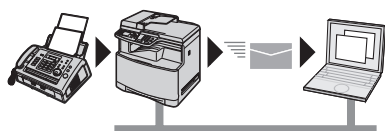
プッシュスキャン	
本機よりスキャンして、接続しているコンピューターに転送する 	ビューアーで表示する（42 ページ） ファイルとしてコンピューターに保存する（42 ページ） Eメールソフトウェアの添付ファイルとしてコンピューターから送信する（43 ページ） OCRソフトウェアを使用する（43 ページ）
本機よりスキャンして、指定のメールアドレスに送付する（LAN接続が必要です。） 	スキャンしたイメージを、Eメールソフトウェアを使用せずにEメールの添付ファイルとして直接送信することができます（44 ページ）。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 – Eメールサーバー情報の設定（95 ページ） – Eメール宛先の登録（96 ページ）
本機よりスキャンして、ネットワーク上のフォルダーに送る（LAN接続が必要です。）	**FTPサーバーに送る** スキャンしたイメージをFTPサーバーのフォルダーに送信することができます（44 ページ）。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 – FTPサーバー情報の設定（94 ページ） **SMBフォルダー（共有フォルダー）に送る** スキャンしたイメージをLAN上の共有フォルダーに送信することができます（45 ページ）。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 – SMBフォルダー設定（95 ページ）
本機よりスキャンして、本機のSDカードに保存する 	スキャンしたイメージをSDカードに保存することができます（45 ページ）。 **お知らせ** ● 使用できるSDカードについては、101 ページを参照してください。

プルスキャン	
コンピューターよりファイルを指定してスキャンする 	詳細については、46 ページ「4.2 コンピューターからスキャンする（プルスキャン）」を参照してください。

LAN

USB

2.13.2 ファクス受信機能一覧

ファクス受信	
受信したファクスをコンピューターに送る（PCファクス） 	コンピューターでファクス文書を受信することができます（69 ページ）。 ● 本機からは印字されません。 ● 受信したファクスのデータは本機からは削除されます。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 – 見てから印刷機能を **"なし"** にする（82 ページの機能#448） – PCファクス設定機能 を **"常時"** または **"接続可能時のみ"** に設定する（82 ページの機能#442） – 受信するコンピューターを選択する（26 ページの機能#443）
印刷する前にコンピューター画面で確認する（Web見てから印刷）（LAN接続が必要です。） 	受信したファクス文書をWebブラウザーで表示し、イメージを確認した後に、必要な文書を印刷または保存することができます（70 ページ）。 ● 受信したファクスのデータは本機からは削除されません。 ● 受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（67、70 ページ）。 ● メモリーがいっぱいになっていると、ファクスは受信できません。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 – 見てから印刷機能を **"あり"** にする（82 ページの機能#448） – アクセスコードを登録する（70 ページの機能#450） ● ファクス受信の通知（83 ページの機能#451）を有効にすることを推奨します。受信したファクスでメモリーがいっぱいになると、選択されているコンピューターが通知を受信します。

ファクス受信	
印刷する前に本機の画面で確認する（見てから印刷） 	受信したファクス文書を本機の画面で表示し、イメージを確認した後に、必要な文書を印刷または保存することができます（69 ページ）。 ● 受信したファクスのデータは本機からは削除されません。 ● 受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（67、70 ページ）。 ● メモリーがいっぱいになっていると、ファクスは受信できません。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 － 見てから印刷機能を **“あり”** にする（82 ページの機能#448） ● ファクスをEメールの添付ファイルとして保存するには、事前に以下の設定が必要です。 － Eメールサーバー情報の設定（95 ページ） － Eメール宛先の登録（96 ページ） ● FTPサーバーに保存するには、事前に以下の設定が必要です。 － FTPサーバー情報の設定（94 ページ） ● SMBフォルダーに保存するには、事前に以下の設定が必要です。 － SMBフォルダー情報の設定（95 ページ） ● ファクス受信の通知（83 ページの機能#451）を有効にすることを推奨します。受信したファクスでメモリーがいっぱいになると、選択されているコンピューターが通知を受信します。
受信したファクスを自動的にEメールアドレスに転送する（ファクス自動Eメール転送）（LAN接続が必要です。） 	受信したファクスを任意のEメール宛先に自動で転送することができます（ファクス自動Eメール転送機能）。外出先から受信したファクスを閲覧することができます。 ● 受信したファクスのデータは本機からは削除されません。 **お知らせ** ● 事前に以下の設定が必要です。 － ファクス専用モードの設定（62 ページ） － ファクス自動Eメール転送機能を **“あり”** にする（83 ページの機能#452） － Eメールサーバー情報の設定（95 ページ） － Eメール宛先の登録（96 ページ） － ファクス自動Eメール転送の宛先設定（84 ページ） ● PCファクスを有効にし、コンピューターをオンのままにすることを推奨します。本機の用紙切れ／メモリー残量不足などを防止できます。詳細については、62 ページを参照してください。

──── LAN

＝＝＝＝ USB

3.1 Windowsアプリケーションから印刷する

Windowsアプリケーションで作成したファイルを印刷できます。たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1 印刷するドキュメントを開く。

2 ［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。
- ［印刷］ダイアログ画面が表示されます。
［印刷］ダイアログ画面の詳細については、［**?**］をクリックし、目的の項目をクリックしてください。

3 プリンター一覧から本機の名前を選択する。
- インストールのときに本機の名前を変更した場合、リストからその名前を選択してください。
- 簡単にグレースケールで印刷するには、［B/W］が付いている方の名前を選択してください。
- プリンター設定を変更するには、次の手順に従ってください。
Windows 2000の場合
目的のタブをクリックして、プリンター設定を変更します。
Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合
［詳細設定］をクリックして、目的のタブをクリックします。プリンター設定を変更して、［OK］をクリックします。
- カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が有効になっている場合、106 ページを参照してください。

4 ［印刷］または［OK］をクリックする。
- 印刷を開始します。

お知らせ
- 本機からの印刷を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 用紙のセット方法については、16、35 ページを参照してください。
- 用紙の仕様については、135 ページを参照してください。
- 印刷時にエラーが発生した場合、デバイスモニター（99 ページ）が自動的に起動し、エラー情報を表示します。

プリンタープロパティの設定

プリンター設定をステップ3で変更できます。用紙を大量に購入する前に、本機で用紙（サイズやタイプが特殊な用紙は特に）のテスト印刷を行うことを推奨します。
設定は次のタブで変更または表示できます。
［基本］：原稿サイズ、用紙の種類、用紙1枚に印刷するページ数など。
［出力］：印刷枚数、部単位など。
［ジョブ］：カラーパスワード入力
［品質］：カラーモード、カラーマネジメント、トナーセーブ機能など。
［効果］：ウォーターマーク、オーバーレイ。
［プロファイル］：好みの設定の保存、保存した設定の選択など。
［サポート］：バージョン情報

お知らせ
- 用紙に応じて、［基本］タブで目的の用紙の種類を選択してください。

使用する用紙のタイプ	用紙の種類
普通紙 60 g/m²～74 g/m²	［普通紙］
厚口普通紙 75 g/m²～105 g/m²	［厚口普通紙］
厚紙 106 g/m²～135 g/m²	［厚紙A］
厚紙 136 g/m²～165 g/m²	［厚紙B］
OHPフィルム	［OHPフィルム］
ラベル紙	［ラベル紙］
封筒	［封筒］ *1
はがき	［はがき］ *2

*1 原稿サイズで［封筒 長形3号］、［封筒 洋形4号］、［封筒 DL］または［封筒 COM-10］を選択してください。封筒にきれいに印刷するには、上下左右の余白を10 mm以上に設定してください。

*2 原稿サイズで［はがき］を選択してください。はがきの両面に印刷する場合は、先に本文面（裏側）を上側に向けてセットして印刷してください。その後に宛名面（切手マーク側）を印刷すると、本文面（裏側）をよりきれいに印刷できます。

- コンピューターから印刷する場合、プリンタープロパティ設定が優先され、本機の次の機能設定が無効になります。
  – 用紙種類設定（77 ページの機能#383）
  – トナーセーブ設定（78 ページの機能#482）
- 封筒およびはがきに印刷する場合は、ステップ4の後、本機側で印刷が一時停止します。トレイに指定された用紙が入っていることを確認した後、本機の【モノクロ】/【カラー 】を押して印刷を行ってください。（カラー設定は、事前にプリンター設定の［品質］タブから変更してください。）

3.1.1 特殊用紙への印刷

本機では、普通紙だけでなく特殊用紙（OHPフィルム／ラベル紙／封筒／はがき）にも印刷することができます。
- 用紙については、135 ページを参照してください。
- 用紙のセット方法については、16 ページを参照してください。

OHPフィルムに印刷する

レーザープリンター用のOHPフィルムを使用してください。
次のタイプを推奨します。

3M® CG3300/PP2500

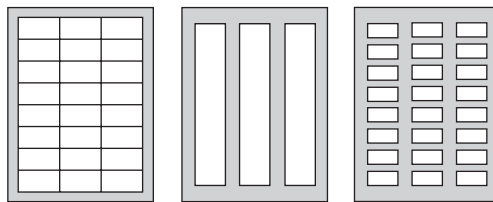
- **一度に重ねるOHPフィルムの枚数は25枚以下にしてください。**
- **印刷後は、OHPフィルムを平らな場所に置いて冷まし、カールを防止してください。**
- 本機を通過したOHPフィルムは再使用しないでください。これには、何も印刷されずに本機から排出されたOHPフィルムも含まれます。
- OHPフィルムのタイプによっては、推奨される印刷面があります。印刷品質が良好でない場合、新しいOHPフィルムでは反対面に印刷を試みてください。

ラベル紙に印刷する

レーザープリンター用のラベル紙を使用してください。
次のタイプを推奨します。

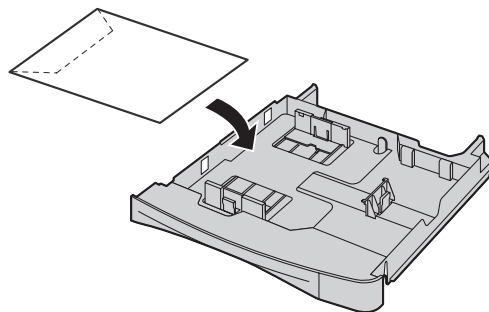
Avery®

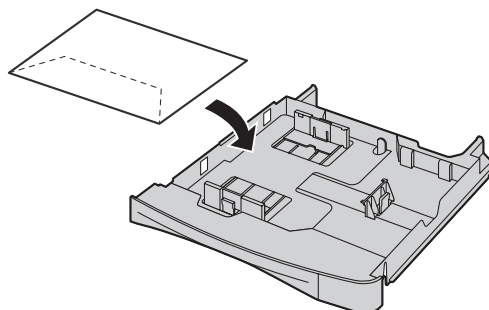
5160/5163/5660/5663/L7159/L7164

- **一度に重ねるラベル紙の枚数は25枚以下にしてください。**
- **次のタイプのラベル紙は使用しないでください。**
  – しわまたは傷のあるラベル紙、および裏紙からはがれているラベル紙。
  – 一部のラベルがはぎ取られて、隙間がある用紙。
  – 次のように、裏紙を完全に覆っていないラベル紙。

封筒に印刷する

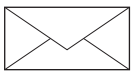
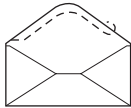
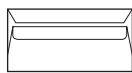
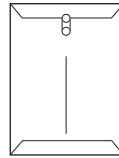
封筒は表面（貼り合わせのない面）を上にしてセットしてください。
裏面を上にしてセットしないでください。また、必ず封筒のふたを閉じてからセットしてください。
封筒の種類は、次のタイプを推奨します。
– 用紙重量90 g/m^2～110 g/m^{2}の高品質封筒
– 縁が薄く、しっかりと折り目が付いている封筒

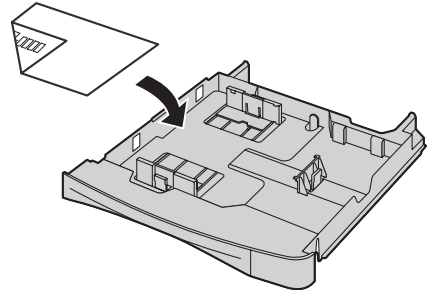
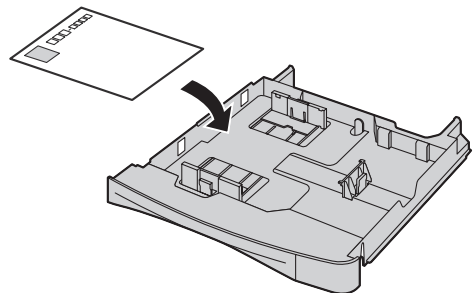
封筒 長形3号

- レーザープリンター専用の封筒を使用してください。
- 封筒のふたを、標準カセットの左側に下を向けてセットしてください。

封筒 洋形4号

- 脇側に貼り合わせのある封筒を使用してください。
- 封筒のふたを、標準カセットの手前側に下を向けてセットしてください。

- **一度に重ねる封筒の枚数は10枚以下にしてください。**

お知らせ
- 高品質の封筒を使用した場合でも、しわや波打ちが発生することがあります。
- 湿度が高いときは、印刷を避けてください。湿度が高いと、封筒がカールしたり、ふたが密着することがあります。
- 封筒は水気や湿気のない場所に、縁が曲がったり、傷ついたりしない状態で平らに保管してください。

次のいずれかに該当する封筒は使用しないでください（使用すると、紙詰まりの原因になることがあります）。
- 不規則な形の封筒
- 湿った封筒
- カール、しわ、傷、ねじれ、または耳折れなどがある封筒
- 斜めの合わせ目になっている封筒
- 表面にざらつきがある封筒、または表面に光沢のある封筒
- はく離紙をはがすだけで封がされる封筒
- ふたが2枚以上ある封筒
- 糊付け部がベタついている封筒
- 縁にしっかり折り目が付いていない封筒
- 凹凸のある封筒
- 以前に印刷された封筒
- 綿または繊維素材が含まれている封筒

次のいずれかに該当する封筒には印刷しないでください（本機が損傷するおそれがあります）。
- 玉付き封筒、または締め具や留め金の付いた封筒
- 透明窓付き封筒
- 封入タイプの糊があり、圧力のみ（水なし）で封ができる封筒

はがきに印刷する
- 官製はがきを使用してください。
- インクジェットプリンター専用のはがきは使用しないでください。
- はがきをセットするときは、切手マークと郵便番号欄の位置を確認してください。

本文面（裏側）を印刷する場合

宛名面（切手マーク側）を印刷する場合

3.1.2 両面印刷（オプション）

オプションの自動両面印字ユニットを接続すると、両面印刷が可能になります（104 ページ）。たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1 印刷するドキュメントを開く。

2 ［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。

3 プリンター一覧から本機の名前を選択する。
- Windows 2000の場合、ステップ5に進んでください。

4 **Windows XP/Windows Vista/Windows 7 の場合**
［詳細設定］

5 ［基本］タブをクリックする。

6 ［両面印刷］から、好みの両面印刷タイプを選択する。→ ［OK］
- ［片面印刷］を選択すると、この機能は無効になります。
- 両面の余白長さも変更できます。

7 ［印刷］または［OK］をクリックする。

製本印刷

原稿を印刷し、半分に折って小冊子を作成できます。この場合、原稿は用紙に合わせて縮小されます。
この機能を使用するには、37 ページ「3.1.2両面印刷（オプション）」のステップ5の後に、［レイアウト印刷］で［製本印刷］アイコンを選択してください。

3.2 Easy Print Utility

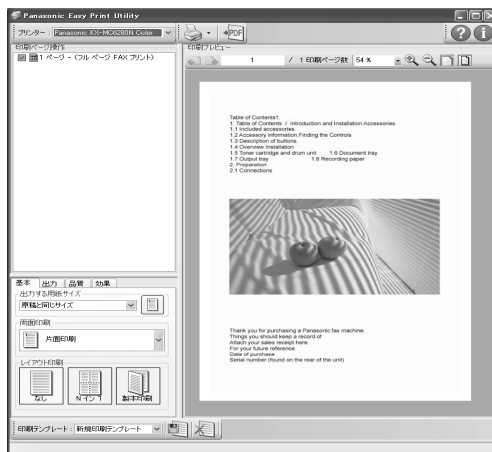
プリンタードライバーの代わりにパナソニックEasy Print Utilityを使用して印刷すると、実用的な印刷機能を便利に使用することができます。
－ コンピューターの画面にプレビュー表示することで、不要な印刷を減らせます。
－ 複数のドキュメントを結合できます。
－ ファイルをPDF形式で保存できます。
たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1 印刷するドキュメントを開く。

2 ［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。

3 プリンター一覧から［Panasonic Easy Print Driver］を選択する。

4 ［印刷］をクリックする。
- ［Panasonic Easy Print Utility］ダイアログ画面が表示されます。Easy Print Utilityの詳細については、［**?**］をクリックし、ヘルプを参照してください。

5 ［印刷ページ操作］ウィンドウで目的のページをクリックして、印刷イメージを表示する。

- プリンター設定を変更する方法については、37 ページを参照してください。
- 別々のアプリケーションで作成された複数のドキュメントを結合する方法については、37 ページを参照してください。
- ファイルをPDF形式で保存する方法については、38 ページを参照してください。
- 事前に元のアプリケーションで印刷枚数を設定した場合でも、Easy Print Utilityで再設定が必要になることがあります。

6 印刷ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。
- 印刷を開始します。

3.2.1 エコ印刷機能

さまざまな印刷機能を使用し、テスト印刷なしに印刷イメージをプレビュー表示できます。

プリンター設定

ステップ5で、次のタブの設定を変更または表示できます。
［基本］：出力する用紙サイズ、レイアウト印刷
［出力］：印刷部数、給紙方法、用紙の種類
［品質］：カラーモード、トナーセーブ
［効果］：ヘッダー、ウォーターマーク、フッター

複数のドキュメントの結合

別々のアプリケーションで作成された複数のページを表示して、1つのドキュメントとして扱うことができます。

1. 37 ページ「3.2 Easy Print Utility」のステップ1～4を実行する。

2. Easy Print Utilityに統合したい別のドキュメントを開く。

3. ［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。

- ［印刷］ダイアログ画面が表示されます。

4. プリンター一覧から［Panasonic Easy Print Driver］を選択する。
5. ［印刷］をクリックする。
   - 印刷プレビューウィンドウで、前のドキュメントの最終ページの後に現在のドキュメントが追加されます。
6. ステップ2～5を繰り返す。
7. 必要に応じて、プリンター設定を変更する（37 ページ）。
8. 印刷ツールバーの［印刷］アイコンをクリックする。

お知らせ
- ［印刷ページ操作］ウィンドウには、ドキュメントを最大で999ページ表示できます。

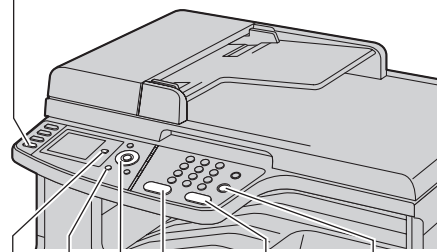
PDF形式でのファイルの保存

プレビュー表示されているファイルは、印刷の代わりに、PDF形式で保存することができます。

1. 37 ページ「3.2 Easy Print Utility」のステップ1～4を実行する。
2. 印刷ツールバーの［PDFの保存］アイコンをクリックする。
   - ［名前を付けて保存］ダイアログ画面が表示されます。
3. 保存先のフォルダーを指定して、ファイル名を入力し、［保存］をクリックする。PDFファイルが作成および保存される間、［PDFの保存］ダイアログ画面が表示される。

お知らせ
- Easy Print Utilityで作成されるPDFファイルはイメージ形式です。

3.3 SDカードからダイレクトプリントする

SDカードに保存されているファイルを、コンピューターを使わずにダイレクトプリントできます。

1 SDカードを本機のSDカードスロットに挿入する（101 ページ）。
- SDカードは別売りです。

2 【プリント】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"SDカード"** を選択する。→【セット】
- SDカードに保存されているプリント可能なファイルが表示されます。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファイルを選択する。→【セット】
- フォルダー内のファイルを選択するには、【▼】または【▲】を押して、【セット】を押します。目的のファイルが選択されるまで、この操作を繰り返してください。
- サムネール表示モードで目的のファイルを選択するには、【◄】または【►】を押して、【セット】を押します。
- ファイルは40個まで選択できます。複数のファイルを選択するには、このステップを繰り返します。
- 【ストップ】を押すと、ステップ3に戻り、選択が取り消されます。
- 【戻る】を押すと、ステップ3に戻り、選択が維持されます。

5 必要に応じて、ダイレクトプリント設定を変更する（39 ページ）。

6 【モノクロ】/【カラー 】
- カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が有効になっている場合、107 ページを参照してください。

お知らせ
- ファイル名表示とサムネール表示を切り替えるには、【*】を押してください。初期値の表示モードを変更できます（93 ページの機能#673）。
- サムネール表示と拡大表示を切り替えるには、【2】を押してください。
- プリント可能なファイル形式は次のとおりです。
  – TIFF
  – JPEG
  – PDF（イメージ形式のみ。本機からスキャンしたファイル、クイックイメージナビゲーターを使用してコンピューターからスキャンしたファイル、SDカードに保存した受信済みファクス文書など。）
- ファイル名として表示可能な文字数は最大8文字です。
- SDカードについては、101 ページを参照してください。
- プリントを中止する方法については、100 ページを参照してください。

"√" の意味
ファイル名またはサムネールの横に "√" が付いている場合、そのファイルが選択されていることを意味します。

3.3.1 ダイレクトプリント機能の設定
ダイレクトプリント設定は変更することができます。この設定はプリントごとにリセットされます。

プリント枚数を変更する
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"印刷部数"** を選択する。
3. コピー枚数を入力する（99まで）。→【セット】→【拡張機能】

方向を変更する
プリント方向を変更できます。
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"方向"** を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の設定を選択する。
   – **"縦方向"**：縦長にプリントする場合
   – **"横方向"**：横長にプリントする場合
4. 【セット】→【拡張機能】

ページレイアウトを選択する（Nイン1）
2、4、または8枚のページを1ページにプリントすると、用紙を節約できます。この場合、原稿サイズは用紙に合わせて縮小されます。
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"N in 1"** を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の設定を選択する。
   – **"なし"**：この機能は無効になります。
   – **"2 in 1"**：2枚のページが1ページにプリントされます。
   – **"4 in 1"**：4枚のページが1ページにプリントされます。
   – **"8 in 1"**：8枚のページが1ページにプリントされます。
4. 【セット】→【拡張機能】

Nイン1のページ境界線を選択する
Nイン1プリントでの複数ページの間に線を入れるかどうかを選択できます。
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"Nin1ページ境界線"** を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の設定を選択する。
   – **"なし"**：線なしでプリントする場合。
   – **"実線"**：線ありでプリントする場合。
4. 【セット】→【拡張機能】

両面印刷を選択する
オプションの自動両面印字ユニットを接続すると、両面印刷が可能になります（104 ページ）。綴じタイプも選択できます。
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"両面印刷"** を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の設定を選択する。
   – **"なし"**：この機能は無効になります。
   – **"長辺とじ"**：長辺綴じの場合。
   – **"短辺とじ"**：短辺綴じの場合。
4. 【セット】→【拡張機能】

継続印刷を選択する
ファイル形式の異なるドキュメントを、レイアウト印刷または両面印刷で1ページにプリントするかどうかを選択できます。
1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"継続印刷"** を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の設定を選択する。

– **“なし”**：同じファイル形式のみをプリントできます。
– **“あり”**：複数の異なるファイル形式をプリントできます。

4. 【セット】→【拡張機能】

明るさを調整する

ドキュメントに応じて、明るさ設定を調整できます。利用可能なレベルは7段階あります。

1. 【拡張機能】

2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“画質調整”**を選択する。→【セット】

3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“明るさ”**を選択する。

4. 【◄】または【►】を繰り返し押して、好みの明るさを選択する。→【セット】→【戻る】→【拡張機能】

彩度を調整する

ドキュメントに応じて、彩度設定を調整できます。利用可能なレベルは7段階あります。

1. 【拡張機能】

2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“画質調整”**を選択する。→【セット】

3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“彩度”**を選択する。

4. 【◄】または【►】を繰り返し押して、好みの彩度を選択する。→【セット】→【戻る】→【拡張機能】

色あいを調整する

ドキュメントに応じて、色あい設定を調整できます。利用可能なレベルは7段階あります。

1. 【拡張機能】

2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“画質調整”**を選択する。→【セット】

3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“色あい”**を選択する。

4. 【◄】または【►】を繰り返し押して、好みの色あいを選択する。→【セット】→【戻る】→【拡張機能】

3.4 FTPサーバーからダイレクトプリントする（LAN接続のみ）

FTPサーバーに保存されているファイルをダイレクトプリントできます。

お知らせ

- **事前にFTPサーバー情報の設定を行ってください（94 ページ）。**

1 【プリント】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“FTPサーバー”**を選択する。→【セット】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のFTPサーバーを選択する。→【セット】
- FTPサーバーにあるプリント可能なファイルが表示されます。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファイルを選択する。→【セット】
- フォルダー内のファイルを選択するには、【▼】または【▲】を押して、【セット】を押します。目的のファイルが選択されるまで、この操作を繰り返してください。
- ファイルは40個まで選択できます。複数のファイルを選択するには、このステップを繰り返します。
- 【ストップ】または【戻る】を押すと、ステップ3に戻り、選択が取り消されます。

5 必要に応じて、ダイレクトプリント設定を変更する（39 ページ）。

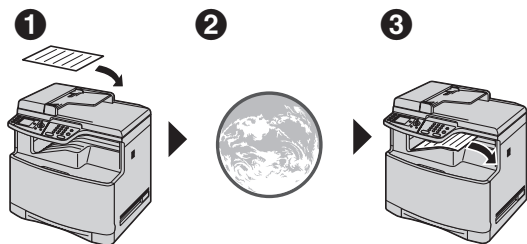
6 【モノクロ】/【カラー】
- カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が有効になっている場合、107 ページを参照してください。

お知らせ

- プリント可能なファイル形式は次のとおりです。
  – TIFF
  – JPEG
  – PDF（イメージ形式のみ。本機からスキャンしたファイル、クイックイメージナビゲーターを使用してコンピューターからスキャンしたファイル、FTPサーバーのフォルダーに保存した受信済みファクス文書など。）
- リストにはファイル名のみが表示されます。
- プリントを中止する方法については、100 ページを参照してください。

3.5 受信したEメールの添付ファイルを自動的に印刷する（LAN接続のみ）

事前にEメールサーバー（POP）情報を設定しておくと、本機はインターネット経由で対応機から送信されたEメールの添付ファイルを自動的に印刷します**（スキャンtoEメール印刷）**。この機能は、Eメールをチェックせずに添付ファイルのみを印刷する場合に便利です。

お知らせ
- **Eメールのメッセージは印刷されません。**
- **（コンピューターを使用せずに）Eメールを直接送信できる対応機から送信された添付ファイルのみが印刷されます。**
- **印刷可能な添付ファイルの形式は次のとおりです。**
  - **TIFF**
  - **JPEG**
  - **PDF（イメージ形式のみ。本機からスキャンしたファイル、クイックイメージナビゲーターを使用してコンピューターからスキャンしたファイル、Eメールの添付ファイルとして保存された受信済みファクス文書など。）**
- **受信したEメールおよび添付ファイルは、印刷後、自動的に削除されます。**

❶対応の複合機から送信する（例：44 ページ「4.1.5スキャンtoEメールアドレス（LAN接続のみ）」）
❷インターネット（Eメールサーバー）経由でEメールが送信される
❸受信側のプリンターで添付ファイルを印刷する

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［ネットワーク機能設定］

3 ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］

4 ［スキャンtoEメール印刷］タブをクリックする。

5 各項目を設定する。
この機能を有効にするには
［スキャンtoEメール印刷］の横にある［あり］を選択する。→［登録］

Eメールサーバー（POP）情報を設定するには
1. ［Eメールサーバー］の横にある［編集］をクリックする。
2. Eメールサーバー（POP）情報を入力する。→［登録］

6 Webブラウザーを閉じる。

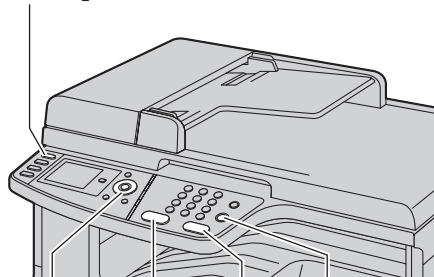
お知らせ
- 【ストップ】を押しても、印刷は中止されません。
- この機能は、Webブラウザー経由でのみ設定できます（73 ページ）。
- 最新のスキャンtoEメール印刷情報を表示するには、［Eメール印刷履歴］の横にある［リスト］をクリックしてください（97 ページ）。
- 添付ファイルが大きすぎる場合、または非対応の形式である場合、正しく印刷されません。
- Eメールのチェック間隔（96 ページ）またはヘッダー印刷設定（96 ページ）は変更できます。
- 詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

4.1 本機からスキャンする（プッシュスキャン）

本機の操作パネルを使用すると、原稿を簡単にスキャンできます。スキャンモードの中から、スキャン後のイメージの用途に適したモードを選択することができます。

お知らせ
- **31 ページ「2.13.1スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

お知らせ
- 前のスキャン設定を保持できます（89 ページの機能#494）。
- 白黒スキャン（白黒またはグレースケール）のスキャンタイプを選択するには、事前に目的のタイプをセットしておいてください（89 ページの機能#495）。
- 原稿をスキャンする場合、自動原稿送り装置よりも原稿台ガラスを使用した方が良い結果が得られます。
- 自動原稿送り装置を使用して原稿をスキャンしているときには、ADFを開けないでください。

【スキャン】

【モノクロ】【カラー】【ストップ】

【セット】【▼】【▲】【◄】【►】

4.1.1 スキャンtoビューアー

1. 原稿をセットする（21 ページ）。
2. 【スキャン】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“PC”**を選択する。→【セット】
4. **USB接続の場合**
   【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“USB接続”**を選択する。→【セット】
   LAN接続の場合
   【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→【セット】
5. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ビューアー”**を選択する。→【セット】
6. 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
   - 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。
7. **原稿台ガラスを使用する場合**
   【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
   自動原稿送り装置を使用する場合
   【モノクロ】/【カラー】
   - スキャン後、スキャンされたイメージが［Quick Image Navigator］ウィンドウに表示されます。
8. スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、PNG、BMP、またはPDF形式で保存できます。
- コンピューターでのイメージの用途に応じてスキャンモードを事前に設定しておくことができます（89 ページの機能#493）。
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウ（29 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

4.1.2 スキャンtoファイル

1. 原稿をセットする（21 ページ）。
2. 【スキャン】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“PC”**を選択する。→【セット】
4. **USB接続の場合**
   【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“USB接続”**を選択する。→【セット】
   LAN接続の場合
   【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→【セット】
5. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ファイル”**を選択する。→【セット】
6. 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
   - 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウで選択したフォルダーに自動的に保存されます。フォルダーを変更する方法については、29 ページを参照してください。

8 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、BMP、またはPDF形式で保存できます。
- コンピューターでのイメージの用途に応じてスキャンモードを事前に設定しておくことができます（89 ページの機能#493）。

4.1.3 スキャンtoEメール

スキャンしたイメージを、コンピューターのEメールソフトウェアを使用してEメールの添付ファイルとして送信することができます。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【スキャン】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"PC"** を選択する。→【セット】

4 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"USB接続"** を選択する。→【セット】
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→【セット】

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"Eメール"** を選択する。→【セット】

6 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- Eメールソフトウェアが自動的に起動し、スキャンされたイメージが新規のEメールメッセージに添付されます。

8 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- 初期設定のEメールソフトウェアを選択する方法については、30 ページを参照してください。
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- コンピューターでのイメージの用途に応じてスキャンモードを事前に設定しておくことができます（89 ページの機能#493）。
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウ（29 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

4.1.4 スキャンtoOCR

OCRソフトウェアを使用すると、イメージをテキストデータに変換できます。テキストデータはワープロソフトなどで編集できます。

お役立ちヒント：
OCRソフトウェアは別売りです。目的の第三者OCRソフトウェアをインストールして、OCRソフトウェアのパスを事前に指定してください。パスを指定するには、下記に従ってください。
Multi-Function Stationを起動する。→［設定］→［OCR設定］フィールドにOCRプログラムファイル（.exe)のパスを指定する。→［OK］
- **第三者OCRソフトウェアの動作は、保証いたしません。**

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【スキャン】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"PC"** を選択する。→【セット】

4 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"USB接続"** を選択する。→【セット】
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→【セット】

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"OCR"** を選択する。→【セット】

6 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFを選択してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャン後、スキャンされたイメージがOCRウィンドウに表示されます。

8 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはBMP形式で保存できます。
- コンピューターでのイメージの用途に応じてスキャンモードを事前に設定しておくことができます（89 ページの機能#493）。
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウ（29 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

4.1.5 スキャンtoEメールアドレス（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージを、Eメールソフトウェアを使用せずにEメールの添付ファイルとして直接送信することができます。

お知らせ
- **31 ページ「2.13.1スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【スキャン】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“Eメールアドレス”**を選択する。→【セット】

4 Eメール宛先を入力する。
ナビゲーターキーを使用する場合
【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返して押して、目的のEメール宛先を選択する。
テンキーを使用する場合
1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“アドレス手動設定”**を選択する。→【セット】
2. テンキーを使用して、Eメールアドレスを入力する（98 ページ）。

5 【セット】

6 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを選択してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャンされたイメージはEメールサーバー経由で添付ファイルとして送信されます。

8 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- Eメールアドレスは頭文字で検索することができます。
  例：“マツシタ タロウ”
  1. 44 ページ「4.1.5スキャンtoEメールアドレス（LAN接続のみ）」のステップ1～3を実行する。
  2. 【7】を繰り返し押して、頭文字が**“マ”**の名前を表示させる（文字入力については98 ページを参照）。
     - 記号を検索するには、【✱】を押してください。
  3. 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、**“マツシタ タロウ”**を選択する。
     - 検索を中止するには、【ストップ】を押してください。
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。

4.1.6 スキャンtoFTPサーバー（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージをFTPサーバーのフォルダーに送信することができます。

お知らせ
- **31 ページ「2.13.1スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【スキャン】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“FTPサーバー”**を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先を選択する。→【セット】

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャンされたイメージは、FTPサーバーの指定されたフォルダーに保存されます。

7 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- スキャンしたイメージを印刷する方法については、40 ページを参照してください。

4.1.7 スキャンtoSMBフォルダー（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージをLAN上の共有フォルダーに送信することができます。

お知らせ
- **31 ページ「2.13.1スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【スキャン】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“SMBフォルダー”**を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先を選択する。→【セット】

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャンされたイメージは、LAN上の共有フォルダーに保存されます。

7 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- この機能が正しく動作しない場合、ネットワーク管理者にご相談ください。本機のSMB機能はNTMLv2およびSMB署名に対応していません。

4.1.8 スキャンtoSDカード

スキャンしたイメージをSDカードに保存することができます。

1 SDカードを本機のSDカードスロットに挿入する（101 ページ）。
- SDカードは別売りです。

2 原稿をセットする（21 ページ）。

3 【スキャン】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“SDカード”**を選択する。→【セット】
- **“SDカード”**は、本機にSDカードが挿入されている場合にのみ表示されます。

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択し、【◄】または【►】を押す。→【セット】
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【モノクロ】/【カラー】→ 1ページ目の原稿がスキャンされる。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】
- スキャンされたイメージがSDカードに保存されます。

7 スキャン終了後、【ストップ】を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、100 ページを参照してください。

- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、または PDF形式で保存できます。
- スキャンしたイメージを印刷する方法については、38 ページを参照してください。
- SDカードについては、101 ページを参照してください。

4.2 コンピューターからスキャンする（プルスキャン）

お知らせ

- 原稿をスキャンする場合、自動原稿送り装置よりも原稿台ガラスを使用した方が良い結果が得られます。
- 自動原稿送り装置を使用して原稿をスキャンしているときには、ADFを開けないでください。

4.2.1 Multi-Functionスキャンアプリケーションの使用

アプリケーションのアイコンをクリックすると、選択したアプリケーションがスキャン後に自動的に起動します。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 Multi-Function Stationを起動する。→［スキャン］

3 目的のアプリケーションのアイコンをクリックする。
   - ［カスタム］をクリックすると、あらかじめ設定されているアプリケーションが起動します。
   - 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、［キャンセル］をクリックしてください。

お知らせ

- 各アプリケーションのスキャン設定は事前に変更することができます（29 ページ）。
- アプリケーションのアイコンをポイントすると、そのアプリケーションのスキャン設定がツールのヒントとして表示されます。
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウ（29 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

4.2.2 ビューアーの使用

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 Multi-Function Stationを起動する。

3 ［ユーティリティー］→［ビューアー］
   - ［Quick Image Navigator］が表示されます。

4 ［Quick Image Navigator］ウィンドウの［インポートフォルダへイメージの取り込み...］アイコンをクリックする。
   - 本機の名前を示すダイアログ画面が表示されます。

5 必要に応じて、コンピューターでスキャン設定を変更する。
   - スキャンするイメージを確認するには、［プレビュー］をクリックしてください。フレームをドラッグすると、スキャン範囲を指定できます。スキャン設定を変更した場合、［プレ

ビュー］をクリックして、スキャンしたイメージを更新してください。
自動原稿送り装置を使用すると、最初のページのみが表示されます。スキャンしたイメージを更新する必要がある場合、原稿をセットして再表示してください。

6 ［スキャン］
- ステップ5で自動原稿送り装置を使用してスキャンするイメージを確認した場合、原稿を再セットして、［スキャン］をクリックしてください。
- スキャン後、スキャンされたイメージが［Quick Image Navigator］ウィンドウに表示されます。
- スキャンしたイメージを保存するには、［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択してください。
- 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、［キャンセル］をクリックしてください。

お知らせ
- スキャンされたイメージは、［設定］ウィンドウ（29 ページ）で指定したファイル形式（TIFF、JPEG、PDF、およびBMP）でアプリケーションを起動することができます。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、BMP、PNG、またはPDF形式で保存できます。
- ［対象装置］に［選択...］ボタンが表示された場合、［選択...］をクリックして、リストから本機を選択し、［OK］をクリックしてください。
- プリンタードライバーが1つだけインストールされている場合、［選択...］ボタンは表示されません。
- ファイルまたはページ単位で移動、コピー、および削除することができます。

4.2.3 その他のアプリケーションの使用

Multi-Function Stationには、TWAINおよびWIA対応スキャナードライバーが含まれています。TWAINまたはWIAに対応しているその他のアプリケーションを使用してスキャンすることもできます。一般的に、次のような手順に従います。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 TWAINまたはWIAに対応しているアプリケーションを起動する。

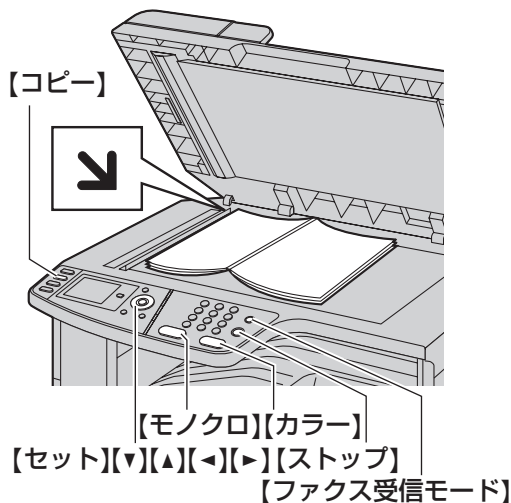
3 **TWAIN対応の場合**
［ファイル］メニューから［イメージの取り込み］を選択する。
WIA対応の場合
［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナから取り込み］を選択する。
- 本機の名前を示すダイアログ画面が表示されます。

4 必要に応じて、コンピューターでスキャン設定を変更する。→［スキャン］
- スキャン後、スキャンされたイメージがアプリケーションのウィンドウに表示されます。
- 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、［キャンセル］をクリックしてください。

お知らせ
- WIA対応アプリケーションからのスキャンは、Windows XP、Windows Vista、およびWindows 7とUSB接続のみで利用できます。
- 使用するアプリケーションに応じて、表示が多少異なることがあります。
- TWAIN対応機器でのスキャン中に［対象装置］に［選択...］ボタンが表示された場合、［選択...］をクリックして、リストから本機を選択し、［OK］をクリックしてください。
プリンタードライバーが1つだけインストールされている場合、［選択...］ボタンは表示されません。

5.1 コピーを作成する

- A4、レター、リーガル、B5、216×330、および216×340サイズの用紙（厚口普通紙および普通紙）を使用することができます。

5.1.1 原稿台ガラスの使用

1 【コピー】ライトが消えている場合、【コピー】を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（21 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいてコピー設定を変更する。
- コピーサイズの選択方法については、48 ページを参照してください。
- コピー枚数の変更方法については、48 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、48 ページを参照してください。
- 読取画質の選択方法については、48 ページを参照してください。
- ズーム倍率の選択方法については、49 ページを参照してください。

4 【モノクロ】/【カラー】
- カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が有効になっている場合、106 ページを参照してください。
- コピーを開始します。

5 コピー終了後、【ストップ】を押して、ステップ3で行った設定をリセットする。

お知らせ
- コピーを中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 操作モードの初期値（78 ページの機能#463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（78 ページの機能#464）を変更することができます。
- 【ファクス受信モード】ライトが点灯している場合、コピーモードでもファクスを自動的に受信できます。

コピーサイズを選択する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“コピーサイズ”**を選択する。→【◄】/【►】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“原稿サイズ”**を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、原稿のサイズを選択する。→【セット】
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“給紙口選択”**を選択する。
5. 【◄】または【►】を繰り返し押して、給紙カセットを選択する。
   - 適切なズーム倍率が自動的に設定されます。ズームコピー中には、一部のコピー機能を使用できません。詳細については、49 ページを参照してください。
6. 【セット】

コピー枚数を変更する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“印刷部数”**を選択する。
2. コピー枚数を入力する（99まで）。
3. 【セット】

読取濃度を選択する

原稿の暗さまたは明るさに応じて、この設定を調整してください。利用可能なレベルは5段階（低〜高）あります。

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“画質”**を選択する。→【◄】/【►】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“読取濃度”**を選択する。
3. 【◄】または【►】を押す。→【セット】

お知らせ
- 前の読取濃度設定を保持できます（78 ページの機能#462）。

読取画質を選択する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“画質”**を選択する。→【◄】/【►】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“読取画質”**を選択する。
3. 【◄】または【►】を繰り返し押して、好みの読取画質を選択する。

– **“文字/写真”**：文字および写真用。
– **“文字”**：文字専用。
– **“写真”**：写真、陰影付きの図など。

4. 【セット】

お知らせ

● 初期値の読取画質を変更できます（85 ページの機能#461）。

ズーム倍率（拡大／縮小）を選択する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ズーム”** を選択する。

2. 【◄】または【►】を繰り返し押して、原稿と用紙のサイズに合うズーム倍率を選択する。
– **“100%”**
– **“50%”**
– **“200%”**
● テンキーを使用すると、**“25%”** から **“400%”** の範囲で任意の倍率を入力できます。

3. 【セット】

お知らせ

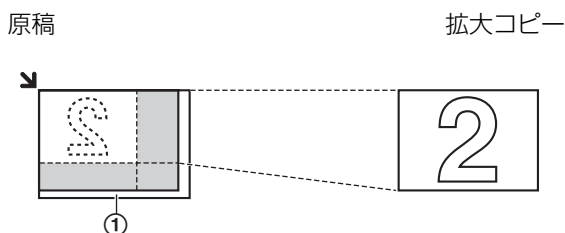
● 次の機能では、ズームコピーを利用できません。
– カードコピー機能（51 ページ）
– イメージリピート機能（51 ページ）
– ポスター機能（51 ページ）
– N in 1機能（51 ページ）
– N in 1 復元印刷機能（52 ページ）
– 製本印刷機能（53 ページ）
● 前のズーム設定を保持できます（85 ページの機能#468）。
● **原稿台ガラスを使用する場合、**本機の↘マークを起点として原稿の右上が拡大されます。
● **自動原稿送り装置を使用する場合、**原稿上部の中央が拡大されます。原稿下部を拡大コピーするには、原稿を上下逆にしてからコピーしてください。

例：150 %拡大コピー

原稿台ガラス（①）を使用した場合

原稿　　拡大コピー

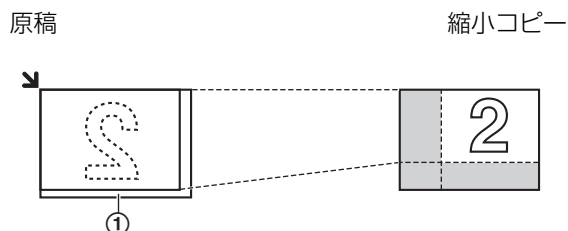
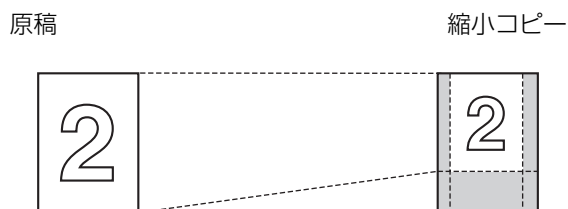
自動原稿送り装置を使用した場合

原稿　　拡大コピー

例：70 %縮小コピー

原稿台ガラス（①）を使用した場合

原稿　　縮小コピー

自動原稿送り装置を使用した場合

原稿　　縮小コピー

5.1.2 自動原稿送り装置の使用

1 【コピー】ライトが消えている場合、【コピー】を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（22 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいてコピー設定を変更する。
● コピーサイズの選択方法については、48 ページを参照してください。
● コピー枚数の変更方法については、48 ページを参照してください。
● 読取濃度の選択方法については、48 ページを参照してください。

- 読取画質の選択方法については、48 ページを参照してください。
- ズーム倍率の選択方法については、49 ページを参照してください。

4 【モノクロ】/【カラー】
- カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が有効になっている場合、106 ページを参照してください。
- コピーを開始します。

5 コピー終了後、【ストップ】を押して、ステップ3で行った設定をリセットする。

お知らせ
- コピーを中止する方法については、100 ページを参照してください。

5.2 その他のコピー機能

- 【コピー】ライトが点灯していることを確認してください。

5.2.1 ソートコピー

本機では、複数ページをコピーするときに、元の原稿ページと同じ順序にソートしてコピーすることができます。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"印刷部数"** を選択する。

3 コピー枚数を入力する（99まで）。→【セット】

4 【拡張機能】

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"部単位印刷"** を選択する。

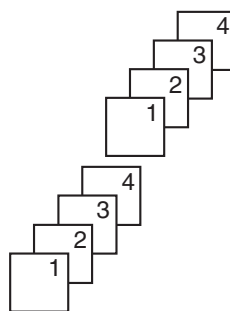
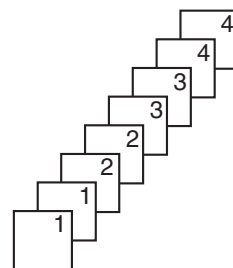
6 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"あり"** を選択する。→【セット】→【拡張機能】

7 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. 【モノクロ】/【カラー】
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべてのページをスキャンし、【モノクロ】/【カラー】を押す。
   - コピーを開始します。

自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】

8 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

例：4ページの原稿を2部コピーする

ソート機能を使用した場合のページ順序

ソート機能を使用しなかった場合のページ順序

お知らせ
- ソートコピーの実行中、本機は原稿をメモリーに保存します。保存中にメモリーがいっぱいになっ

た場合、保存されているページのみが印刷されます。
- 前のソート設定を保持できます（85 ページの機能#469）。

試しコピー機能
ソート機能を使用して最初に原稿を1部コピーするには、【◄】または【►】を繰り返し押して、**"試しコピー"**を表示させます（50 ページ「5.2.1ソートコピー」のステップ6）。本機はソート機能を使用して原稿を1部コピーした後、一時的に停止し、コピーの品質を確認するための時間を確保します。適切にコピーされている場合、【モノクロ】/【カラー 】を押すと、コピーを続行できます。
適切にコピーされていない場合、【ストップ】を押して、最初からやり直してください。

5.2.2 カードコピー機能／イメージリピート機能（原稿台ガラスのみ）

カードコピー機能 両面原稿を1ページにコピーします。
イメージリピート機能 片面原稿を1ページに繰り返しコピーします。

お知らせ
- コピー原稿は用紙に合わせて縮小されないため、サイズの小さい原稿（名刺など）のコピーに役立ちます。

1 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ページレイアウト"**を選択する。→【◄】/【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"カードコピー"**または**"イメージリピート"**を選択する。→【セット】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、好みのページレイアウトを選択する。
カードコピー機能
– **"2 in 1 (横)"**
– **"2 in 1 (縦)"**
– **"4 in 1 (横)"**
– **"4 in 1 (縦)"**
– **"8 in 1 (横)"**
– **"8 in 1 (縦)"**
イメージリピート機能
– **"2 in 1"**
– **"4 in 1"**
– **"8 in 1"**

4 原稿をセットする（21 ページ）。
- 横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。
- スキャン範囲は、ステップ3で選択した設定に応じて変更されます。画面の指示に従ってください。

5 【セット】

6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
- その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。

7 **カードコピー機能**
1. 【モノクロ】/【カラー 】
- 1ページ目の原稿がスキャンされます。

2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンする。
- コピーを開始します。
- 【モノクロ】/【カラー 】を押すと、随時コピーを開始できます。

イメージリピート機能
【モノクロ】/【カラー 】

8 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- 前のページレイアウト設定を保持できます（85 ページの機能#467）。

5.2.3 ポスター機能（原稿台ガラス）

原稿を2つ（**"1×2"**）、4つ（**"2×2"**）または9つ（**"3×3"**）の区画に分割し、各区画を拡大してコピーすることができます。印刷後に各用紙をのりで貼り合わせると、1枚の大きなポスターになります。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ページレイアウト"**を選択する。→【◄】/【►】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ポスター"**を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"1×2"**、**"2×2"**または**"3×3"**を選択する。→【セット】

5 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
- その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。

6 【モノクロ】/【カラー 】

7 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- 前のページレイアウト設定を保持できます（85 ページの機能#467）。

5.2.4 N in 1機能

2、4、または8枚のページを1ページにコピーすると、用紙を節約できます。この場合、原稿は用紙に合わせて縮小されます。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

● 縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ページレイアウト"** を選択する。→【◄】/【►】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、"N in 1" を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、好みのページレイアウトを選択する。
– "2 in 1 (縦)"
– "2 in 1 (横)"
– "4 in 1 (縦)"
– "4 in 1 (横)"
– "8 in 1 (縦)"
– "8 in 1 (横)"

5 【セット】

6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
● その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
1. 【モノクロ】/【カラー】
● 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンする。
● コピーを開始します。
● 【モノクロ】/【カラー】を押すと、随時コピーを開始できます。

自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】

8 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
● 前のページレイアウト設定を保持できます（85 ページの機能#467）。

N in 1 復元印刷機能（原稿台ガラスのみ）

N in 1機能でコピーした原稿を、元の別々のページに分割することができます。この機能は、"2 in 1" および "4 in 1" 設定を使用して作成した原稿で利用できます。

1. 原稿をセットする（21 ページ）。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ページレイアウト"** を選択する。→【◄】/【►】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、"N in 1 **復元**" を選択する。→【セット】
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、好みのページレイアウトを選択する。
– "2 in 1 (縦)"
– "2 in 1 (横)"
– "4 in 1 (縦)"
– "4 in 1 (横)"
5. 【セット】
6. 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
● その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。
7. 【モノクロ】/【カラー】
8. コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

5.2.5 エッジ機能

本機では、用紙に合わせてコピー原稿を縮小せずに、原稿のエッジをコピーしないように設定することができます。この機能は、エッジの汚れた原稿をコピーするときに役立ちます。

お知らせ
● この機能とページレイアウト機能は同時に使用できません（N in 1、製本印刷を除く）。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【拡張機能】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"エッジ"** を選択する。→【◄】/【►】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"長辺側エッジ"** を選択する。

5 テンキーを使用して、長辺のエッジ幅を入力する。→【セット】

6 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"短辺側エッジ"** を選択する。→【◄】/【►】

7 テンキーを使用して、短辺のエッジ幅を入力する。→【セット】→【拡張機能】

8 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。→【モノクロ】/【カラー】

9 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
● 前のエッジ設定を保持できます（85 ページの機能#473）。

5.2.6 とじ代機能

本機では、余白をつくるために、原稿の特定のとじ代をコピーしないように設定することができます。この機能は、コピーした原稿を製本する場合に役立ちます。

お知らせ
● 設定した余白に基づいて自動的に縮小コピーする方法については、85 ページの機能#474を参照してください。

- この機能とページレイアウト機能は同時に使用できません（N in 1、製本印刷を除く）。

1 原稿をセットする（21 ページ）。
- 縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。

2 【拡張機能】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“とじ代”** を選択する。→【◄】/【►】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“方向”** を選択する。

5 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“縦方向”** または **“横方向”** からページレイアウトを選択する。→【セット】

6 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“位置”** を選択する。

7 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“上”**、**“下”**、**“左”** または **“右”** から余白を設定するエッジを選択する。→【セット】

8 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“とじ代”** を選択する。→【◄】/【►】

9 テンキーを使用して、余白の幅を入力する。→【セット】→【拡張機能】

10 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。→【モノクロ】/【カラー】

11 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- 前の余白設定を保持できます（85 ページの機能#475）。

5.2.7 コピー予約

次の条件では、コピー予約ができます。
– 本機がコンピューターからの原稿を印刷中の場合。
– 本機が受信したファクス文書を印刷中の場合。
– 本機がダイレクトプリントを実行中の場合。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 **“ＰＣプリント中です”**、**“印刷中です”** または **“読み込み中です”** が表示されているときに、【コピー】を押す。

3 コピー枚数、読取画質、ズーム機能、およびページレイアウト機能など、必要な設定を行う（48 ページ）。→【モノクロ】/【カラー】
- **“コピー予約中です”** が表示されます。現在の印刷ジョブの後にコピーを開始します。

5.2.8 両面コピー（オプション）

オプションの自動両面印字ユニットを接続すると、両面コピーが可能になります（104 ページ）。これにより、片面原稿から両面コピーを作成することができます。

1 原稿をセットする（21 ページ）。

2 【拡張機能】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“両面印刷”** を選択する。

4 【◄】または【►】を繰り返し押して、綴じ方を選択する。
– **“長辺とじ”**
– **“短辺とじ”**
- **“なし”** を選択すると、この機能は無効になります。

5 【セット】→【拡張機能】

6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
- その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. 【モノクロ】/【カラー】
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。
   - コピーを開始します。

自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー】

8 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- カードコピー機能（51 ページ）、イメージリピート機能（51 ページ）、またはポスター機能（51 ページ）では、両面コピーを利用できません。
- 前の両面コピー設定を保持できます（85 ページの機能#470）。

製本印刷機能

この機能は、コピー後に半分に折って小冊子を作成するときに役立ちます。この場合、原稿は用紙に合わせて縮小されます。

1. 原稿をセットする（21 ページ）。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ページレイアウト”** を選択する。→【◄】/【►】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“製本印刷”** を選択する。→【セット】
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、綴じ方向とページを選択する。
   – **“左とじ（１）”**
   – **“左とじ（全）”**
   – **“右とじ（１）”**
   – **“右とじ（全）”**

- **“(1)”**：原稿4枚を別々のブロックとして印刷します。
- **“(全)”**：すべての原稿を1つのブロックとして印刷します（白黒印刷のみ）。

5. 【セット】

6. 必要に応じて、コピー枚数を入力する（48 ページ）。
- その他のコピー設定も利用できます。詳細については、48 ページを参照してください。
- 複数コピーは自動的に原稿と同じ順序にソートされます。

7. **原稿台ガラスを使用する場合**
  1. 【モノクロ】/【カラー 】
  - 1ページ目の原稿がスキャンされます。

  2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、【セット】を押す。この操作を繰り返してすべてのページをスキャンする。

  3. **ステップ4で“左とじ（1）”または“右とじ（1）”を選択した場合、**コピーを開始します。
  - 【モノクロ】/【カラー 】を押すと、随時コピーを開始できます。
  - 複数コピーする場合、【モノクロ】/【カラー 】を押すと、コピーが始まります。

  ステップ4で“左とじ（全)”または“右とじ(全)”を選択した場合、【モノクロ】を押して、コピーを開始します。

自動原稿送り装置を使用する場合
【モノクロ】/【カラー 】

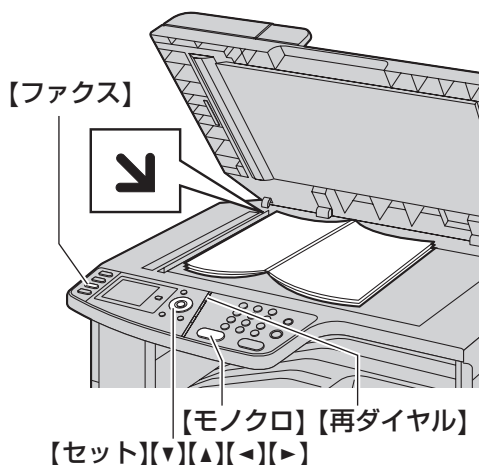
8. コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- ステップ4で**“左とじ（全)”**または**“右とじ(全)”**を選択した場合、モノクロコピーのみを利用できるため、ステップ7で【モノクロ】を押してください。【カラー 】を押すと、ステップ2～6がリセットされます。
- 前のページレイアウト設定を保持できます（85ページの機能#467）。

6.1 ファクスを手動で送信する

お知らせ
- **ファクスは白黒でのみ送信できます。**

6.1.1 原稿台ガラスの使用

原稿台ガラスを使用すると、自動原稿送り装置で送信できない小さいサイズの紙や小冊子の1ページを送信することができます。

1 【ファクス】ライトが消えている場合、【ファクス】を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（21 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質と読取濃度を変更する。
- 読取画質の選択方法については、55 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、55 ページを参照してください。

4 ファクス番号をダイヤルする。

5 【モノクロ】

6 ファクス送信先再入力画面が表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→【モノクロ】
- ファクス番号が一致しない場合は、ステップ3に戻ります。
- 直接ダイヤル再入力機能（81 ページの機能#422）を **"なし"** に設定すると、ファクス送信先再入力画面は表示されません。

7 ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】
- **"読取：<セット> を押してください"** **"送信：<スタート> を押してください"** が表示されるまでお待ちください。
- 送信ページが1枚の場合、ステップ9に進んでください。
- 複数のページを送信する場合、次のステップに進んでください。
- 送信先確認機能（81 ページの機能#420）を **"なし"** に設定すると、ファクス送信先確認画面は表示されません。

8 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→【セット】
- 複数のページを送信するには、このステップを繰り返します。
- 読取中に読取画質を変更するには、【◄】または【►】を繰り返し押して読取画質を変更し、【セット】を押してください。設定は次のページから適用されます。

9 【モノクロ】

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 操作モードの初期値（78 ページの機能#463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（78 ページの機能#464）を変更することができます。

読取画質を選択する

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"読取画質"** を選択する。
2. 【◄】または【►】を繰り返し押して、好みの読取画質を選択する。→【セット】
   - **"標準"**：通常サイズの文字に適しています。
   - **"小さい"**：小さいサイズの文字に適しています。
   - **"細密"**：非常に小さいサイズの文字に適しています。
   - **"写真"**：写真、陰影付きの図などに適しています。

- **"小さい"**、**"細密"** および **"写真"** 設定を使用すると、通信時間が長くなります。

読取濃度を選択する

原稿の暗さまたは明るさに応じて、この設定を調整してください。利用可能なレベルは5段階（低〜高）あります。

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"読取濃度"** を選択する。
2. 【◄】または【►】を押す。→【セット】

お知らせ
- 前の読取濃度設定を保存できます（78 ページの機能#462）。

最後にダイヤルした番号に再ダイヤルする

【再ダイヤル】
- ファクス送信時に話し中の場合、本機は自動的にその番号を2回以上再ダイヤルします。

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。

ファクス送信の予約（二重アクセス）

本機では、ファクス受信中またはメモリーからのファイル送信中でも、ファクス送信を予約することができます。
– 送信中は3件まで予約できます。
– 受信中は4件まで予約できます。

1. ファクス受信中またはメモリーからのファクス送信中に原稿をセットする。
2. テンキーまたは電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。
3. **原稿台ガラスを使用する場合**
   1. 【モノクロ】
      - 1ページ目の原稿が読み取られます。
   2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→【セット】
      - この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンします。
   3. 【モノクロ】

   自動原稿送り装置を使用する場合

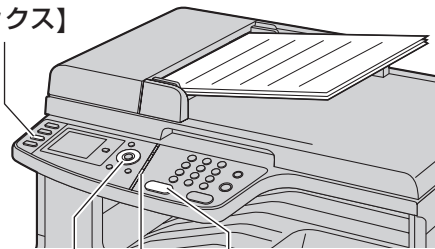
   【モノクロ】
- 原稿がメモリー容量を超えると、送信は中止されます。この場合、すべての原稿を手動で送信する必要があります。

通信結果レポートの印刷

通信結果レポートには、通信結果の記録が印刷されます。通信結果レポートを印刷するには、機能#401が有効になっていることを確認してください（79 ページ）。メッセージの説明については、108 ページを参照してください。

通信履歴レポートの印刷

通信履歴レポートには、最近30件のファクスの記録が印刷されます。手動で印刷する方法については、133 ページを参照してください。新規ファクスの送受信30件ごとに通信結果レポートを自動的に印刷するには、機能#402が有効になっていることを確認してください（79 ページ）。メッセージの説明については、108 ページを参照してください。

6.1.2 自動原稿送り装置の使用

1. 【ファクス】ライトが消えている場合、【ファクス】を押して点灯させる。
2. 原稿をセットする（22 ページ）。
3. 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質と読取濃度を変更する。
   - 読取画質の選択方法については、55 ページを参照してください。
   - 読取濃度の選択方法については、55 ページを参照してください。
4. 【モニター】
5. ファクス番号をダイヤルする。→【モノクロ】

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 自動原稿送り装置を使用してファクスを送信しているときには、ADFを開けないでください。

ファクス番号の事前ダイヤル

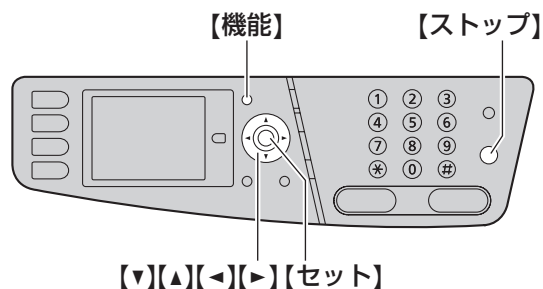
1. ファクス番号を入力する。
2. 原稿をセットする（22 ページ）。→【モノクロ】
3. ファクス送信先再入力画面が表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→【モノクロ】
4. ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】

メモリーからの送信（メモリー送信機能）

1. 原稿をセットする（22 ページ）。
2. ファクス番号を入力する。
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“メモリー送信”**を選択し、【◄】または【►】を繰り返し押して、**“あり”**を選択する。→【モノクロ】
4. ファクス送信先再入力画面が表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→【モノクロ】

5. ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】

6.2 電話帳の項目を登録する

本機には電話帳が搭載されています（300項目)。

6.2.1 電話帳項目の登録

1 【機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"電話帳登録"** を選択する。

3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"新規追加"** を選択する。→【セット】

4 20文字以内で名前を入力する。(文字入力については98 ページ参照)。→【セット】→【▼】/【▲】

5 32桁以内で電話番号を入力する。→【セット】→【セット】
   - その他の項目を登録するには、ステップ4～5を繰り返します。

6 【機能】

お知らせ
- 電話番号に入力されたハイフンまたはスペースは2桁としてカウントされます。

6.2.2 登録されている項目の編集

1 【機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"電話帳登録"** を選択する。

3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"編集"** を選択する。→【セット】

4 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【セット】

5 必要に応じて、名前を編集する。→【セット】→【▼】/【▲】

6 必要に応じて、電話番号を編集する。→【セット】→【セット】→【機能】

6.2.3 登録されている項目の消去

1 【機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"電話帳登録"** を選択する。

3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"編集"** を選択する。→【セット】

4 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【♯】
   - 消去を中止するには、【ストップ】、【機能】の順に押してください。

5 【セット】→【機能】

6.3 電話帳を使用してファクスを送信する

この機能を使用する前に、送信先の名前と電話番号を電話帳に登録してください（57 ページ）。
- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

6.3.1 原稿台ガラスの使用

1 原稿をセットする（21 ページ）。
2 【◄】または【►】を押して、電話帳を開く。
3 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【セット】
4 必要に応じて、読取画質（55 ページ）と読取濃度（55 ページ）を変更する。
5 【モノクロ】
6 ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】
   - **"読取：<セット> を押してください" "送信：<スタート> を押してください"** が表示されるまでお待ちください。
   - 送信ページが1枚の場合、ステップ8に進んでください。
   - 複数のページを送信する場合、次のステップに進んでください。
   - 送信先確認機能（81 ページの機能#420）を **"なし"** に設定すると、ファクス送信先確認画面は表示されません。
7 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→【セット】
   - 複数のページを送信するには、このステップを繰り返します。
8 【モノクロ】

名前を頭文字で検索する
例："マツシタ タロウ"

1. 【◄】または【►】を押して、電話帳を開く。
2. 【7】を繰り返し押して、頭文字が **"マ"** の名前を表示させる（文字入力については98 ページを参照）。
   - 記号を検索するには、【*】を押してください。
3. 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、**"マツシタ タロウ"** を選択する。
   - 検索を中止するには、【ストップ】を押してください。

ファクス自動再ダイヤル
ファクス送信時に話し中の場合、または相手側の応答がない場合、本機は自動的にその番号を2回以上再ダイヤルします。

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。

6.3.2 自動原稿送り装置の使用

1 原稿をセットする（22 ページ）。
2 電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。
3 必要に応じて、読取画質（55 ページ）と読取濃度（55 ページ）を変更する。
4 【モノクロ】
5 ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】

6.4 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます（20箇所まで）。この機能を使用する前に、電話帳を使用してファクス番号を同報送信メモリーに登録してください（57 ページ）。
登録した項目は同報送信メモリーに残るため、頻繁に使用するときには便利です。

6.4.1 同報送信メモリーに項目を登録する

1 【機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“電話帳登録”**を選択する。
3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“同報送信”**を選択する。→【セット】
4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリー（**“<グループ1>”**～**“<グループ5>”**）を選択する。
- 同報送信メモリー名を変更したくない場合、【◄】または【►】を押して、ステップ8に進んでください。

5 【セット】を押して、同報送信メモリー名を変更する。
6 【◄】/【►】→ 名前を変更する。20文字まで入力できる（文字入力については 98 ページ参照）。
7 【セット】を2回押す。
8 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【セット】
- 右上の数字は、登録されている項目の数を表します。
- その他の項目を登録するには、このステップを繰り返します（20項目まで）。
- 登録した項目に誤りがあった場合、【セット】をもう一度押して“✓”を削除し、選択項目を取り消してください。

9 【戻る】→【機能】

6.4.2 同報送信メモリーに新規項目を追加する

1 【機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“電話帳登録”**を選択する。
3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“同報送信”**を選択する。→【セット】
4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリー（**“<グループ1>”**～**“<グループ5>”**）を選択する。→【◄】/【►】→【*】
- 登録時に同報送信メモリー名を変更した場合、その名前を選択してください。

5 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、追加する項目を選択する。→【セット】
- その他の項目を追加するには、このステップを繰り返します（20項目まで）。

6 【戻る】→【機能】

お知らせ
- 同報送信メモリーに新規項目を追加する場合、登録されている項目のみを選択できます。

6.4.3 登録されている項目を同報送信メモリーから消去する

1 【機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“電話帳登録”**を選択する。
3 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“同報送信”**を選択する。→【セット】
4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリー（**“<グループ1>”**～**“<グループ5>”**）を選択する。→【◄】/【►】
- 登録時に同報送信メモリー名を変更した場合、その名前を選択してください。

5 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、消去する項目を選択する。
- 消去を中止するには、【ストップ】、【機能】の順に押してください。

6 【#】→【機能】

お知らせ
- 登録されている項目をすべて消去すると、同報送信メモリーの名前は初期値の名前に戻ります。

6.4.4 登録済みの送信先に同じ原稿を送信する

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

原稿台ガラスを使用して同じ原稿を送信する

1. 原稿をセットする（21 ページ）。
2. 【◄】または【►】を押して、電話帳を開く。
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリーを選択する。→【セット】
4. 必要に応じて、読取画質（55 ページ）と読取濃度（55 ページ）を変更する。→【モノクロ】
5. ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】
   - **“読取：<セット> を押してください”** **“送信：<スタート> を押してください”**が表示されるまでお待ちください。
   - 送信ページが1枚の場合、ステップ7に進んでください。

- 複数のページを送信する場合、次のステップに進んでください。
- 送信先確認機能（81 ページの機能#420）を **“なし”** に設定すると、ファクス送信先確認画面は表示されません。

6. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→【セット】
- 複数のページを送信するには、このステップを繰り返します。

7.【モノクロ】

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 読取画質として **“小さい”**、**“細密”** または **“写真”** を選択すると、送信できるページ数が減ります。
- 原稿がメモリー容量を超えると、送信は中止されます。
- 話し中の送信先または応答しない送信先はスキップされて、後で2回以上再ダイヤルされます。
- 送信後、レポート（**同報送信通信結果レポート**）が自動的に印刷されます。

自動原稿送り装置を使用して同じ原稿を送信する

1. 原稿をセットする（22 ページ）。

2.【◄】または【►】を押して、電話帳を開く。

3.【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリーを選択する。→【セット】

4. 必要に応じて、読取画質（55 ページ）と読取濃度（55 ページ）を変更する。

5.【モノクロ】

6. ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。→【モノクロ】

6.5 コンピューターファイルをファクスメッセージとしてコンピューターから送信する

WindowsアプリケーションからMulti-Function Stationを使用してファクス機能にアクセスできます。たとえば、ワードパッドで作成したドキュメントを送信するには、次の手順に従います。

1 送信するドキュメントを開く。

2 ［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。
- ［印刷］ダイアログ画面が表示されます。

3 プリンター一覧からPCファクスの名前を選択する。

4 ［印刷］または［OK］をクリックする。
- ［ファクス送信］ダイアログ画面が表示されます。

5 テンキーディスプレイまたは電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。
- 操作を中止するには、［キャンセル］を押してください。

6 ［送信］
- ドキュメントがコンピューターから本機を介して送信されます。

お知らせ
- 送信を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- ファイルが本機のメモリー容量を超えると、送信は中止されます。
- 詳細については、Multi-Function Stationから［💡］を選択すると、ヘルプファイルを参照できます。
- ［選択...］をクリックすると、アクティブなプリンターを変更できます。

ファクス誤送信防止機能の設定
コンピューターからのファクス誤送信を防ぐことができます。

1. Multi-Function Stationから［PCファクス］を選択する。
2. ［ツール］→［機能設定］
3. ［送信］リストから、目的の項目にチェックマークを付ける。

– ［送信時に確認ダイアログを表示する］：ファクス送信先確認画面が表示され、ファクス送信前にファクス番号の確認が必要です。
– ［ファクス番号の直接入力は行わない］：電話帳を使用したファクス番号選択のみ有効となります。
– ［ファクス番号の再入力確認を行う］：テンキーディスプレイを使用してファクス番号を入力した場合、ファクス番号の再入力が必要です。

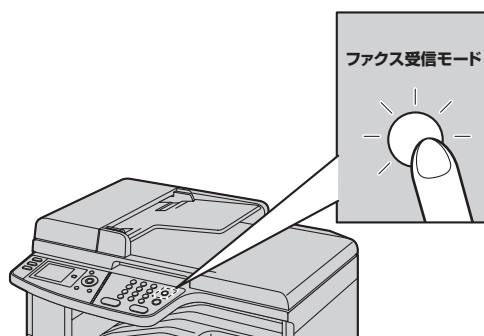
お知らせ
- 各機能の詳細については、［ヘルプ］をクリックしてください。

6.6 用途を選択する

状況に応じて、本機の主な使用方法を選択してください。
– ファクスとしてのみ使用する（ファクス専用）
– 主に電話として使用する（手動受信モード）
– 電話またはファクスとして使用する（ファクス／電話切替（F/T切替）モード）
– 留守番電話を接続して使用する

6.6.1 ファクスとしてのみ使用する（ファクス専用）

使用状況
ファクス専用の電話回線がある、または本機をファクス受信専用として使用したい。

セットアップ
【ファクス受信モード】を繰り返し押して、本機をファクス専用（62 ページ）に設定します。

ファクスの受信方法
すべての着信がファクスとして応答されます。

6.6.2 主に電話として使用する（手動受信モード）

使用状況
着信には自分で応答したい。ファクスが着信した場合、ファクスを手動で受信する必要がある。

セットアップ
【ファクス受信モード】を繰り返し押して、本機を手動受信モード（63 ページ）に設定します。

お知らせ
- 事前に機能#404が**“手動受信”**に設定されていることを確認してください（79 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法
すべての着信に手動で応答する必要があります。
ファクスを受信するには、【モノクロ】を押します。

6.6.3 電話またはファクスとして使用する（ファクス／電話切替（F/T切替）モード）

使用状況
電話には自分で応答したいが、ファクスの場合は呼び出し音なしで自動的に受信したい。

セットアップ
【ファクス受信モード】を繰り返し押して、本機をファクス／電話切替モード（64 ページ）に設定します。

お知らせ
- 事前に機能#404が**“F/T 切替”**に設定されていることを確認してください（79 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法
着信が電話の場合、呼び出し音が鳴ります。
ファクス音が検知されると、呼び出し音なしでファクスが自動的に受信されます。

6.6.4 留守番電話を接続して使用する

使用状況
本機に留守番電話を接続して使用したい。

セットアップ
［外部電話］端子に留守番電話を接続して、留守番電話の呼び出し回数を4回未満に設定します。
- 自動応答をオンにして使用する場合、本機のファクス専用モードの呼び出し回数を4以上に設定してください（76 ページの機能#210）。
- 自動応答をオフにして、ファクス／電話切替モードで使用する場合、本機が着信に応答する前に、内線電話の呼び出し音が鳴る回数を4以上に設定してください（79 ページの機能#212）。

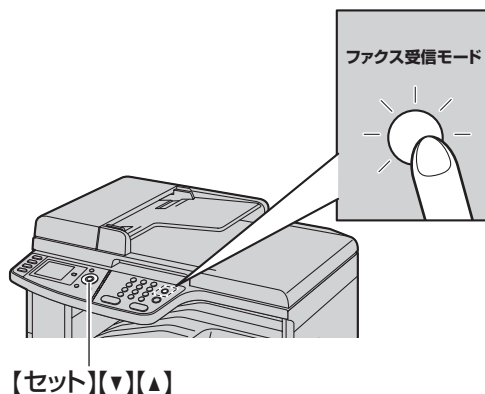
電話の応答方法
電話を受信すると、留守番電話が音声メッセージを録音します。

6.7 ファクスを自動で受信する－自動応答オン

- A4、レター、リーガル、216×330、および216×340サイズの用紙（厚口普通紙および普通紙）を使用することができます。

お知らせ
- **ファクスは白黒でのみ受信できます。**

6.7.1 ファクス専用モードを有効にする

【ファクス受信モード】を繰り返し押して、**“ファクス専用”**を表示する。
- ディスプレイにはファクス専用モードでの呼び出し回数が表示されます。変更する場合、【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を表示させ、【セット】を押してください。
- 【ファクス受信モード】ライトが点灯します。

ファクスの受信方法
着信があると、本機はすべての着信に自動で応答し、ファクスのみを受信します。

お知らせ
- ファクス専用モードでの応答までの呼び出し回数は変更できます（76 ページの機能#210）。

受信したファクスを自動的にEメールアドレスに転送する
受信したファクスを任意のEメールアドレスに自動で転送することができます（ファクス自動Eメール転送機能）。転送されたメッセージは本機から削除されません。

お知らせ
- **32 ページ「2.13.2ファクス受信機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

お知らせ
- 転送の状態を確認する方法については、84 ページを参照してください。

お役立ち情報
長期間外出する場合、次の設定を推奨します。

1. この機能を有効にする。
2. PCファクス（69 ページ）も有効にし、コンピューターをオンのままにする。
   - PCファクスについては、Multi-Function Stationを起動し、［PCファクス］を有効にしてください。

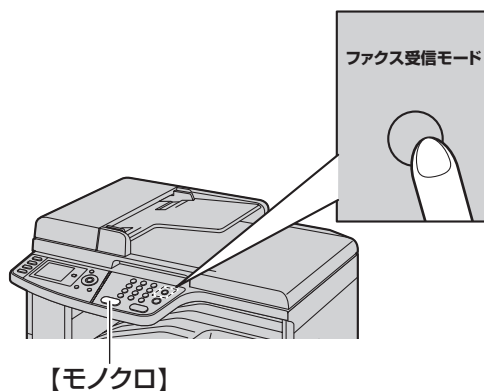
この場合、データはPCファクスを使用してコンピューターに転送され、転送済みのデータは本機から自動的に削除されます。同じデータがEメールアドレスにも送信されるため、毎日メッセージを確認できるだけでなく、本機の用紙切れ／メモリー残量不足なども防止できます。

6.8 ファクスを手動で受信する－自動応答オフ

- A4、レター、リーガル、216×330、および216×340サイズの用紙（厚口普通紙および普通紙）を使用することができます。

お知らせ
- **内線電話またはハンドセットユニット（オプション）を接続するときには、このモードを使用してください。**
- **ファクスは白黒でのみ受信できます。**

6.8.1 手動受信モードを有効にする

【ファクス受信モード】を繰り返し押して、**“手動受信”**を表示させます。
- 【ファクス受信モード】ライトが消灯します。

内線電話でファクスを受信する方法
［外部電話］端子または同じ電話回線に別の電話が接続されている場合（内線電話）、内線電話を使用してファクスを受信できます。

1. 内線電話の呼び出し音が鳴ったとき、内線電話のハンドセットを持ち上げる。
2. 次の場合：
   － 原稿の受信が必要である
   － ファクス音（遅いビープ音）が聞こえる
   － 音が全く聞こえない
   【＊】【♯】【9】（初期値のリモート受信コード）**を確実に押す**。
3. ハンドセットを戻す。

お知らせ
- 受信を中止する方法については、100 ページを参照してください。
- 内線電話を使用してファクスを受信する場合、事前にリモート受信（81 ページの機能#434）がありになっていることを確認してください。初期値では、ありになっています。

ハンドセットユニット（オプション）でファクスを受信する方法

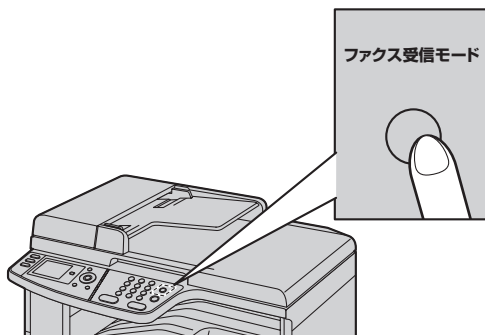
1. 呼び出し音が鳴ったとき、ハンドセットを持ち上げる。
2. 次の場合：
   – 原稿の受信が必要である
   – ファクス音（遅いビープ音）が聞こえる
   – 音が全く聞こえない
   【モノクロ】を押す。
3. ハンドセットを戻す。

お知らせ
- 受信を中止する方法については、100 ページを参照してください。

6.8.2 ファクス／電話切替モード（F/T切替）を有効にする

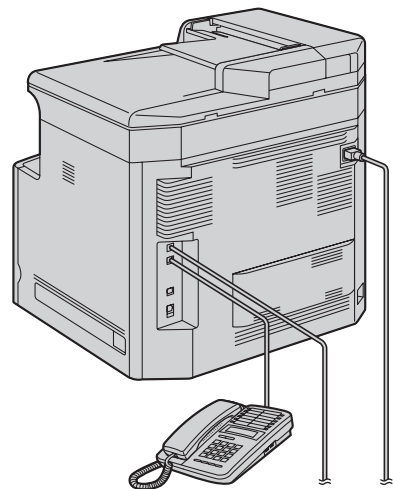
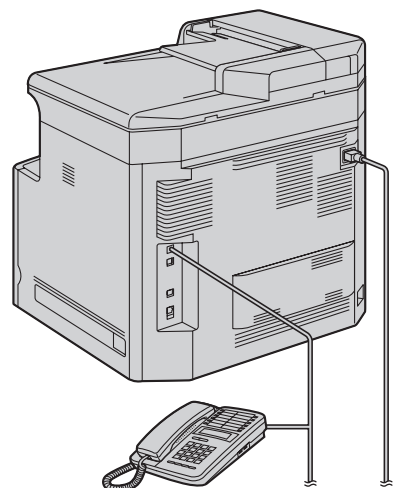
1 事前に機能#404が **"F/T 切替"** に設定されていることを確認する（79 ページ）。

2 【ファクス受信モード】を繰り返し押して、**"F/T 切替"** を表示する。
- 【ファクス受信モード】ライトが消灯します。

3 呼び出し音量設定がオンになっている必要がある（23 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法

1. **"着信中です"** が表示されるが、呼び出し音は鳴らない。
2. 本機は、着信に応答する前に、**呼び出し音が2回**鳴るまで待機する。
   - 呼び出し回数は **"F/T　無鳴動呼出"** で指定されています（79 ページの機能#212）。
   - この間、内線電話の呼び出し音は鳴ります。
3. 本機が着信に応答し、ファクス音の有無を検知する。（約4秒間、呼び出し音は鳴らない。）

   ファクス音が検知された場合
   呼び出し音を鳴らさずにファクスを自動で受信します。

   ファクス音が検知されない場合
   ❶本機および内線電話は呼び出し音を**3回**鳴らします。この時点で着信に応答することができます。
   - 本機のハンドセット（接続されている場合）を使用して応答するには、ハンドセットを持ち上げて、相手と通話してください。
     – ハンドセットが付属している場合、またはオプションのハンドセットが利用可能な場合、7 ページ「1.1 付属品／添付品」および7 ページ「1.2 消耗品／オプション品情報」を参照してください。
   - 本機の［外部電話］端子に接続されている別の電話を使用して応答するには、ハンドセットを持ち上げ、相手と通話してください。

   - 本機と同じ電話機コードに接続されている内線電話を使用して応答するには、ハンドセットを持ち上げて、相手と通話してください。

   - 呼び出し回数は **"F/T　呼出回数"** で指定されています（81 ページの機能#436）。

- 発信者には、電話会社によって生成されるものとは異なる呼び出し音（発信者向け）が聞こえます。

❷着信に応答しないと、ファクス機能が有効になります。

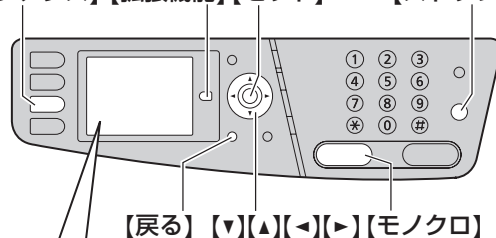
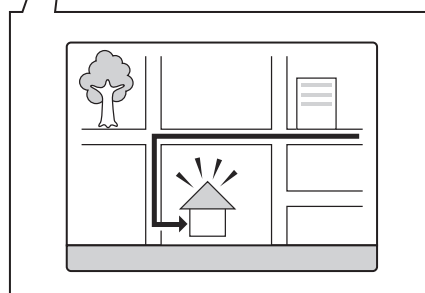
- ファクス機の中にはファクス送信時にファクス音を生成しない機種があるため、本機はファクス音が検知されない場合でもファクスの受信を試みます。

6.9 受信したファクス文書を表示する

受信したファクス文書を本機で表示することができます。
イメージの確認後、必要な原稿を印刷または保存することができます。

- 見てから印刷機能がありになっていることを事前に確認してください（82 ページの機能#448）。

お知らせ

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。
- 本機が使用中でないことを確認してください。
- 見てから印刷機能（82 ページの機能#448）で **"あり"** を選択すると、70 ページ「6.13 Web見てから印刷（LAN接続のみ）」も有効になります。

お知らせ

- **ファクスは白黒でのみ受信できます。**

6.9.1 ファクス文書の表示

1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"見てから印刷"** を選択する。→【セット】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファクス文書を選択する。→【セット】
   - 選択したファクス文書が表示されます。
   - 表示を中止するには、【戻る】を押してください。
   - ファクス文書を印刷するには、【モノクロ】を押してください。
4. 【戻る】→【拡張機能】

お知らせ
- 表示速度は原稿の内容およびサイズに応じて異なります。

"√"の意味
"√"が表示されている場合、そのイメージは既に表示済み、印刷済み、または保存済みであることを表しています。

イメージを調整する
次のようにテンキーおよび矢印キーを使用すると、イメージを調整できます。

キー	動作
【4】	前のページに戻ります（複数ページの場合のみ利用可能）。
【6】	次のページに移ります（複数ページの場合のみ利用可能）。
【2】	イメージを拡大します。
【8】	イメージを縮小します。
【5】	イメージを回転させます（90 °、180 °、270 °）。
【▲】【▼】【◄】【►】	イメージをスクロールします。

6.9.2 ファクス文書の印刷

1 【拡張機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"見てから印刷"**を選択する。→【セット】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファクス文書を選択する。→【モノクロ】
- 選択したファクス文書が印刷されます。

4 【拡張機能】

お知らせ
- 受信したファクス文書は、リスト表示から選択して印刷した後に、メモリーから自動的に削除することができます（83 ページの機能#449）。

6.9.3 ファクス文書の保存

お知らせ
- **32 ページ「2.13.2ファクス受信機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 【拡張機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"見てから印刷"**を選択する。→【セット】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファクス文書を選択する。→【*】

4 目的の保存先を選択する。

コンピューターに保存する場合

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"PC"**を選択する。→【セット】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"USB接続"**またはデータの保存先となるコンピューターを選択する。→【セット】
   - ファクス文書は、［設定］ウィンドウの［スキャン］タブの［保存先］で設定したフォルダーに自動的に保存されます。フォルダーを変更する方法については、29 ページを参照してください。
   - クイックイメージナビゲーターが自動的に起動し、ファクス文書を表示します。

Eメールの添付ファイルとして保存する場合

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"Eメールアドレス"**を選択する。→【セット】
2. 【▼】、【▲】、【◄】または【►】を繰り返し押して、目的のEメール宛先を選択する。→【セット】
   - テンキーを使用してEメールアドレスを入力するには、**"アドレス手動設定"**を選択してください。
   - ファクス文書は、Eメールの添付ファイルとしてEメールサーバー経由で送信されます。

FTPサーバー上のフォルダーに保存する場合

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"FTPサーバー"**を選択する。→【セット】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のFTPサーバーを選択する。→【セット】
   - ファクス文書は、FTPサーバーの指定されたフォルダーに保存されます。

SMBフォルダーに保存する場合

1. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"SMBフォルダー"**を選択する。→【セット】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のSMBフォルダーを選択する。→【セット】
   - ファクス文書は、LAN上の共有フォルダーに保存されます。

SDカードに保存する場合

1. SDカードを本機のSDカードスロットに挿入する（101 ページ）。
   - SDカードは別売りです。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"SDカード"**を選択する。→【セット】
   - 同じ名前のファイルがSDカード内に既にある場合、メッセージが表示されます（110 ページ）。
   - ファクス文書は、SDカードの指定フォルダーに保存されます（102 ページ）。

5 【拡張機能】

お知らせ
- 受信したファクス文書はイメージファイル（PDF形式）として保存されます。表示するには、Adobe Readerが必要です。

- SDカードについては、101 ページを参照してください。
- ファクス文書の保存を中止する方法については、100 ページを参照してください。

6.9.4 ファクス文書の消去

1 受信したファクス文書を、表示または印刷する（65、66 ページ）。

2 【拡張機能】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“見てから印刷”**を選択する。→【セット】

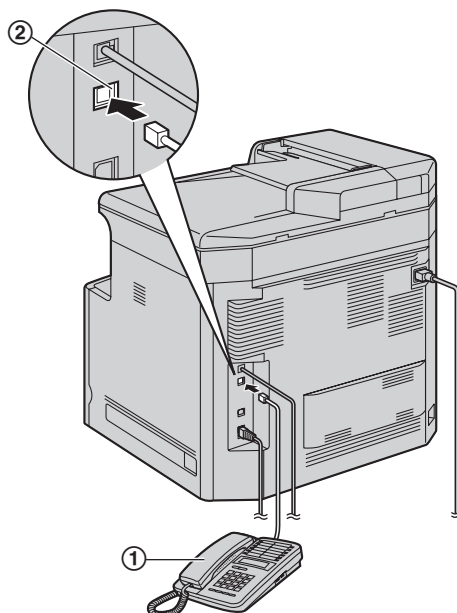
4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のファクス文書を選択する。→【♯】
- 消去を中止するには、【ストップ】、【拡張機能】の順に押してください。

5 【セット】→【拡張機能】

お知らせ
- 見てから印刷機能（82 ページの機能#448）で**“あり”**を選択すると、メモリーがいっぱいになる可能性があります。受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください。

6.10 留守番電話を接続して使用する

6.10.1 本機と留守番電話のセットアップ

1 留守番電話（①）を接続する。
- 留守番電話は別売りです。このイラストは一例です。
- ストッパー（②）が取り付けられている場合、取り外してください。

2 留守番電話の呼び出し回数を4回未満に設定する。
- これにより、留守番電話が最初に着信に応答できるようになります。

3 留守番電話に応答メッセージを録音する。
- 応答メッセージの長さは10秒以内とし、メッセージの途中に4秒以上のポーズを入れないことを推奨します。この指示に従わないと、本機および留守番電話のどちらも正しく機能しません。

4 留守番電話を有効にする。

5 本機を任意の受信モードに設定する（62 ページ）。
- ファクス専用モードに設定する場合、**ファクス専用モードでの呼び出し回数を4回以上に変更してください（76 ページの機能#210）**。
- ファクス／電話切替モードに設定する場合、**ファクス/電話無鳴動呼び出し音回数を4回以上に変更してください（79 ページの機能#212）**。

6 次の各項目に重複がないことを確認する。
– 留守番電話のリモートアクセスコード

－ リモート受信コード（81 ページの機能#434）

お知らせ
- 電話を受信すると、留守番電話が音声メッセージを録音します。
ファクス音が検知されると、ファクスが自動的に受信されます。
- 留守番電話のリモートアクセスコードについては、留守番電話の取扱説明書を参照してください。

音声メッセージとファクスを1回の電話で受信する方法

発信者は音声メッセージを残した後、電話を切らずにファクス文書を送信することができます。事前に、発信者に次の手順を伝えておく必要があります。

1. 発信者が本機に電話する。
   - 留守番電話が電話に応答します。
2. 発信者は応答メッセージを聞いた後にメッセージを残すことができる。
3. 発信者は【*】【#】【9】（設定済みのリモート受信コード）を押す。
   - 本機のファクス機能が有効になります。
4. 発信者はスタートボタンを押して、原稿を送信する。

お知らせ
- この機能を使用する場合、リモート受信（81 ページの機能#434）がありになっていることを確認してください。リモート受信コードは変更することもできます。
- 留守番電話のメモリーに空き領域がない場合、本機は原稿を受信できないことがあります。留守番電話の取扱説明書を参照して、不必要なメッセージを消去してください。

6.11 迷惑ファクス防止（迷惑発信者からのファクス受信を防止する）

発信者番号通知サービス（71 ページ）への申し込みが完了している場合、この機能を使用すると、発信者番号が非通知のファクスを受信拒否できます。
さらに、本機では、登録式の迷惑ファクス防止リストに含まれている番号からのファクスも拒否できます。
- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

お知らせ
- **ファクスを手動で受信する場合、この機能は利用できません。**

6.11.1 迷惑ファクス防止の使用

1 【拡張機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクス防止”**を選択する。→【セット】
3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクス防止機能”**を選択する。
4 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“あり”**を選択する。→【セット】
5 【拡張機能】を押して終了する。

6.11.2 迷惑発信者の登録

着信メモリーリスト（71 ページ）から迷惑番号を20件まで登録することができます。登録した番号からファクスが送信されてきた場合、受信を拒否できます。

1 【拡張機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクス防止”**を選択する。→【セット】
3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクス設定”**を選択する。→【セット】
4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、ファクスを受信したくない相手先を表示させる。→【セット】
   - 登録した項目に誤りがあった場合、【セット】をもう一度押して“✓”を削除し、その項目を取り消してください。
5 【戻る】→【拡張機能】

迷惑ファクス防止リストを表示する

1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクス防止”**を選択する。→【セット】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“迷惑ファクスリスト表示”**を選択する。→【セット】

4. 【▼】または【▲】を押して、リストの項目を表示させる。
5. 【拡張機能】を押して終了する。

迷惑ファクス防止リストを印刷する

1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"迷惑ファクス防止"**を選択する。→【セット】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"迷惑ファクスリスト印刷"**を選択する。→【セット】
4. 【拡張機能】を押して終了する。

迷惑ファクス防止リストの項目を消去する

1. 【拡張機能】
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"迷惑ファクス防止"**を選択する。→【セット】
3. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"迷惑ファクスリスト表示"**を選択する。→【セット】
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【♯】
   - 消去を中止するには、【ストップ】、【拡張機能】の順に押してください。
5. 【セット】→【拡張機能】

6.12 コンピューターでファクスを受信する

コンピューターでファクス文書を受信することができます。受信したファクス文書はイメージファイル（TIFF-G4形式）として保存されます。

お知らせ

- **32 ページ「2.13.2ファクス受信機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**
- **見てから印刷機能がなしになっていることを事前に確認してください（82 ページの機能#448）。**

1 【ファクス受信モード】を繰り返し押して、自動応答設定をオンにする（62 ページ）。

2 Multi-Function Stationを起動する。→［PCファクス］

3 ファクスが着信すると、コンピューターが本機を経由して原稿を受信する。

お知らせ

- 受信した原稿は、コンピューターを使用して、表示、印刷、または転送することができます。

受信した原稿の表示

1. Multi-Function Stationから［PCファクス］を選択する。
2. ［通信履歴］の［受信履歴］を選択する。

3. 表示したい項目をクリックする。
4. メニューバーの［ファイル］をクリックし、［表示］を選択するか、ツールバーの［表示］アイコンをクリックする。
   - 受信したファクスが表示されます。

受信したファクス文書が本機のメモリーに保存されている場合

原稿をコンピューターに読み込むことができます。

1. Multi-Function Stationから［PCファクス］を選択する。
2. ［通信履歴］の［受信履歴］を選択する。
3. メニューバーの［ファイル］をクリックする。→［ファクス受信］

- 機能#442を有効にしておくと、受信したファクス文書は自動的にコンピューターに転送されます。

6.13 Web見てから印刷（LAN接続のみ）

受信したファクス文書をWebブラウザーで表示し、イメージを確認した後に、必要な原稿を印刷または保存することができます。

お知らせ
- **32 ページ「2.13.2ファクス受信機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

6.13.1 見てから印刷機能を有効にする

1 【機能】→【♯】【4】【4】【8】
2 【1】を押して、**"あり"** を選択する。
   - 【0】を押して、**"なし"** を選択する。
3 【セット】→【機能】

お知らせ
- **"あり"** を選択すると、65 ページ「6.9 受信したファクス文書を表示する」も有効になります。
- **"あり"** を選択すると、PCファクス設定（82 ページの機能#442）は無効になります。
- **"あり"** を選択すると、メモリーがいっぱいになる可能性があります。受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（67、70 ページ）。

6.13.2 Web見てから印刷のアクセスコードを登録する

1 【機能】→【♯】【4】【5】【0】→【セット】
2 パスワードを入力する（75 ページの機能#155)。→【セット】
3 英数字を使用して、Web見てから印刷のアクセスコード（8文字まで）を入力する（文字入力については98 ページ参照）。
   - 【0】または【1】を使用すると、次の記号も入力できます。
     ! @ # $ % ^ & ') (. - _ { }
4 【セット】→【戻る】→【戻る】

お知らせ
- Web見てから印刷のアクセスコードが登録されていない（空白）場合、Web見てから印刷機能を有効にすることはできません。

6.13.3 受信したファクス文書をWebブラウザーで表示する

お知らせ
- **本機が使用中でないことを確認してください。**

1 Multi-Function Stationを起動する。
2 ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［拡張機能設定］
3 ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155)。→［OK］
4 ［Web見てから印刷（ファクス）］タブを選択する。
5 Web見てから印刷のアクセスコードを入力する（70 ページの機能#450)。→ ［OK］
   - 受信したファクス文書のリストが表示されます。
6 目的のアイコンをクリックして、ファクス文書を表示、印刷、または保存する。
   - 原稿を表示している間、ファクス文書を操作できます（拡大、回転など)。
7 Webブラウザーを閉じる。

お知らせ
- 表示速度は原稿の内容およびサイズに応じて異なります。
- 受信したファクス文書はイメージファイル（PDF形式）として保存されます。表示するには、Adobe Readerが必要です。

"√" の意味

"√" が表示されている場合、そのイメージは既に表示済み、印刷済み、または保存済みであることを表しています。
- ステップ6でファクス文書を表示した後に原稿を削除するには、［戻る］をクリックして、リストに戻ってください。"√" の表示されているイメージを削除できます。
- ステップ6でファクス文書を印刷または保存した後に原稿を削除するには、［更新］をクリックして、リストを更新してください。"√" の表示されているイメージを削除できます。

7.1 発信者番号通知サービス

本機は電話会社から提供されている発信者番号通知サービスに対応しています。この機能を利用するためには、発信者番号通知サービスへのお申し込みが必要です。

- 地域によっては、サービスが提供されていない場合があります。詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 発信者情報表示設定（79 ページの機能#204）が有効になっていることを事前に確認してください。

7.1.1 発信者番号の表示方法

最初の呼び出し音の前に、発信者の電話番号が表示されます。電話に応答するかどうか選択できます。

本機は最近30件の着信から発信者の情報（名前、電話番号、および着信日時）を自動的に登録します。発信者情報をディスプレイに表示すること（71 ページ）、または着信メモリーリストを印刷すること（133 ページ）が可能です。

- 発信者情報を受信したときに、その情報が本機の電話帳に登録されている電話番号と一致した場合、登録されている名前と電話番号が表示されます。
- 本機がPBX（構内交換機）システムに接続されている場合、発信者情報を正しく受信できないことがあります。ご利用のPBX業者にご相談ください。
- 本機は発信者情報を受信できない場合、次のように表示されます。
  "表示圏外"：発信者が発信者通知番号サービスの提供されていない地域から電話した。
  "非通知"：発信者が発信者情報の非通知を選択した。
  "公衆電話"：発信者が公衆電話から電話した。
  "表示できません"：発信者情報を正しく受信できなかった。

着信メモリーリストを印刷して発信者情報を確認する

- 手動で印刷する方法については、133 ページを参照してください。
- 新規通話が30件に到達するごとに自動的に印刷するには、機能#216（76 ページ）を有効にしてください。

7.2 発信者情報を表示してかけ直す

1 【着信メモリー】→【▼】を押して、最近受信した発信者情報から目的の情報を探す。
- 【▲】を押すと、表示順序が逆になります。
- ファクスを送信する方法については、55 ページを参照してください。

2 【モニター】を押して、電話をかけ直す。
- 電話をかけるには、オプションのハンドセットユニットのハンドセットを持ち上げてください。

発信者情報の表示状態を変更する

目的の発信者情報を表示しているときに、【◄】または【►】を繰り返し押して、名前／電話番号を変更してください。

- 電話番号が電話帳に登録されている場合のみ、表示状態の変更が可能です。

7.2.1 発信者情報に関する記号と操作

"✓" の意味

"✓" が表示されている場合、その着信は既にハイライト表示済み、または応答済みであることを表しています。

表示を中止する

【ストップ】を押す。

7.3 電話をかけ直す前／登録する前に電話番号を編集する

1 【着信メモリー】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を表示する。
3 【◄】または【►】を押して、電話番号を表示する。
4 テンキー（0～9）または【✱】を押して、編集モードに入り電話番号を編集する。
   ● ファクスを送信する方法については、55 ページを参照してください。
5 編集した番号に電話をかけ直すには、【モニター】を押す、またはオプションのハンドセットを持ち上げる。
   ● 本機は、自動的にダイヤルを始めます。

お知らせ
● 発信者情報にて表示された電話番号を編集しても、編集は保存されません。電話帳に保存するには、72 ページを参照してください。

間違いを修正する

1. 【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かす。
2. 【戻る】を押して、番号を消去する。
3. 正しい番号を入力する。

番号を消去する

【◄】または【►】を押して、消去したい番号までカーソルを動かし、【戻る】を押してください。

7.4 発信者情報を消去する

7.4.1 すべての発信者情報を消去する

1 【機能】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“着信メモリー設定”**を選択する。→【セット】
   ● **“全消去しますか？”**が表示されます。
   ● 消去を中止するには、【ストップ】、【機能】の順に押してください。
3 【モノクロ】
4 【機能】を押して終了する。

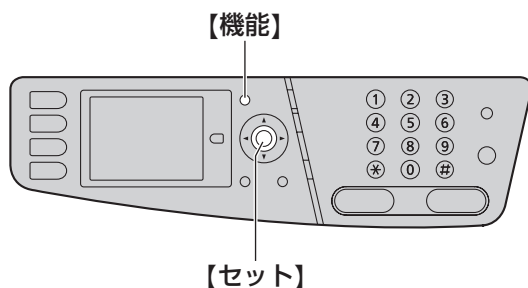
7.4.2 特定の発信者情報を消去する

1 【着信メモリー】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【♯】→【セット】→【ストップ】

7.5 発信者情報を登録する

1 【着信メモリー】
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。
3 【セット】
4 必要に応じて、名前を編集する。→【セット】→【▼】/【▲】
5 必要に応じて、電話番号を編集する。→【セット】→【セット】→【ストップ】

お知らせ
● 名前または電話番号の編集方法については、57 ページを参照してください。

8.1 機能設定

1 【機能】

2 【♯】に続けて、3桁のコード（74 ページ～93 ページ）を押す。

3 適切な選択項目を押して、目的の設定を表示させる。
- このステップは機能に応じて異なります。

4 【セット】

5 【機能】を押して終了する。

Webブラウザーを使用して機能を選択する（LAN接続のみ）

本機の代わりに、Webブラウザーを使用して機能を変更することができます。

1. Multi-Function Stationを起動する。→ ［ユーティリティー］→ ［Webサーバー］
   - Webブラウザーに本機のIPアドレスを入力して、本機にアクセスすることもできます。
2. メニューバーから目的のカテゴリーを選択する。

   ［本体機能設定］：本機の機能
   ［拡張機能設定］：各モードの拡張機能
   ［ネットワーク機能設定］：ネットワーク機能
3. ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→ ［OK］
4. 右フレームの上部で目的の機能タブを選択する。
5. 設定を変更するか、情報を編集する。
   - このステップは機能に応じて異なります。
6. ［登録］
   - 新しいデータが本機に転送されます。
7. Webブラウザーを閉じる。

お知らせ
- ［更新］をクリックすると、Webブラウザーに表示されている設定が更新されます。

8.2 基本機能

機能／コード	選択内容
日付と時刻を設定する 【♯】【1】【0】【1】	テンキーを使用して、日付と時刻を入力します。詳細については、24 ページを参照してください。
発信元の名前を設定する 【♯】【1】【0】【2】	テンキーを使用して、発信元の名前を入力します。詳細については、24 ページを参照してください。
発信元のファクス番号を設定する 【♯】【1】【0】【3】	テンキーを使用して、発信元のファクス番号を入力します。詳細については、25 ページを参照してください。
言語を選択する 【♯】【1】【1】【0】	ディスプレイとレポートでは、選択した言語が使用されます。 【1】 **"日本語"**（初期値）：日本語が使用されます。 【2】 **"English"**：英語が使用されます。 **1.** 【機能】→【♯】【1】【1】【0】 **2.** 【1】または【2】を押して、目的の言語を選択する。→【セット】→【機能】 **FOR ENGLISH USERS:** **If you want to change the language setting to English, proceed as follows.** **1.** 【Menu】→【♯】【1】【1】【0】 **2.** Press【2】to select English. →【Set】→【Menu】
ダイヤル切替を設定する 【♯】【1】【2】【0】	【1】 **"10pps"** 【2】 **"20pps"** 【3】 **"プッシュ"**（初期値） 詳細については、20 ページを参照してください。
フック時間を設定する 【♯】【1】【2】【1】	フック時間はご利用の電話交換機またはホストPBXに応じて異なります。 【0】 **"900ms"** 【1】 **"700ms"**（初期値） 【2】 **"600ms"** 【3】 **"400ms"** 【4】 **"300ms"** 【5】 **"250ms"** 【6】 **"200ms"** 【7】 **"160ms"** 【8】 **"110ms"** 【9】 **"100ms"** 【＊】 **"90ms"** 【♯】 **"80ms"** **お知らせ** ● 本機がPBX経由で接続されている場合、PBX機能（電話の転送など）が正しく機能しないことがあります。正しい設定については、ご利用のPBX業者にお問い合わせください。
光回線（ひかり電話）、ADSLやISDN回線に接続する 【♯】【1】【2】【4】	【0】 **"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **"あり"**：電話の声をやや小さくして反響を抑えます。ADSL、光回線使用時にファクス通信を適正な通信速度にします。

機能／コード	選択内容
長さ単位を選択する 【♯】【1】【4】【7】	【1】“mm”（初期値） 【2】“Inch” **お知らせ** ● 選択した長さ単位は、本機のディスプレイに測定値を表示するときに使用されます。
カラー印刷用のパスワードを設定する 【♯】【1】【5】【3】	この機能を使用すると、カラープリント、カラーコピーをする場合のパスワードを設定して、カラー印刷を制限することができます。 **1.** 【機能】→【♯】【1】【5】【3】→【◄】/【►】 **2.** 機能設定用のパスワードを入力する。→【セット】 ● パスワードの初期値は“1234”です。 **3.** 【◄】または【►】を繰り返し押して、“**あり**”を選択する。→【セット】 **4.** 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“**パスワード変更**”を選択する。→【◄】/【►】 **5.** 0〜9を使用して、新しい4桁のパスワードを入力する。→【セット】 **6.** 新しいパスワードをもう一度入力する。→【セット】→【機能】 **お知らせ** ● 初期値のパスワードから変更することを推奨します。
リモート操作用のパスワードを変更する 【♯】【1】【5】【5】	Multi-Function Stationを使い、リモート操作で本機の機能設定を行う際のパスワードを設定、変更することができます。 **1.** 【機能】→【♯】【1】【5】【5】→【◄】/【►】 **2.** 現在のパスワードを入力する。→【セット】 ● パスワードの初期値は“1234”です。 **3.** 0〜9を使用して、新しい4桁のパスワードを入力する。→【セット】 **4.** 新しいパスワードをもう一度入力する。→【セット】→【機能】 **お知らせ** ● 初期値のパスワードから変更することを推奨します。 ● このパスワードはWebブラウザーでの機能設定にも使用されます。
トナーメンテナンス時刻を設定する 【♯】【1】【5】【8】	本機は、24時間に1回の割合で、メンテナンスのために自動的に起動します。これはトナーの凝固を防止するための動作であるため、メンテナンス中に本機から発生するノイズは停止できません。ただし、本機のノイズを不快に感じる場合、開始時刻を変更することができます。 **1.** 【機能】→【♯】【1】【5】【8】→【◄】/【►】 **2.** メンテナンス開始時刻を入力する。 ● 初期値の時刻は“12:00AM”です。 ● 【▼】または【▲】を繰り返し押して、AMまたはPMを選択してください。 **3.** 【セット】→【機能】

<table>
<tr><th>機能／コード</th><th>選択内容</th></tr>
<tr><td>すべての機能を初期化する（メモリー内のすべてのデータを消去する）
【♯】【1】【5】【9】</td><td>本機を廃棄、譲渡、または返品する場合、事前にこの機能を使用して、プログラム式機能をすべて初期化し、メモリーに保存されているデータをすべて消去してください。
電話帳（または発信者情報）およびファクス通信データ（メモリーに保存されている受信ファクスと通信履歴レポート）が消去されます。
● この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。
すべての機能を初期化するには
1. 【機能】 → 【♯】【1】【5】【9】 → 【◄】/【►】 → 【モノクロ】
お知らせ
● カウンター表示（78 ページの機能#484）は初期化されません。</td></tr>
<tr><td>呼び出し音を設定する
【♯】【1】【6】【1】</td><td>【1】 “A”（初期値）
【2】 “B”
【3】 “C”</td></tr>
<tr><td>ビープ音とキートーンの設定
【♯】【1】【6】【5】</td><td>【0】 “なし”：この機能は無効になります。
【1】 “あり”（初期値）：確認／エラービープ音およびキートーンが聞こえます。
お知らせ
● この機能が “なし” に設定されている場合でも、本機からビープ音が聞こえることがあります。例：
– メモリー受信警告設定（82 ページの機能#437）が有効になっている場合。
– 前カバーまたは左カバーが開いている場合。</td></tr>
<tr><td>ファクス専用モードの呼び出し回数を変更する
【♯】【2】【1】【0】</td><td>【1】 “1”
【2】 “2”
【3】 “3”（初期値）
【4】 “4”
【5】 “5”
【6】 “6”
【7】 “7”
【8】 “8”
【9】 “9”</td></tr>
<tr><td>着信メモリーリストの自動印刷を設定する
【♯】【2】【1】【6】</td><td>【0】 “なし”（初期値）：本機は着信メモリーリストを自動印刷せず、最近30件の着信について発信者の情報を保持します。
【1】 “あり”：本機は新規着信が30件に到達するごとに、着信メモリーリストを自動的に印刷します（71 ページ）。</td></tr>
<tr><td>標準カセットの用紙サイズを設定する
【♯】【3】【8】【0】</td><td>【1】 “レター”：レターサイズ用紙
【2】 “A4”（初期値）：A4サイズ用紙
【3】 “リーガル”：リーガルサイズ用紙
【4】 “B5(ISO)”：B5（ISO）サイズ用紙
【5】 “B5(JIS)”：B5（JIS）サイズ用紙
【6】 “216X330”
【7】 “216X340”
お知らせ
● “B5(ISO)” または “B5(JIS)” を選択した場合、受信したファクスはメモリーに保存されます。
● 機能#147を “Inch” に設定すると、数字はインチで表示されます。</td></tr>
</table>

機能／コード	選択内容
増設カセットの用紙サイズを設定する 【♯】【3】【8】【2】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます。 【1】**“レター”**：レターサイズ用紙 【2】**“A4”**（初期値）：A4サイズ用紙 【3】**“リーガル”**：リーガルサイズ用紙
標準カセットの用紙種類を設定する 【♯】【3】【8】【3】	【1】**“厚口普通紙”**：75 g/m^2～90 g/m^{2}の用紙 【2】**“普通紙”**（初期値）：64 g/m^2～75 g/m^{2}の用紙 【3】**“厚紙A”**：106 g/m^2～135 g/m^2 【4】**“厚紙B”**：135 g/m^2～165 g/m^2 **お知らせ** ● コンピューターから印刷する場合、この設定は無効になります。印刷用の用紙種類を設定する方法については、34 ページを参照してください。 ● **“厚紙A”**または**“厚紙B”**は、次の設定が選択されている場合は表示されません。 － コピー用給紙トレイ設定（85 ページの機能#460）で**“トレイ1”**が選択されていて、両面コピー機能が有効に設定されているとき（53 ページ）。 － ダイレクトプリント用給紙トレイ設定（93 ページ機能#669）で**“トレイ1”**が選択されていて、ダイレクトプリントの両面印刷設定が有効に設定されているとき（39 ページ）。
増設カセットの用紙種類を設定する 【♯】【3】【8】【5】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます（104 ページ）。 【1】**“厚口普通紙”**：75 g/m^2～90 g/m^{2}の用紙 【2】**“普通紙”**（初期値）：64 g/m^2～75 g/m^{2}の用紙 **お知らせ** ● コンピューターから印刷する場合、この設定は無効になります。印刷用の用紙種類を設定する方法については、34 ページを参照してください。
リストおよびレポートの印刷に使用する給紙カセットを設定する 【♯】【3】【9】【0】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます（104 ページ）。 【1】**“トレイ1”**（初期値）：標準カセット 【2】**“トレイ2”**：増設カセット 【3】**“トレイ1, 2”** **お知らせ** ● **“トレイ1”**を選択する場合、用紙種類設定（77 ページの機能#383）で**“厚口普通紙”**または**“普通紙”**を選択してください。 ● **“トレイ1, 2”**を選択する場合、標準カセット（76 ページの機能#380）と増設カセット（77 ページの機能#382）で同じ用紙サイズを選択してください。いずれか一方を変更すると、**“トレイ1”**が自動的に選択されます。 ● 選択したトレーの用紙サイズが**“B5（JIS）”**、**“B5(ISO)”**に設定されているときは、リストおよびレポートの印刷はできません。
節電モードタイマーの時間を設定する 【♯】【4】【0】【3】	本機が節電モードになるまでの時間を設定します。 【1】**“5分”**（初期値）：5分 【2】**“15分”**：15分 【3】**“30分”**：30分 【4】**“1時間”**：1時間 **お知らせ** ● 節電モードの場合、本機は印刷開始前に定着部を予熱する必要があります。

機能／コード	選択内容
前の読取濃度設定を保持する 【♯】【4】【6】【2】	【0】“**なし**”（初期値）：この機能は無効になります。 【1】“**あり**”：本機は前の設定を保持します。 **お知らせ** ● コピーおよびファクス送信については、前の設定が個別に保持されます。
操作モード初期値を設定する 【♯】【4】【6】【3】	操作モード初期値タイマー（機能#464）で設定した時間が経過したときに、どの操作モードに戻るかの初期値を選択します。 【1】“**コピー**”（初期値）：コピーモードが初期値として選択されます。 【2】“**ファクス**”：ファクスモードが初期値として選択されます。 **お知らせ** ● この機能では、スキャンモードまたはプリントモードを選択することはできません。
操作モード初期値タイマーを設定する 【♯】【4】【6】【4】	操作モード初期値（機能#463）に戻るまでの時間をタイマーで設定します。 【0】“**なし**”：この機能は無効になります。 【1】“**３０秒**”：30秒 【2】“**１分**”（初期値）：1分 【3】“**２分**”：2分 【4】“**５分**”：5分
ドラムを清掃する 【♯】【4】【8】【0】	ドラムカートリッジを自動的に清掃します。詳細については、133 ページを参照してください。
トナーセーブ機能を設定する 【♯】【4】【8】【2】	【0】“**なし**”（初期値）：この機能は無効になります。 【1】“**あり**”：トナーカートリッジが長持ちします。 **お知らせ** ● この機能を使用すると、トナー消費の抑制により印刷品質が低下することがあります。
カウンターを表示する 【♯】【4】【8】【4】	印刷のカウント数を確認します。 **1.** 【機能】→【♯】【4】【8】【4】→【セット】 **2.** 【▼】または【▲】を繰り返し押して、表示する項目を選択する。→【機能】
すべてのカラー（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の濃度を調整する 【♯】【4】【8】【5】	カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。詳細については、100 ページを参照してください。
シアンの濃度を調整する 【♯】【4】【8】【6】	カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。詳細については、100 ページを参照してください。
マゼンタの濃度を調整する 【♯】【4】【8】【7】	カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。詳細については、100 ページを参照してください。
イエローの濃度を調整する 【♯】【4】【8】【8】	カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。詳細については、100 ページを参照してください。
ブラックの濃度を調整する 【♯】【4】【8】【9】	カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。詳細については、100 ページを参照してください。

8.3 ファクス機能

機能／コード	選択内容
発信者情報表示を設定する 【♯】【2】【0】【4】	【0】**"なし"**：この機能は無効になります。 【1】**"自動"**（初期値）：発信者情報を受信した場合、自動的に発信者の情報を表示します。
ファクス／電話無鳴動呼び出し音回数を設定する 【♯】【2】【1】【2】	ファクス／電話切替モードで内線電話を使用している場合、本機が着信に応答する前に、内線電話の呼び出し音が鳴る回数を選択してください。 【0】**"0"** 【1】**"1"** 【2】**"2"**（初期値） 【3】**"3"** 【4】**"4"** 【5】**"5"** 【6】**"6"** 【7】**"7"** 【8】**"8"** 【9】**"9"** **お知らせ** ● 詳細については、64 ページを参照してください。
電話帳の保存項目をすべて消去する 【♯】【2】【8】【9】	この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。 **すべての項目を消去するには** **1.** 【機能】→【♯】【2】【8】【9】 **2.** 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"全消去"** を選択する。→【セット】 ● 全消去しない場合、【ストップ】を押してください。→【ストップ】→【ストップ】 **3.** 【モノクロ】→【機能】
通信結果レポートを印刷する 【♯】【4】【0】【1】	【0】**"なし"**：通信結果レポートは印刷されません。 【1】**"あり"**：ファクス送信の後に毎回通信結果レポートが印刷されます。 【2】**"エラー時のみ"**（初期値）：ファクス送信に失敗した場合にのみ、通信結果レポートが印刷されます。
通信履歴レポートの自動印刷を設定する 【♯】【4】【0】【2】	【0】**"なし"**：本機は通信履歴レポートを印刷せず、最近30件のファクス送受信について記録を保持します。 【1】**"あり"**（初期値）：本機は新規のファクス送受信が30件に到達するごとに、通信履歴レポートを自動的に印刷します（56 ページ）。
手動応答モード設定の受信モードを変更する 【♯】【4】【0】【4】	【1】**"手動受信"**（初期値）：手動受信モード（63 ページ） 【2】**"F/T 切替"**：ファクス／電話切替モード（64 ページ）
ファクスを海外へ送信する 【♯】【4】【1】【1】	正しい番号を使用し、回線が接続されている場合でも海外にファクスを送信できない場合、この機能を有効にして送信を試みてください。 この機能を使用すると、通信速度が低下して信頼性が向上します。 【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"次回のみ"**：この設定は、次回のファクス送信に対してのみ有効です。送信後、本機は前の設定に戻ります。 【2】**"エラー時のみ"**：前のファクス送信に失敗し、原稿を再送信したい場合。 **お知らせ** ● この機能は同報送信には使用できません。 ● 通信料金が通常よりも高くなる可能性があります。

機能／コード	選択内容
特定時刻にファクスを送信する 【♯】【4】【1】【2】	この機能を使用すると、電話会社から提供されている時間帯別料金割引をうまく利用することができます。この機能は、希望時刻の24時間前まで設定できます。 **ファクスを送信するには** **1.** 原稿をセットする（21 ページ）。 **2.** 【機能】→【♯】【4】【1】【2】→【◄】/【►】 **3.** ファクス番号を入力する。 ● 電話帳を使用して項目を入力する方法については、58 ページ「6.3.1原稿台ガラスの使用」のステップ2～3を参照してください。 **4.** 【セット】 **5.** 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"時刻"**を選択する。→【◄】/【►】 **6.** 送信開始時刻を入力する。 ● 【◄】または【►】を繰り返し押してカーソルを動かし、【▼】または【▲】を繰り返し押して**"AM"**または**"PM"**を選択する。 **7.** 【セット】 **8.** 必要に応じて、読取画質（55 ページ）と読取濃度（55 ページ）を変更する。 **9.** **原稿台ガラスを使用する場合、**【モノクロ】を押す。→【モノクロ】 **自動原稿送り装置を使用する場合、**【モノクロ】を押す。 ● 原稿が本機に取り込まれ、メモリーに保存されます。この後、本機は指定時刻にデータを送信します。最初の送信が完了するまで、別のファクス送信にこの機能を使用することはできません。 **お知らせ** ● 登録後にこの設定を取り消すには、本機が使用中でないときに【ストップ】、【セット】の順序で押してください。
エラー訂正モード（ECM）を設定する 【♯】【4】【1】【3】	送信側ファクス機と受信側ファクス機がECMに対応している場合、この機能を利用できます。 【0】**"なし"**：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**（初期値）：ファクスの送受信は、エラーを発生させないようにして実行されます。
接続音モニターを設定する 【♯】【4】【1】【6】	ファクスの送信時に頻繁に問題が発生する場合、この機能を使用すると、接続音（ファクス音、発信者向け呼び出し音、話中音）が聞こえます。これらの音を使用して、相手先のファクス機の状態を確認できます。 【0】**"なし"**：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**（初期値）：接続音が聞こえます。 **お知らせ** ● 呼び出し音（発信者向け）が続く場合、相手先の機械がファクス機でない、または用紙が切れている可能性があります。相手先に確認してください。 ● 接続音の音量は調整できません。
最大ファクス速度を設定する 【♯】【4】【1】【8】	【1】**"14.4kbps"** 【2】**"33.6kbps"**（初期値） **お知らせ** ● 電話回線に応じて、ファクス速度は選択速度よりも遅くなることがあります。

機能／コード	選択内容
メモリー送信モードを選択する 【♯】【4】【1】【9】	【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“常時”**：本機は原稿をスキャンし、最初にメモリーに保存してから、送信を開始します。**“メモリー送信”を選択せずに**ファクスを送信できます。
送信先確認機能を設定する 【♯】【4】【2】【0】	【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：送信先確認後にファクスを送信できます。
直接ダイヤル制限機能を設定する 【♯】【4】【2】【1】	【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**：事前に電話帳に登録された宛先にのみファクスを送信できます。 **お知らせ** ● **“あり”**を選択すると、テンキーを使用して入力したファクス番号への再ダイヤルもできません。 ● **“あり”**を選択すると、直接ダイヤル再入力機能（81 ページの機能 #422）は無効になります。
直接ダイヤル再入力機能を設定する 【♯】【4】【2】【2】	【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：テンキーを使用してファクス番号をダイヤルした場合、もう一度ファクス番号の入力が必要です。入力したファクス番号が一回目と一致した場合のみ、ファクスを送信できます。
ダイヤルトーン検知を設定する 【♯】【4】【2】【3】	【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：ファクス送信のとき、ダイヤルトーンを検知し、回線が接続されていることを確認してからファクスを送信します。ダイヤルトーンが検知されない場合は、再ダイヤル待機の状態になります。
自動縮小印刷機能を設定する 【♯】【4】【3】【2】	受信側の用紙よりも長いファクス文書を受信します。 【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：受信した原稿は用紙に合わせて縮小されます。
リモート受信コードを変更する 【♯】【4】【3】【4】	内線電話を使用してファクスを受信する場合、この機能を有効にして、受信コードを登録してください。 **お知らせ** ● **リモート受信コードには、留守番電話に登録したコードと重複しないコードを使用してください。** 【0】**“なし”** 【1】**“あり”**（初期値） **1.** 【機能】→【♯】【4】【3】【4】 **2.** 【1】を押して、**“あり”**を選択する。→【セット】→【▼】 **3.** 0～9、【＊】および【♯】を使用して、2～4桁のコードを入力する。 ● コードの初期値は、**“＊#9”**です。 **4.** 【セット】→【拡張機能】
ファクス無音識別後の呼び出し回数を変更する 【♯】【4】【3】【6】	ファクス／電話切替モードの呼び出し回数を変更します。 【3】**“3”**（初期値） 【4】**“4”** 【5】**“5”** 【6】**“6”** 【7】**“7”** 【8】**“8”** 【9】**“9”** **お知らせ** ● 詳細については、64 ページを参照してください。

機能／コード	選択内容
メモリー受信警告を設定する 【♯】【4】【3】【7】	受信したファクスがメモリーに保存された場合、ビープ音が鳴って警告します。 【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：ビープ音が聞こえます。 **お知らせ** ● 印刷の問題を解決し、保存ファイルの印刷に必要な枚数の用紙がセットされていることを確認するまで、遅いビープ音が鳴り続けます。
親切受信を設定する 【♯】【4】【3】【8】	着信に応答し、ファクス音（遅いビープ音）が聞こえたとき、自動的にファクスを受信します。 【0】**“なし”**：ファクスを受信するとき、【モノクロ】を押す必要があります。 【1】**“あり”**（初期値）：ファクスを受信するとき、【モノクロ】を押す必要がありません。
受信ファクスの印刷に使用する給紙カセットを設定する 【♯】【4】【4】【0】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます（104 ページ）。 【1】**“トレイ1”**：標準カセット 【2】**“トレイ2”**：増設カセット 【3】**“自動”**（初期値）：受信したファクス文書の用紙サイズに応じて、標準カセットまたは増設カセットが自動的に選択されます。
ファクスをコンピューターで受信する 【♯】【4】【4】【2】	ファクスをコンピューターで受信する場合、この機能を有効にして、Multi-Function Stationから［PCファクス］を実行してください。 この機能は、機能#448が無効になっているときに使用できます。 【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“常時”**：本機がコンピューターとの接続を認識すると、受信したファクスはコンピューターに転送されます。本機が接続を認識できない場合、受信したファクスはメモリーにいったん保存され、接続の認識後にコンピューターに転送されます。 【2】**“接続可能時のみ”**：本機がコンピューターとの接続を認識すると、受信したファクスはコンピューターに転送されます。本機が接続を認識できない場合、受信したファクスは印刷されます。
PCファクス受信用のコンピューターを設定する 【♯】【4】【4】【3】	ファクス受信に使用するコンピューターを選択します。詳細については、26 ページを参照してください。
原稿台ガラスを使用してリーガルサイズ原稿を送信する 【♯】【4】【4】【5】	【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“次回のみ”**：次回のファクス送信では、原稿台ガラスを使用してリーガルサイズ原稿を送信できます。送信後、この設定は自動でなしになります。 【2】**“常時”**：次回のファクス送信では、原稿台ガラスを使用してリーガルサイズ原稿を送信できます。
見てから印刷機能を設定する 【♯】【4】【4】【8】	受信したファクスを表示する場合、この機能を有効にしてください。 【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**：受信したファクスはメモリーに保存されます。印刷または保存する前に、受信したファクス文書を表示することができます。詳細については、65 ページ「6.9 受信したファクス文書を表示する」、70 ページ「6.13 Web見てから印刷（LAN接続のみ）」を参照してください。 **お知らせ** ● **“あり”**を選択すると、PCファクス設定（82 ページの機能#442）は無効になります。 ● **“あり”**を選択すると、メモリーがいっぱいになる可能性があります。受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（67、70 ページ）。

機能／コード	選択内容
受信したファクスを自動的に消去する 【♯】【4】【4】【9】	この機能は、機能#448が有効になっているときに使用できます。 【0】**"なし"**：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**（初期値）：受信したファクス文書は、リスト表示から選択して印刷した後に、メモリーから自動的に削除されます（66 ページ）。 **お知らせ** ● ファクス文書の内容表示中に印刷した場合は、自動的に削除されません。
Web見てから印刷アクセスコードを設定する 【♯】【4】【5】【0】	詳細については、70 ページを参照してください。
ファクス受信の通知を設定する 【♯】【4】【5】【1】	【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：ファクスを受信すると、本機にUSB/LANで接続されているコンピューターに通知が送信されます。 **お知らせ** ● **LAN接続の場合**：ファクス受信通知がWebブラウザー経由で送信されるコンピューターを登録してください（83 ページ）。
ファクス自動Eメール転送機能を設定する 【♯】【4】【5】【2】	受信したファクスを任意のEメールアドレスに転送する場合、この機能を有効にしてください。 【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：Eメールの宛先を事前に設定しておくと（84 ページ）、受信したファクス文書はEメールの添付ファイルとして指定のアドレスに自動的に転送されます。
ファクス機能を初期化する／メモリー内のファクスを消去する 【♯】【4】【5】【9】	**1.** 【機能】→【♯】【4】【5】【9】→【セット】 **2.** **ファクス機能を初期化するには** 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ファクス機能初期化"**を選択する。→【セット】 ● ファクス機能を初期化しない場合、【ストップ】を押してください。→【ストップ】→【ストップ】 **メモリー内のファクスを消去するには** 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ファクス受信メモリー消去"**を選択する。→【セット】 ● メモリー内のファクスを消去しない場合、【ストップ】を押してください。→【ストップ】→【ストップ】 **3.** 【モノクロ】
ファクス受信通知用のコンピューター情報を設定する（LAN接続のみ） この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	ファクス受信通知メッセージの送信先となるコンピューターを選択します（6箇所まで）。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［拡張機能設定］ **3.** ユーザー名として**"root"**と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］ **4.** ［ファクス機能］タブを選択する。 **5.** ［受信PCリスト］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** 目的の宛先の横にある［リスト］をクリックする。 **7.** リストから目的のコンピューターをクリックする。→［登録］ **8.** Webブラウザーを閉じる。

機能／コード	選択内容
ファクス自動Eメール転送の送信先を設定する（LAN接続のみ） この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	受信したファクスを自動的にEメール転送する送信先を選択します（6箇所まで）。 **お知らせ** ● **事前にEメールサーバー情報の設定（95 ページ）およびEメール宛先の登録（96 ページ）を行ってください。** **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→ ［Webサーバー］→ ［拡張機能設定］ **3.** ユーザー名として **“root”** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→ ［OK］ **4.** ［ファクス機能］タブを選択する。 **5.** ［送信先］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** 目的の宛先の横にある［アドレスリスト］をクリックする。 **7.** 受信したファクスの送信先として指定する名前をクリックする。 **8.** ［登録］ **9.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** ● 最近15件の転送の状態を確認するには、ステップ5で［結果］の横にある［リスト］をクリックしてください。

8.4 コピー機能

機能／コード	選択内容
コピーに使用する給紙カセットを設定する 【♯】【4】【6】【0】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます。 【1】 **“トレイ1”**（初期値）：標準カセット 【2】 **“トレイ2”**：増設カセット 【3】 **“トレイ1, 2”** **お知らせ** ● **“トレイ1”** を選択する場合、 － 標準カセットの用紙種類設定（77 ページの機能#383）で **“厚口普通紙”** または **“普通紙”** を選択してください。 － 両面コピー機能を無効に設定してください（53 ページ）。 ● **“トレイ1, 2”** を選択する場合、 － 標準カセット（76 ページの機能#380）と増設カセット（77 ページの機能#382）で同じ用紙サイズを選択してください。いずれか一方を変更すると、**“トレイ1”** が自動的に選択されます。 － 標準カセットの用紙種類設定（77 ページの機能#383）で **“厚口普通紙”** または **“普通紙”** を選択してください。
初期値のコピー読取画質を変更する 【♯】【4】【6】【1】	初期値のコピー読取画質設定を変更します。 【1】 **“文字/写真”**（初期値）：文字および写真用。 【2】 **“文字”**：文字専用。 【3】 **“写真”**：写真、陰影付きの図など。
前のページレイアウト設定を保持する 【♯】【4】【6】【7】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。
前のズーム設定を保持する 【♯】【4】【6】【8】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。
前のソート設定を保持する 【♯】【4】【6】【9】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。
前の両面印刷設定を保持する 【♯】【4】【7】【0】	この機能は、自動両面印字ユニットが取り付けられている場合にのみ表示されます。 【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。
前のエッジ設定を保持する 【♯】【4】【7】【3】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。
フレーム余白を設定する 【♯】【4】【7】【4】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：コピーは余白設定に合わせて自動的に縮小されます。ただし、ズーム倍率（49 ページ）を変更すると、自動的に縮小されることはありません。
前の余白設定を保持する 【♯】【4】【7】【5】	【0】 **“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“あり”**：本機は前の設定を保持します。

8.5 コンピューターからのプリント機能

機能／コード	選択内容
PCL給紙カセットを設定する 【♯】【7】【6】【0】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます（104 ページ）。 【1】**“トレイ1”**（初期値）：標準カセット 【2】**“トレイ2”**：増設カセット 【3】**“トレイ1, 2”** **お知らせ** ● **“トレイ1, 2”を選択する場合、** – 標準カセット（76 ページの機能#380）と増設カセット（77 ページの機能#382）で同じ用紙サイズを選択してください。いずれか一方を変更すると、**“トレイ1”**が自動的に選択されます。 – 標準カセット（77 ページの機能#383）と増設カセット（77 ページの機能#385）で同じ用紙種類を選択してください。いずれか一方を変更すると、**“トレイ1”**が自動的に選択されます。
PCL印刷部数を設定する 【♯】【7】【6】【2】	**1.** 【機能】→【♯】【7】【6】【2】 **2.** テンキーを使用して、印刷部数を**“001”**～**“999”**の範囲で入力する。 ● 初期値の設定は**“001”**です。 **3.** 【セット】→【機能】
PCL用紙サイズを設定する 【♯】【7】【6】【3】	【1】**“レター”**：レターサイズ用紙 【2】**“A4”**（初期値）：A4サイズ用紙 【3】**“リーガル”**：リーガルサイズ用紙 【4】**“B5(ISO)”**：B5（ISO）サイズ用紙 【5】**“B5(JIS)”**：B5（JIS）サイズ用紙 【6】**“216X330”** 【7】**“216X340”** **お知らせ** ● 機能#147を**“Inch”**に設定すると、数字はインチで表示されます。
イメージリダクションを設定する 【♯】【7】【6】【4】	【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：データサイズが大きすぎて印刷できない場合、自動的に印刷処理を変えデータサイズを小さくします。 **お知らせ** ● この機能を使用すると、印刷品質が低下することがあります。
PCL印刷方向を設定する 【♯】【7】【6】【5】	【1】**“縦方向”**（初期値）：縦向きに印刷されます。 【2】**“横方向”**：横向きに印刷されます。
Wide A4対応機能を設定する 【♯】【7】【6】【6】	A4サイズ用紙の余白と印刷可能範囲を変更して、10 cpiフォントで80文字を1行に印刷できるようにします。 【0】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**：A4用紙の余白と印刷可能範囲が変更されます。
PCL行数を設定する 【♯】【7】【6】【7】	PCL行数を設定します。 **1.** 【機能】→【♯】【7】【6】【7】 **2.** テンキーを使用して、行数を**“005”**～**“128”**の範囲で入力する。 ● 初期値の設定は**“064”**です。 **3.** 【セット】→【機能】

機能／コード	選択内容
フォントソースを設定する 【#】【7】【6】【8】	この機能は、ダウンロードしたフォントが本機に登録されている場合に使用できます。 【1】**“内蔵フォント”**（初期値）：原稿は内蔵フォントを使用して印刷されます。 【2】**“ダウンロードフォント”**：原稿はダウンロードフォントを使用して印刷されます。
PCLフォント番号を設定する 【#】【7】【6】【9】	PCLフォント番号を設定します。各フォントに番号が割り当てられます。 **1.** 【機能】→【#】【7】【6】【9】 **2.** テンキーを使用して、フォント番号を“**000**”～“**054**”の範囲で入力する。 ● 初期値は“**000**”です。 **3.** 【セット】→【機能】 **お知らせ** ● 機能#768が“**ダウンロードフォント**”に設定されている場合、初期値は“**001**”です。 ● フォントリストの印刷方法については、133 ページを参照してください。
フォントピッチを設定する 【#】【7】【7】【0】	PCL印刷で使用するフォントピッチ／ポイントを設定します。 **1.** 【機能】→【#】【7】【7】【0】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、フォントピッチを“**00.44**”～“**99.99**”の範囲で、ポイントを“**004.00**”～“**999.75**”の範囲で入力する。 ● ピッチの初期値は“**10.00**”で、ポイントの初期値は“**012.00**”です。 **3.** 【セット】→【機能】
シンボル設定を設定する 【#】【7】【7】【1】	PCL印刷で使用するシンボル設定を設定します。 **1.** 【機能】→【#】【7】【7】【1】 **2.** 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的のシンボル設定を表示する。→【セット】→【機能】
CR/LF/FFを設定する 【#】【7】【7】【2】	CR、LF、およびFFを受信したときの各反応を設定します。 【1】**“CR/LF/FF”**（初期値）：CR=CR、LF=LF、FF=FF 【2】**“CR+LF/LF/FF”**：CR=CR+LF、LF=LF、FF=FF 【3】**“CR/CR+LF/CR+FF”**：CR=CR、LF=CR+LF、FF=CR+FF
自動継続モードの待機時間を設定する 【#】【7】【7】【3】	メモリーオーバーフローが発生したときに本機が回復するまでの時間を設定します。 【1】**“なし”**（初期値）：この機能は無効になります。 【2】**“２０秒”**：20秒 【3】**“３０秒”**：30秒 【4】**“６０秒”**：60秒 【5】**“９０秒”**：90秒 【6】**“１２０秒”**：120秒
データタイムアウト設定を変更する 【#】【7】【7】【4】	設定されている時間内にコンピューターから本機にデータが送信されなかった場合、メモリーに保存されている残りのデータが自動的に印刷されます。 **1.** 【機能】→【#】【7】【7】【4】 **2.** テンキーを使用して、希望のデータタイムアウト設定を“**005**”秒～“**600**”秒の範囲で入力する。 ● 初期値は“**060**”秒です。 **3.** 【セット】→【機能】

機能／コード	選択内容
白黒ページを検出する 【♯】【7】【7】【5】	【0】**“なし”**：カラー印刷をするときに、白黒ページを含むすべてのページの印刷にカラートナーカートリッジとドラムカートリッジ（カラー）が使用されます。この場合、カラートナーカートリッジとドラムカートリッジ（カラー）の消耗品の使用が増えます。 【1】**“あり”**（初期値）：この設定を使用すると、カラー印刷をするときに、ファイル内の白黒ページが自動的に検出されて、印刷にトナーカートリッジ（ブラック）とドラムカートリッジ（モノクロ）のみが使用されます。この場合、カラートナーカートリッジとドラムカートリッジ（カラー）の消耗品の使用が減りますが、白黒印刷とカラー印刷の自動切り替えに時間がかかります。 **お知らせ** ● **“あり”**が選択されている場合でも、ファイルのタイプに応じて、この機能が有効にならないことがあります。
A4/LTR代替印刷を設定する 【♯】【7】【7】【6】	この機能を使用すると、レターサイズの用紙がセットされている場合でも、A4サイズで印刷することができます。逆に、A4サイズの用紙にレターサイズで印刷することもできます。 【0】**“なし”**：この機能は無効になります。 【1】**“あり”**（初期値）：A4サイズとレターサイズの代替印刷が可能です。

8.6 スキャン機能

機能／コード	選択内容
コンピューターでの用途に応じてスキャンモードを設定する **【♯】**【4】【9】【3】	【1】**"ビューアー"**（初期値）：スキャンされたイメージは［Quick Image Navigator］ウィンドウに表示されます。 【2】**"ファイル"**：スキャンされたイメージはファイルとして保存されます。 【3】**"Eメール"**：スキャンされたイメージはEメールの添付ファイル用として保存されます。 【4】**"OCR"**：スキャンされたイメージはOCRウィンドウに表示されます。 **お知らせ** ● OCRソフトウェアは、付属されておりません。OCRソフトウェアを使用するには、OCRソフトウェアのパスを指定してください。
プッシュスキャン用の前のスキャン設定を保持する **【♯】**【4】【9】【4】	【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：プッシュスキャンの各モード（読取原稿サイズ、読取画質、ファイルタイプ、明るさ、カラー読取濃度／読取濃度）に対して前のスキャン設定を保持します。
プッシュスキャンの白黒スキャンを設定する **【♯】**【4】【9】【5】	【1】**"白黒"**（初期値）：黒線としてスキャンする場合に使用します。文字にはこの設定を選択してください。 【2】**"グレースケール"**：黒線およびグレーの陰影としてスキャンする場合に使用します。イメージにはこの設定を選択してください。

8.7 LAN機能

機能／コード	選択内容
DHCPサーバーを使用する場合のLAN設定 【♯】【5】【0】【0】	【0】**"なし"**：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**（初期値）：次の項目が、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーを使用して自動的に割り当てられます。 – IPアドレス – サブネットマスク – デフォルトゲートウェイ
本機のIPアドレスを設定する 【♯】【5】【0】【1】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【1】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、本機のIPアドレスを入力する。→【セット】→【機能】
サブネットマスクを設定する 【♯】【5】【0】【2】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【2】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、サブネットマスクを入力する。→【セット】→【機能】
デフォルトゲートウェイを設定する 【♯】【5】【0】【3】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【3】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、デフォルトゲートウェイを入力する。→【セット】→【機能】
プライマリー DNSサーバーを設定する 【♯】【5】【0】【4】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【4】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、プライマリー DNSサーバーを入力する。→【セット】→【機能】
セカンダリー DNSサーバーを設定する 【♯】【5】【0】【5】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【5】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、セカンダリー DNSサーバーを入力する。→【セット】→【機能】
マシン名を設定する 【♯】【5】【0】【7】	**1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【7】→【◄】/【►】 **2.** 英数字を使用して、LAN上で認識するための本機の名前を15文字以内で入力する（文字入力については98 ページ参照）。 ● 次の記号も入力することができます。 ! @ # $ % ^ & ') (. - _ { } **3.** 【セット】→【機能】 **お知らせ** ● LAN上で本機を認識するために、本機は一意な名前を自動的に初期値として設定します。名前を変更する場合、重複を避けるため、一意の名前を割り当ててください。
本機のMACアドレスを表示する 【♯】【5】【0】【8】	**1.** 【機能】→【♯】【5】【0】【8】→【セット】 **2.** 本機のMACアドレスが表示される。→【機能】

機能／コード	選択内容
IPフィルターを設定する 【♯】【5】【3】【2】	【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：本機は登録したIPアドレスからのアクセスを許可／禁止します。 Webブラウザーを使用して、許可／禁止とIPアドレスの範囲（最大4つ）を登録することができます。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［ネットワーク機能設定］ **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］ **4.** ［LAN機能］タブを選択する。 **5.** ［IPフィルター］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** ［フィルター (IPv4)］/［フィルター (IPv6)］の横にある［編集］をクリックする。 **7.** モードを変更し、IPフィルター情報を編集する。→［登録］ **8.** Webブラウザーを閉じる。
IPアドレスを自動的に設定する 【♯】【5】【3】【3】	この機能は、機能#500が有効になっている場合にのみ表示されます。 【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：IPアドレスが、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーを使用せずに自動的に割り当てられます。
HTTPDを設定する 【♯】【5】【3】【4】	【0】**"なし"**：Webブラウザーへのアクセスを禁止します。 【1】**"あり"**（初期値）：Webブラウザーへのアクセスを許可します。
IPv6プロトコル 【♯】【5】【3】【5】	【0】**"なし"**（初期値）：この機能は無効になります。 【1】**"あり"**：IPv6プロトコルを使用できます。プリンタードライバーをインストールした後に、ポートをIPv6プロトコルに変更してください。**"機能設定リスト"**（133 ページ）を印刷すると、IPv6プロトコルアドレスを確認できます。 **お知らせ** ● この機能を有効にするには、本機の電源スイッチをいったんオフにしてから、オンに戻す必要があります。
プライマリー WINSサーバーを設定する 【♯】【5】【3】【8】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【3】【8】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、プライマリー WINSサーバーを入力する。→【セット】→【機能】
セカンダリー WINSサーバーを設定する 【♯】【5】【3】【9】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】→【♯】【5】【3】【9】→【◄】/【►】 **2.** テンキーを使用して、セカンダリー WINSサーバーを入力する。→【セット】→【機能】

機能／コード	選択内容
スキャンtoEメール印刷機能に使用する給紙カセットを設定する 【♯】【5】【6】【5】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます。 【1】**"トレイ1"**（初期値）：標準カセット 【2】**"トレイ2"**：増設カセット 【3】**"トレイ1, 2"** **お知らせ** ● **"トレイ1"**を選択する場合、標準カセットの用紙種類設定（77 ページの機能#383）で**"厚口普通紙"**または**"普通紙"**を選択してください。 ● **"トレイ1, 2"**を選択する場合、標準カセット（76 ページの機能#380）と増設カセット（77 ページの機能#382）で同じ用紙サイズを選択してください。 いずれか一方を変更すると、**"トレイ1"**が自動的に選択されます。
本機に保存されているEメールアドレス、FTPサーバー情報、およびSMBフォルダー情報をすべて消去する 【♯】【5】【7】【8】	【1】"Eメールアドレスリスト"（初期値） 【2】"FTPサーバーリスト" 【3】"SMBフォルダーリスト" ● この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。 **すべてのEメールアドレスを消去するには** **1.** 【機能】→【♯】【5】【7】【8】 **2.** 【1】を押して、"Eメールアドレスリスト"を選択する。→【セット】→【モノクロ】→【機能】 **FTPサーバー情報を消去するには** **1.** 【機能】→【♯】【5】【7】【8】 **2.** 【2】を押して、"FTPサーバーリスト"を選択する。→【セット】→【モノクロ】→【機能】 **SMBフォルダー情報を消去するには** **1.** 【機能】→【♯】【5】【7】【8】 **2.** 【3】を押して、"SMBフォルダーリスト"を選択する。→【セット】→【モノクロ】→【機能】

8.8 ダイレクトプリント機能

機能／コード	選択内容
ダイレクトプリント用給紙カセット設定 【♯】【6】【6】【9】	この機能は、増設カセットが取り付けられている場合にのみ表示されます。 【1】 **"トレイ1"**（初期値）：標準カセット 【2】 **"トレイ2"**：増設カセット 【3】 **"トレイ1, 2"** ● **"トレイ1"** を選択する場合、標準カセットの用紙種類設定（77 ページの機能#383）で **"厚口普通紙"** または **"普通紙"** を選択してください。 ● **"トレイ1, 2"** を選択する場合、 － 標準カセット（76 ページの機能#380）と増設カセット（77 ページの機能#382）で同じ用紙サイズを選択してください。いずれか一方を変更すると、**"トレイ1"** が自動的に選択されます。 － 標準カセットの用紙種類設定（77 ページの機能#383）で **"厚口普通紙"** または **"普通紙"** を選択してください。
表示順を設定する 【♯】【6】【7】【2】	【0】 **"なし"**：この機能は無効になります。 【1】 **"名前順"**：ファイルは名前のアルファベット順に並べられます。 【2】 **"日付順"**（初期値）：ファイルは日付順に並べられます。 **お知らせ** ● **"名前順"** または **"日付順"** 設定を使用すると、表示時間が長くなります。
SDカードからのダイレクトプリントの表示モードを設定する 【♯】【6】【7】【3】	【1】 **"ファイル一覧"**（初期値）：各ファイルのファイル名が表示されます。 【2】 **"サムネール"**：各ファイルのサムネールイメージが表示されます。 **お知らせ** ● **"サムネール"** 設定を使用すると、表示時間が長くなります。

8.9 ネットワーク機能（LAN接続のみ）

ここに記載されている機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。

機能	タブ	選択内容
LAN機能を設定する	[LAN機能]	LAN機能設定を入力します。詳細については、90 ページを参照してください。
SNMPのコミュニティ名を設定する	[SNMP]	SNMPのコミュニティ名を入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機の使用場所を設定する	[SNMP]	本機の場所情報を入力します。
リンクローカルアドレスを表示する	[IPv6]	リンクローカルアドレスが表示されます。
自動設定用IPアドレスを表示する	[IPv6]	自動設定用IPアドレスが表示されます。
IPv6のIPアドレスを設定する	[IPv6]	IPv6のIPアドレスを入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
IPv6のデフォルトルーターを設定する	[IPv6]	IPv6のデフォルトルーター情報を入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
FTPサーバー情報を設定する	[FTP機能]	次の機能を実行するために、FTPサーバー情報を入力します。宛先のFTPサーバーを本機に登録することができます（6箇所まで）。 – FTPサーバーに保存されているファイルを印刷する（40 ページ）。 – スキャンしたイメージをFTPサーバー上のフォルダーに送信する（44 ページ）。 – ファクス文書をFTPサーバー上のフォルダーに保存する（66 ページ）。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** [ユーティリティー] → [Webサーバー] → [ネットワーク機能設定] **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→ [OK] **4.** [FTP機能] タブを選択する。 **5.** [FTPサーバー] の横にある [編集] をクリックする。 **6.** 目的のFTPサーバーの横にある [編集] をクリックする。 **7.** サーバー名、IPアドレス、フォルダーパス、アカウントなどを入力する。→ [登録] **8.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** ● ステップ7でフォルダーパスを入力しないと、スキャンしたイメージまたはファクス文書はルートフォルダーに保存されます。

機能	タブ	選択内容
SMBフォルダー情報を設定する	［SMB機能］	次の機能を実行するために、SMBフォルダー情報を入力します。宛先のSMBフォルダーを本機に登録することができます（6箇所まで）。 – スキャンしたイメージをSMBフォルダーに送信する（45 ページ）。 – ファクス文書をSMBフォルダーに保存する（66 ページ）。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［ネットワーク機能設定］ **3.** ユーザー名として **“root”** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］ **4.** ［SMB機能］タブを選択する。 **5.** ［SMBフォルダー］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** 目的のSMBフォルダーの横にある［編集］をクリックする。 **7.** フォルダー名とアカウントを入力する。 **8.** フォルダーパスの横にある［表示］をクリックして、目的のコンピューターのフォルダーを選択する。→［OK］ ● フォルダーパスは手動でも入力できます。 **9.** ［登録］ **10.** Webブラウザーを閉じる。
Eメールサーバー情報を設定する	［Eメール機能］	次の機能を実行するために、Eメールサーバー情報を入力します。 – スキャンしたイメージをEメールアドレスに送信する（44 ページ） – ファクス文書をEメールアドレスに送信する (62 ページ) – ファクス文書をEメールの添付ファイルとして保存する（66 ページ） **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→［Webサーバー］→［ネットワーク機能設定］ **3.** ユーザー名として **“root”** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］ **4.** ［Eメール機能］タブを選択する。 **5.** ［Eメールサーバー］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** 送信元Eメールアドレス、サーバー情報を入力する。 **7.** ［登録］ **8.** Webブラウザーを閉じる。

機能	タブ	選択内容
Eメールの宛先を登録する	［Eメール機能］	Eメールの宛先を登録します（300箇所まで）。登録した宛先は、次の機能で送信先として使用することができます。 – スキャンしたイメージをEメールアドレスに送信する（44 ページ） – ファクス文書をEメールアドレスに送信する (62 ページ) – ファクス文書をEメールの添付ファイルとして保存する（66 ページ） **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］→ ［Webサーバー］→［ネットワーク機能設定］ **3.** ユーザー名として **“root”** と入力し、パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→［OK］ **4.** ［Eメール機能］タブを選択する。 **5.** ［アドレスリスト］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** 登録する項目の横にある［編集］をクリックする。 **7.** 名前とEメールアドレスを入力する。 **8.** ［登録］ **9.** Webブラウザーを閉じる。
エラー通知機能を設定する	［エラー通知機能］	［あり］：問題が発生した場合、登録されている宛先にEメールでエラー通知します。 ［なし］（初期値）：この機能は無効になります。
エラー通知機能の情報を設定する	［エラー通知機能］	Eメールでエラー通知するときに必要なEメールサーバー情報を入力します。
エラー通知機能の送信先を登録する	［エラー通知機能］	エラー通知の送信先と通知項目を設定します。 ［消耗品交換間近通知］：トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、または廃トナーカートリッジの交換が必要であることを示す警告。 ［用紙送りエラー通知］：給紙カセットに問題があることを示すエラー。 ［消耗品交換通知］：トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、または廃トナーカートリッジの交換がただちに必要であることを示すエラー。
スキャンtoEメール印刷機能を設定する	［スキャンtoEメール印刷］	［あり］：受信したEメールの添付ファイルが自動的に印刷されます。 ［なし］（初期値）：この機能は無効になります。 詳細については、41 ページを参照してください。
スキャンtoEメール印刷機能のEメールチェック間隔を設定する	［スキャンtoEメール印刷］	Eメールチェックの間隔を分単位で入力します。
スキャンtoEメール印刷機能のヘッダー印刷オプションを設定する	［スキャンtoEメール印刷］	［あり］（初期値）：受信したEメールの添付ファイルと一緒にヘッダー情報が印刷されます。 ［なし］：この機能は無効になります。

機能	タブ	選択内容
スキャンtoEメール印刷機能の情報を設定する	［スキャンtoEメール印刷］	スキャンtoEメール印刷機能を使用する場合、事前にEメールサーバー（POP）情報を設定しておく必要があります。詳細については、41 ページを参照してください。
スキャンtoEメール印刷の履歴を表示する	［スキャンtoEメール印刷］	スキャンtoEメール印刷の最新の履歴（30件）が表示されます。

9.1 文字入力

文字と数字を入力するときには、テンキーを使用します。

– 【◄】または【►】を押すと、カーソルを動かすことができます。
– テンキーを使用すると、文字および数字を入力できます。
– 【戻る】を押すと、アンダーバー表示されている文字または数字を消去できます。【戻る】を押したまま保持すると、すべての文字または数字を消去できます。
– 同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するには、【►】を押してカーソルを次のスペースに移動させてから、そのテンキーを押します。

キー	文字
【1】	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
	. _ - [ ] { } + / = , ` : ; ? ｜
	1
【2】	カ キ ク ケ コ
	A B C a b c
	2
【3】	サ シ ス セ ソ
	D E F d e f
	3
【4】	タ チ ツ テ ト ッ
	G H I g h i
	4
【5】	ナ ニ ヌ ネ ノ
	J K L j k l
	5
【6】	ハ ヒ フ ヘ ホ
	M N O m n o
	6
【7】	マ ミ ム メ モ
	P Q R S p q r s
	7
【8】	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
	T U V t u v
	8
【9】	ラ リ ル レ ロ
	W X Y Z w x y z
	9
【0】	ワ ヲ ン ー ! ? ( )
	@ ( ) ＜ ＞ ! " # $ % & ¥ * ^ '
	0
【✳】（カナ入力モードのみ）	゛（濁点） ゜（半濁点）
	、 。
【♯】	入力モードが切り替わります。
【フック】	ハイフン
【着信メモリー】	スペースが挿入されます。
【戻る】	文字が消去されます。

9.2 本機の状態

9.2.1 リモートコントロールの使用

次の機能は、コンピューターから簡単に操作することができます。

– 機能の設定（74 ページ）
– 電話帳の項目の登録、編集、または消去（57 ページ）
– 同報送信の項目の登録または消去（59 ページ）
– 通信履歴レポートの項目の表示（56 ページ）
– コンピューターへの通信履歴レポートの保存
– 着信メモリーリストの項目の表示（71 ページ）
– 電話帳への発信者情報の登録（72 ページ）
– コンピューターへの着信メモリーリストの保存

1 Multi-Function Stationを起動する。→ ［リモートコントロール］
- ［Multi-Function リモートコントロール］ウィンドウが表示されます。

2 目的のタブを選択する。
- 本機の最新データが表示されます。

3 目的の操作を行う。
- 各機能の詳細については、［ヘルプ］をクリックしてください。
- 操作を中止するには、［キャンセル］を押してください。

4 ［OK］
- ［適用］をクリックすると、ウィンドウを閉じずに次の操作を続けることができます。

5 パスワードを入力する（75 ページの機能#155）。→ ［OK］
- 新しいデータが本機に転送され、ウィンドウが閉じます。

お知らせ
- 一部の機能は、お使いのコンピューターから設定することができません。
- 詳細については、Multi-Function Stationから［ ］を選択すると、ヘルプファイルを参照することができます。
- 別の人が本機で保存データに変更を加えている場合、上書きされることがあります。本機の同じ機能が現在使用中でないことを確認してください。

9.2.2 デバイスモニターの使用

本機の設定情報および現在の状態をコンピューターから確認することができます。

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 ［ユーティリティー］→ ［デバイスモニター］
- ［Device Monitor］ウィンドウが表示されます。

3 本機の状態を確認する。
［ステータス］**：**本機の現在の状態

お知らせ
- ［詳細表示］をクリックすると、［ステータス］タブに追加情報（トナーおよび用紙の状態、ユニット情報など）が表示されます。
- ［最新の情報に更新］をクリックすると、本機の状態を更新できます。
- 印刷時にエラーが発生した場合、デバイスモニターが自動的に起動し、エラー情報を表示します。
- 詳細については、Multi-Function Stationから［ ］を選択すると、ヘルプファイルを参照することができます。

9.2.3 Webブラウザーの使用（LAN接続のみ）

本機の設定情報および現在の状態をWebブラウザーから確認することができます。

1 Multi-Function Stationを起動する。→ ［ユーティリティー］→ ［Webサーバー］
- Webブラウザーに本機のIPアドレスを入力して本機にアクセスすることもできます。

2 メニューバーからカテゴリーを選択する。
［ステータス］**：**トナーおよび用紙情報など
［本体情報］**：**本機の現在の状態など
［拡張機能］**：**機能設定情報など
［ネットワーク情報］**：**ネットワーク情報など
- ［本体情報］、［拡張機能］または［ネットワーク情報］を選択した場合、右フレームの上部にある機能タブをクリックすると、表示される機能を変更できます。

3 本機の状態を確認する。

お知らせ
- ［更新］をクリックすると、本機の状態を更新できます。

9.3 操作を中止する

本機から現在の操作を中止することができます。中止する操作を選択することもできます。

1 【ストップ】
- 現在の操作が中止されます。
- 操作が中止されない場合、ステップ2に進んでください。

2 **中止確認メッセージが表示された場合**
【セット】を押して、操作を中止する。
複数の操作が表示された場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、中止する操作を選択する。→【セット】

9.4 印刷濃度を調整する

カラー印刷が濃すぎる、または薄すぎる場合、濃度を調整します。

1 濃度を調整するカラーを選択する。
- シアン、マゼンタ、イエローおよびブラックの全体濃度を調整する場合、【機能】を押してください。→【♯】【4】【8】【5】
- シアンの濃度を調整する場合、【機能】を押してください。→【♯】【4】【8】【6】
- マゼンタの濃度を調整する場合、【機能】を押してください。→【♯】【4】【8】【7】
- イエローの濃度を調整する場合、【機能】を押してください。→【♯】【4】【8】【8】
- ブラックの濃度を調整する場合、【機能】を押してください。→【♯】【4】【8】【9】

2 濃度調整量を選択する。
- 濃度を濃くしたい場合、大きい数値を選択する。濃度を薄くしたい場合、小さい数値を選択してください。

【0】 "-5"
【1】 "-4"
【2】 "-3"
【3】 "-2"
【4】 "-1"
【5】 "0"（初期値）
【6】 "1"
【7】 "2"
【8】 "3"
【9】 "4"
【*】 "5"

3 【セット】

4 【機能】を押して終了する。

カラーテストの印刷
カラーテストを印刷すると、各カラーの印刷濃度を確認することができます（133 ページ）。

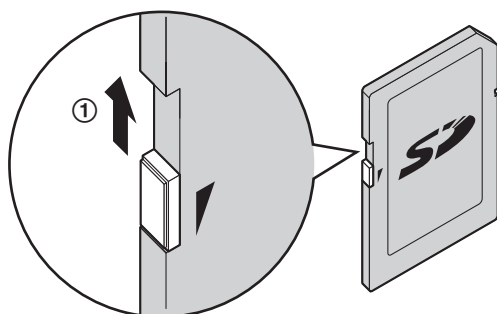
9.5 SDカード

SDカードに保存されているファイルを印刷したり、ファイルをSDカードに保存したりすることができます。
本機は次の市販メモリーカードに対応しています。本書内では、これらのSDメモリーカードをすべてSDカードと呼んでいます。
– SDメモリーカード（最大2 GB）*1
– SDHC™メモリーカード（最大32 GB）*1
– miniSD™カード（最大2 GB）（アダプター必要）*2
– miniSDHC™カード（最大16 GB）（アダプター必要）*2
– microSD™ カード（最大2 GB）（アダプター必要）*2
– microSDHC™カード（最大16 GB）（アダプター必要）*2

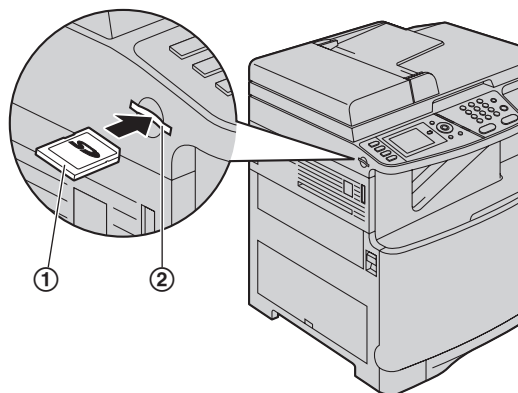
*1 カードへのデータ書き込みを防止する書き込み防止スイッチが搭載されています。

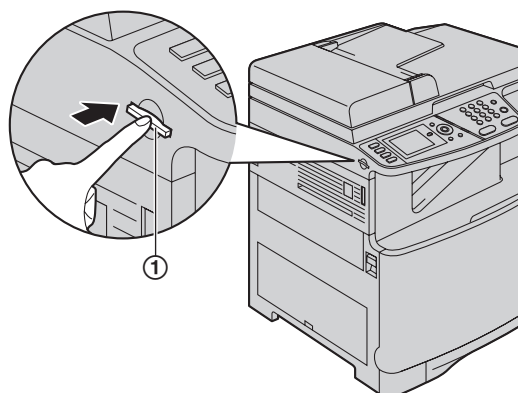
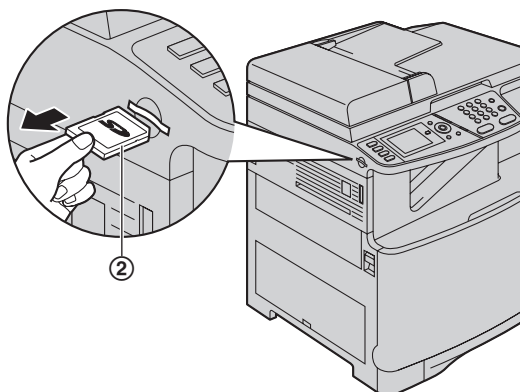
*2 最初にカードをアダプターに挿入し、次にアダプターをSDカードスロットに挿入します。カードアダプターには、カードへのデータ書き込みを防止する書き込み防止スイッチが搭載されています。

- 本機を正しくお使いいただくために、弊社ではパナソニック製SDカードのご使用を推奨します。

お知らせ
- **データの読み取り中または書き込み中には、SDカードを取り出したり、電源スイッチをオフにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **データは必ずバックアップコピーを作成してください。**
- **データの破損または紛失によりお客様のSDカードに生じた損害については、弊社では一切責任を負いません。**
- **書き込み防止スイッチがロック位置になっている場合、データをカードに書き込むことはできません。データを書き込む必要がある場合、スイッチがロック解除位置（①）になっていることを確認してください。**

お知らせ
- 表示されているSDカードアイコンおよびSDカードアクセスアイコンを確認してください（9 ページ）。SDアクセスアイコンが緑色の場合、SDカードは正しく機能しています。
- SDカードは別売りです。本機が対応しているSDカードをお買い求めください。
- アクセス速度はSDカードの種類に応じて多少異なります。
- SDカードの詳細については、SDカードの取扱説明書を参照してください。

9.5.1 SDカードの挿入

ラベル面を上にしてSDカード（①）をSDカードスロット（②）に挿入してください。

9.5.2 SDカードの取り出し

1 （①）のSDカードをいったん押し込む。

2 SDカード（②）を真っ直ぐ引き出す。

SDカードのファイルフォルダー

ファイルをSDカードに保存すると、SDカードに次のフォルダーが作成されます。

SD:/PRIVATE/MEIGROUP/PCC/MFP/IMAGE/XXXXXX

（"XXXXXX"は機器ごとに異なります。）

お知らせ

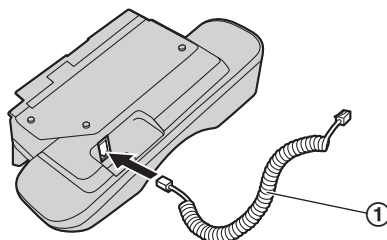
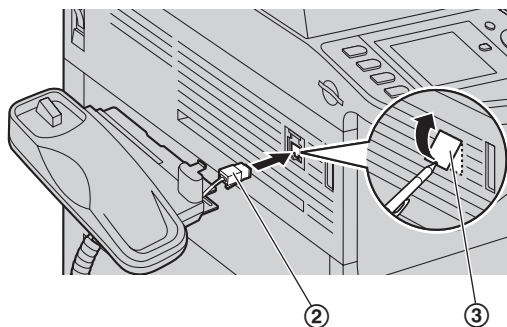
- コンピューター上でフォルダー名を消去または変更しないでください。
- 同じSDカードを同時に2台以上で使用する場合、SDカードには機器ごとに別のフォルダーが作成されます。別の機器で保存したデータを表示するには、その機器で作成されたフォルダーを選択する必要があります。

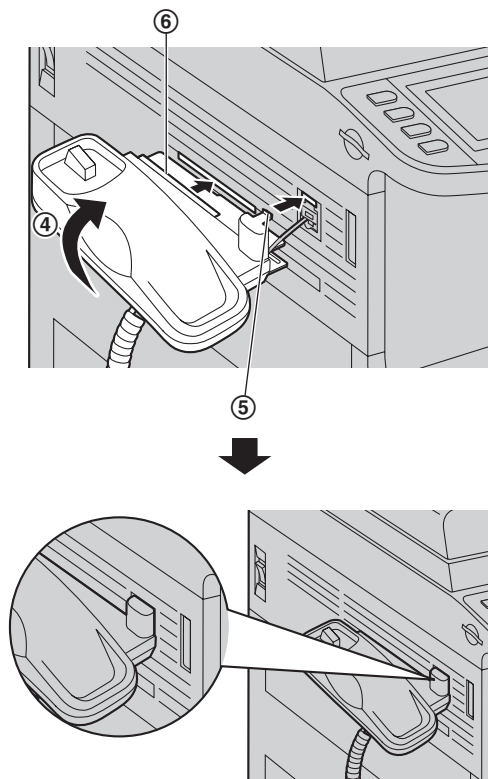
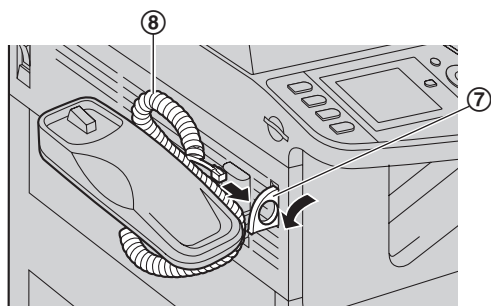
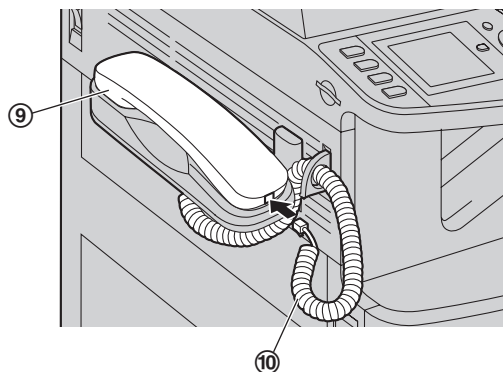
9.6 ハンドセットユニット（オプション）

ハンドセットユニット（オプション）を追加することができます。アクセサリー情報については、7 ページを参照してください。

お知らせ

- **ハンドセットユニット（オプション）を取り付ける／取り外す前には、必ず電源スイッチをオフにしてください。**

1 ハンドセットコード（①）をハンドセットクレードルに接続する。

2 ハンドセットコネクター（②）を接続する。
- ハンドセットユニット接続端子からカバー（③）を取り外してください（取り付けられている場合）。

3 ハンドセットクレードルを矢印（④）で示されている方向に持ち上げて、タブ（⑤）を挿入し、ハ

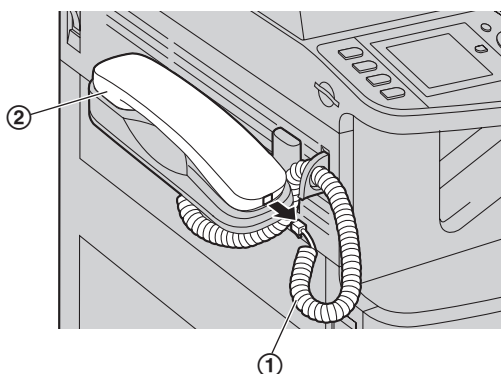
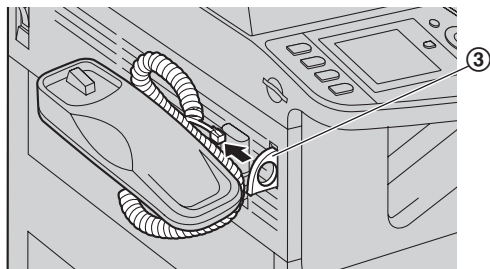
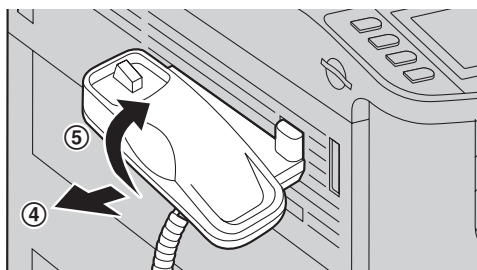
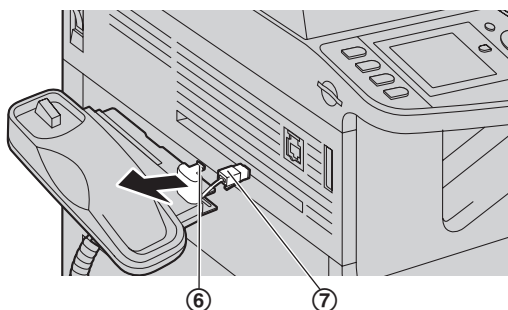
ンドセットユニットを本機の方向に押して、リブ（⑥）を挿入する。

4 ハンドセットコードホルダー（⑦）を引き出し、ハンドセットコード（⑧）をハンドセットコードホルダーに通す。

5 ハンドセット（⑨）をハンドセットクレードルに置いて、ハンドセットコード（⑩）をハンドセットに接続する。

お知らせ

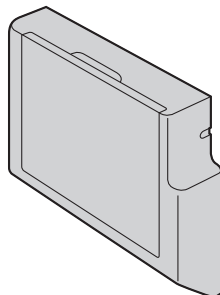
● 次の手順に従うと、相手先との通話中に原稿台ガラスを使用してファクスを送信することができます。

1 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ファクス”**を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、**“送信”**を選択する。→【モノクロ】
（ファクスを受信するには、**“受信”**を選択し、【モノクロ】を押してください。）

ハンドセットユニットを取り外す

1. ハンドセットコード（①）をハンドセットから取り外し、ハンドセット（②）をハンドセットクレードルから取り外す。

2. ハンドセットコードをハンドセットコードホルダー（③）から取り外し、ハンドセットコードホルダーを閉じる。

3. ハンドセットユニットを前方（④）に少し引いて、矢印（⑤）の方向に持ち上げ、リブを取り外す。

4. タブ（⑥）を取り外し、ハンドセットコネクター（⑦）を取り外す。

9.7 自動両面印字ユニット（オプション）

自動両面印字ユニット（オプション）を追加することができます。アクセサリー情報については、7 ページを参照してください。

A4、レター、リーガル、B5、216×330、216×340サイズ の用紙（厚口普通紙および普通紙）を使用することができます。

- 用紙については、135 ページを参照してください。

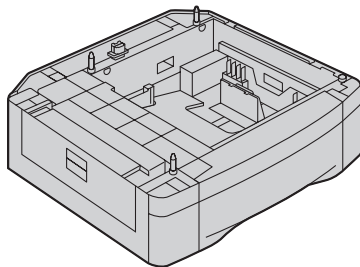
お知らせ

- **自動両面印字ユニット（オプション）の設置を始める前には、必ず電源スイッチをオフにしてください。設置の詳細については、自動両面印字ユニット（オプション）の設置ガイドを参照してください。**
- **自動両面印字ユニット（オプション）をコンピューターで使用するには、プリンターのプロパティを変更する必要があります。詳細については、106 ページを参照してください。**

自動両面印字ユニットの取り扱いに関する注意

- **自動両面印字ユニットを取り外すときは、落下させないように両手を添えて取り外してください。**

9.8 増設カセット（オプション）

増設カセットを追加することができます。アクセサリー情報については、7 ページを参照してください。

A4、レター、またはリーガルサイズの用紙（厚口普通紙および普通紙）を使用することができます。

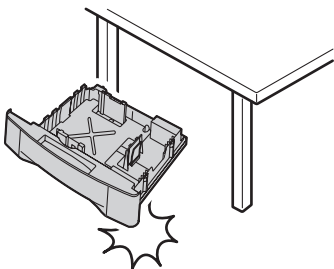
増設カセットに収容できる用紙の枚数は次のとおりです。
– 75 g/m^{2}の用紙：520枚まで。
– 80 g/m^{2}の用紙：470枚まで。
– 90 g/m^{2}の用紙：410枚まで。
– 105 g/m^{2}の用紙：360枚まで。

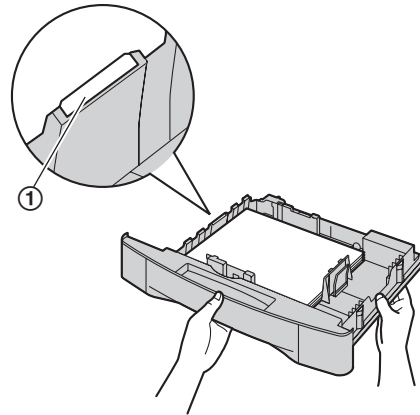
- **初期値ではA4サイズの普通紙を印刷するように設定されています。**
  - **他の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズ設定を変更してください（77 ページの機能#382）。**
  - **厚口普通紙を使用する場合、用紙種類設定を変更してください（77 ページの機能#385）。**

お知らせ

- **増設カセットの設置を始める前には、必ず電源スイッチをオフにしてください。設置の詳細については、増設カセットの設置ガイドを参照してください。**
- **設置後、次の設定で増設カセットの使用を選択できます。**
  - **リストおよびレポート印刷用給紙カセット設定（77 ページの機能#390）**
  - **ファクス用給紙カセット設定（82 ページの機能#440）**
  - **コピー用給紙カセット設定（85 ページの機能#460）**
  - **PCL給紙カセット（86 ページの機能#760）**
  - **スキャンtoEメール印刷機能の給紙カセット設定（92 ページの機能#565）**
  - **ダイレクトプリント用給紙カセット設定（93 ページの機能#669）**
- **増設カセットをコンピューターで使用するには、プリンターのプロパティを変更する必要があります。詳細については、106 ページを参照してください。**

増設カセットの取り扱いに関する注意

- **増設カセットを落とさないでください。**

- **取り外しまたは取り付けのときには、増設カセットを両手で持ってください。用紙を最大枚数までセットした場合、増設カセットの重量は約4.8 kgになります。**

増設カセットの左側のプレート（①）には触れないでください。

重量は約 4.8 kgです

- 不安定な場所や振動を受ける場所には、本機を置かないでください。増設カセットを取り付け、用紙を最大枚数までセットした場合、本機の重量は約40 kgになります。
- 本機を移動するときは必ず増設カセットを本機から取り外し、別々に移動してください。一度に移動させると増設カセットが落下する恐れがあります。

9.9 増設カセット／自動両面印字ユニット（オプション）を設定する

増設カセット／自動両面印字ユニット（オプション）をコンピューターで使用するには、次の手順に従ってください。
- この設定は、カラーおよび白黒プリンタードライバーの両方に対して必要です。

1 ［スタート］

2 プリンターウィンドウを開く。
Windows 2000の場合
［設定］→［プリンタ］
Windows XP Professionalの場合
［プリンタと FAX］
Windows XP Homeの場合
［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］
Windows Vistaの場合
［コントロール パネル］→［プリンター］
Windows 7の場合
［デバイスとプリンター］

3 本機の名前を選択する。

4 **Windows 2000/Windows XPの場合**
［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択する。
- プリンターのプロパティウィンドウが表示されます。

Windows Vistaの場合
［Organize］メニューから［プロパティ］を選択する。
- プリンターのプロパティウィンドウが表示されます。

Windows 7の場合
［ファイル］メニューから［プリンターのプロパティ］を選択する。
- プリンターのプロパティウィンドウが表示されます。

5 ［デバイス］タブの［自動設定］をクリックする。→［OK］
- 増設カセットまたは自動両面印字ユニット（オプション）が自動的に検出されます。
  - ［給紙トレイの数］には、［2］が選択されます。
  - ［自動両面印刷ユニット］には、［あり］が選択されます。

  設定が自動的に変更されない場合、手動で変更してください。

6 ［OK］

9.10 カラー印刷を制限する

カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）を有効にすると、カラー印刷を制限することができます。カラーパスワードを知っているユーザーのみが次の操作を行うことができます。
－ カラーでコピーする
－ ファイルをカラーで印刷する
－ SDカードのファイルをカラーで印刷する
－ FTPサーバーのファイルをカラーで印刷する

お知らせ
- 白黒コピー／印刷の場合、パスワードは不要です。

9.10.1 カラーでコピーする

カラーでコピーするには、パスワードを入力する必要があります。

1 【コピー】ライトが消えている場合、【コピー】を押して点灯させる。

2 原稿をセットする。

3 【カラー】を押す。

4 パスワードを入力する。

5 【カラー】をもう一度押して、コピーを開始する。
- 入力したパスワードが正しくない場合、コピージョブは中止されます。

お知らせ
- 白黒でコピーする場合、パスワードは不要です。

9.10.2 ファイルをカラーで印刷する

ファイルをカラー印刷するには、プリンタードライバーのプロパティでカラーパスワードを入力してください。

Windowsアプリケーションから印刷する

お知らせ
- **入力したパスワードが正しくない場合は、印刷が中止されます。**

たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷...］を選択する。
2. プリンター一覧から本機の名前に［Color］が付いているプリンターを選択する。

   Windows 2000の場合
   ［ジョブ］タブをクリックする。
   ［カラー印刷制限］の［パスワード］フィールドにカラーパスワードを入力し、［印刷］をクリックする。
   Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合

［詳細設定］をクリックして、［ジョブ］タブをクリックする。
［カラー印刷制限］の［パスワード］フィールドにカラーパスワードを入力し、［OK］をクリックする。
3. ［印刷］または［OK］をクリックする。

お知らせ
- カラー印刷を許可されていないユーザーが使用する場合、ステップ1の後にプリンター一覧から本機の名前に［B/W］が付いているプリンターを選択し、［印刷］または［OK］をクリックしてください。白黒印刷の場合、パスワードは不要です。

9.10.3 SDカードのファイルをカラーで印刷する

SDカードのファイルをカラーで印刷するには、パスワードを入力する必要があります。

1 【プリント】を押す。
2 【▼】または【▲】を押して、**“SDカード”**を選択する。→【セット】
3 【▼】または【▲】を押して、目的のファイルを選択する。→【セット】
4 【カラー】を押す。
5 パスワードを入力する。
6 【カラー】をもう一度押して、印刷を開始する。
   - 入力したパスワードが正しくない場合、印刷ジョブは中止されます。

お知らせ
- 白黒で印刷する場合、パスワードは不要です。

9.10.4 FTPサーバーのファイルをカラーで印刷する

FTPサーバーのファイルをカラーで印刷するには、パスワードを入力する必要があります。

1 【プリント】を押す。
2 【▼】または【▲】を押して、**“FTPサーバー”**を選択する。→【セット】
3 【▼】または【▲】を押して、目的のFTPサーバーを選択する。→【セット】
4 【▼】または【▲】を押して、目的のファイルを選択する。→【セット】
5 【カラー】を押す。
6 パスワードを入力する。
7 【カラー】をもう一度押して、印刷を開始する。
   - 入力したパスワードが正しくない場合、印刷ジョブは中止されます。

お知らせ
- 白黒で印刷する場合、パスワードは不要です。

9.10.5 その他のカラー印刷情報

カラーテストページの印刷

1. 【機能】を押す。
2. 【▼】または【▲】を押して、**“レポート印刷”**を選択する。
3. 【◄】または【►】を押して、**“カラーテスト”**を選択する。
4. 【セット】を押す。
5. パスワードを入力する。→【セット】

テストプリントの印刷

1. 【機能】→【#】【4】【8】【0】
2. パスワードを入力する。→【セット】
3. カラーテストページで白い縦線の入っているカラーを選択する。

   【1】**“ブラック”**（初期値）
   【2】**“シアン”**
   【3】**“マゼンタ”**
   【4】**“イエロー”**
4. 【セット】を押す。

スキャンtoEメール印刷

カラーパスワード機能（75 ページの機能#153）が**“あり”**に設定されている場合、すべての添付ファイルは自動的に白黒で印刷されます。詳細については、41ページを参照してください。

10.1 レポートメッセージ

本機のファクス送信／受信結果に関しては、次のいずれかのメッセージが通信結果レポートおよび通信履歴レポートで印刷されます（56 ページ）。

メッセージ	コード	原因および解決法
通信エラー	40-42 46-72 FF	● 送信エラーまたは受信エラーが発生しました。もう一度送信または受信を試みるか、相手先に確認してください。
	43 44	● 回線の問題が発生しました。電話機コードを別の電話回線端子に接続して、操作をやり直してください。 ● 海外通信エラーが発生しました。海外通信モードを使用してやり直してください（79 ページの機能#411）。
原稿詰まり	-----	● 詰まった原稿を取り除いてください（129 ページ）。
相手先ファクスのエラー	53 54 59 70	● 相手側のファクス機に問題があるため、送信エラーまたは受信エラーが発生しました。相手先に確認してください。
迷惑ファクス拒否	-----	● 本機の迷惑ファクス防止機能によりファクスの受信が拒否されました。
メモリーが一杯です	-----	● 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになりました。用紙をセットするか（16 ページ）、または詰まっている用紙を取り除いてください（124 ページ）。 ● 機能#442が **“常時”**（82 ページ）に設定されている場合、本機とコンピューター間の接続を確認してください。 ● 機能#448が **“あり”**（82 ページ）に設定されている場合、メモリーは受信したファイルでいっぱいです。ファイルを表示、印刷、または保存し、不必要なファイルを消去してください（67 ページ）。
原稿なし／原稿給紙エラー	-----	● 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿をセットし直して、やり直してください。
相手先ファクス応答なし	-----	● 相手側のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。後でもう一度やり直してください。 ● 相手側のファクス機の呼び出し回数が多すぎます。ファクスを手動で送信してください（55 ページ）。 ● 相手側の機器はファクス機ではありません。相手先に確認してください。 ● ダイヤルした番号は現在使用されていません。
‘ストップ’ キーが押されました	-----	● 【ストップ】が押されて、ファクス通信が中止されました。
カバーが開けられました	-----	● 前カバーまたは左カバーが開けられました。カバーを閉じて、やり直してください。

メッセージ	コード	原因および解決法
正常終了	-----	● ファクスの送信または受信は成功しました。

10.2 ディスプレイメッセージ

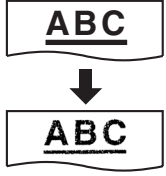
本機の状態に関しては、次のいずれかのメッセージがディスプレイに表示されます。

ディスプレイ	原因および解決法
“アクセスエラーです”	● SDカードへのアクセスが正しく機能しませんでした。【ストップ】を押してメッセージを消去するか、SDカードをいったん取り出してやり直してください。
“コールサービス”	● 本機に不具合があります。弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“トナーがありません　交換してください” **“交換してください　ブラック トナー　：ありません”**	● トナーカートリッジの寿命が切れています（9 ページ）。トナーカートリッジをただちに交換してください。 **お知らせ** ● **“ブラックトナー”**：ブラックトナー ● **“シアントナー”**：シアントナー ● **“マゼンタトナー”**：マゼンタトナー ● **“イエロートナー”**：イエロートナー
“トナーが少ないです　交換してください” **“交換してください　ブラック トナー　：少ないです”**	● トナーカートリッジの寿命が残りわずかです（9 ページ）。トナーカートリッジを早めに交換してください。 **お知らせ** ● **“ブラックトナー”**：ブラックトナー ● **“シアントナー”**：シアントナー ● **“マゼンタトナー”**：マゼンタトナー ● **“イエロートナー”**：イエロートナー
“廃トナーカートリッジを交換して下さい”	● 廃トナーカートリッジの寿命が切れています。廃トナーカートリッジをただちに交換してください（10 ページ）。
“廃トナーが満杯です　交換してください”	● 廃トナーカートリッジの寿命が残りわずかです。廃トナーカートリッジを早めに交換してください。
“原稿を確認してください”	● 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿を取り除き、【ストップ】を押してメッセージを消去してください。原稿をセットし直してください。原稿送りが頻繁に失敗する場合、原稿搬送ローラー（131 ページ）を清掃して、やり直してください。
“トレイ1が　装着されていません”	● 給紙カセットが正しく取り付けられていません。給紙カセットを引き出して、取り付け直してください。 **お知らせ** ● **“トレイ1”**：標準カセット ● **“トレイ2”**：増設カセット ● **“トレイ1, 2”**：標準カセットおよび増設カセット
“用紙を確認してください”	● 封筒またははがきに印刷しています。標準カセットを確認し、封筒またははがきがセットされていることを確認してから、【モノクロ】/【カラー】を押してください。 ● 用紙サイズがコピー用に選択されたサイズと異なっています。用紙サイズ設定を変更し（76 ページの機能#380または77 ページの機能#382)、適切な用紙をセットしてください。 ● 用紙サイズがコンピューターからの印刷時に選択されたサイズと異なっています。用紙サイズ設定を変更し（76 ページの機能#380または77 ページの機能#382)、適切な用紙をセットしてください。 ● 用紙サイズがファクス受信用に選択されたサイズと異なっています。用紙サイズ設定を変更し（76 ページの機能#380または77 ページの機能#382)、適切な用紙をセットしてください。

ディスプレイ	原因および解決法
“トレイ1の　用紙を給紙できません”	● 用紙が本機に正しく引き込まれませんでした。用紙をセットし直してください（128 ページ）。 **お知らせ** ● **“トレイ1”**：標準カセット ● **“トレイ2”**：増設カセット
“カラードラム　まもなく交換時期” **“モノクロドラム　まもなく交換時期”**	● ドラムカートリッジの寿命が残りわずかです。ドラムカートリッジを早めに交換してください。
“カラードラム　交換してください” **“モノクロドラム　交換してください”**	● ドラムカートリッジの寿命が切れています。ドラムカートリッジをただちに交換してください。 **お知らせ** ● 古いドラムカートリッジを使い続けると、不具合の原因になることがあります。これを防止するため、ドラム寿命が切れると、本機はしばらくして印刷を停止します。この場合、ドラムカートリッジを新品に交換するまで、印刷できません。
“定着器冷却中です”	● 定着部を冷却しています。しばらくお待ちください。
“電話帳が一杯です”	● 電話帳に新規項目を保存する領域がありません。不要な項目を消去してください（57 ページ）。
“ドラム　未装着です” **“ドラムが　装着されていません”**	● ドラムカートリッジ（カラー）またはドラムカートリッジ（モノクロ）が装着されていません。装着してください（11 ページ）。
“Eメールサイズオーバー” **“メールサイズが大きすぎます”**	● スキャンtoEメールアドレスを実行するとき、スキャンしたデータの総ファイルサイズがファイルサイズ制限を超えました。ファイルを分割してください。
“ファクス受信データあり”	● 本機のメモリーに受信ファクスがあります。残りの表示メッセージを参照して、ファイルを印刷してください。 ● 機能#442（82 ページ）が **“常時”** に設定されている場合、 – 本機とコンピューター間の接続を点検してください。 – コンピューターが作動していることを確認してください。 ● 機能#448（82 ページ）が **“あり”** に設定されている場合、 – 受信したファクスを表示、印刷、または保存し（65、66 ページ）、不必要なファイルを消去してください（67 ページ）。 – 設定を **“なし”** にしてください。メモリーに保存されているファクスは自動的に印刷されます。 – 機能#449（83 ページ）を **“あり”** に設定し、受信したファクスを印刷してください（66 ページ）。
“ファイルサイズオーバー” **“ファイルが大きすぎます”**	● スキャンtoFTPサーバーまたはスキャンtoSMBフォルダーを実行するとき、スキャンしたデータの総ファイルサイズがファイルサイズ制限を超えました。ファイルを分割してください。 ● FTPサーバー上のファイルを印刷するとき、総印刷ファイルサイズがファイルサイズ制限を超えました。ファイルを分割してください。
“前面または左側の　カバーが開いています”	● 前カバーまたは左カバーが開いています。カバーを閉じてください。
“コピー動作待機中です”	● コピーが停止しました（例：用紙切れ、または用紙詰まり）。残りの表示メッセージを参照して、コピーを続けてください。
“印刷動作待機中です”	● ダイレクトプリントが停止しました（例：用紙切れ、または用紙詰まり）。残りの表示メッセージを参照して、印刷を続けてください。

ディスプレイ	原因および解決法
“室温が低すぎます　室温を上げてください” **“室温が低すぎます”**	● 本機の内部温度が著しく低下しているため、操作できません。暖かい場所で使用してください。
“メモリーが一杯です”	● メモリー送信中に、保存中のファイルが本機のメモリー容量を超えました。すべての原稿を手動で送信してください。 ● コピー中に、保存中のファイルが本機のメモリー容量を超えました。【ストップ】を押してメッセージを消去してください。ファイルを分割してください。
“メモリーオーバーフロー”	● ファイルの印刷中に、保存中のファイルが本機のメモリー容量を超えました。【ストップ】を押してメッセージを消去してください。プリンター設定を変更してください（34 ページ）。
“モデムエラーです”	● 本機のモデムに不具合があります。弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“ファクス応答なし”	● 相手側のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。後でもう一度やり直してください。
“印刷できるデータがありません”	● SDカードまたはFTPサーバー上に印刷可能なデータがありません。サポートされている形式でデータを保存してください。
“サポートしていない形式です”	● SDカードのファイルはサポートされていない形式です。サポートされている形式を使用してください（38 ページ）。 ● SDカードが正しくフォーマットされていません。データをバックアップ後、コンピューターを使用し、ファイルシステムにFAT形式を選択してSDカードをフォーマットしてください。SDカードをフォーマットすると、カードに保存されているデータはすべて消去されます。
“サポートしていないメディアです”	● 挿入されているSDカードは読み込むことができませんでした。サポートされているSDカードを使用してください（101 ページ）。
“用紙がありません　トレイ1” **“トレイ1の　用紙がありません”**	● 用紙がセットされていないか、給紙カセットの用紙切れです。用紙をセットしてください（16、35 ページ）。 ● 用紙が本機に正しく引き込まれませんでした。用紙をセットし直してください（16、35 ページ）。 **お知らせ** ● **“トレイ1”**：標準カセット ● **“トレイ2”**：増設カセット ● **“トレイ1, 2”**：標準カセットおよび増設カセット
“用紙詰まりです”	● 用紙が詰まりました。残りの表示メッセージを参照して、詰まった用紙を取り除いてください（124 ページ）。
“ＰＣ接続失敗です”	● 本機とコンピューターを繋ぐケーブルが正しく接続されていません。接続を確認してください（19、27 ページ）。 ● コンピューター側に何らかの問題があります。（例：コンピューターの電源を確認してください。）
“しばらくお待ちください”	● 本機はウォームアップ中です。しばらくお待ちください。
“再ダイヤル応答なし”	● 相手側のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。後でもう一度やり直してください。
“原稿の除去が必要” **“原稿を除去してください”**	● 原稿が詰まっています。詰まった原稿を取り除いてください（129 ページ）。 ● 自動原稿送り装置を使用して送信またはコピーを試みた原稿の長さが600 mmを超えていました。【ストップ】を押して、原稿を取り除いてください。原稿を複数に分割して、やり直してください。

ディスプレイ	原因および解決法
“受信メモリー一杯です”	● 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになりました。用紙をセットするか（16 ページ）、または詰まっている用紙を取り除いてください（124 ページ）。 ● 機能#442（82 ページ）が **“常時”** に設定されている場合、 – 本機とコンピューター間の接続を点検してください。 – コンピューターが作動していることを確認してください。 ● 機能#448（82 ページ）が **“あり”** に設定されている場合、 – 受信したファクスを表示、印刷、または保存し（65、66 ページ）、不必要なファイルを消去してください（67 ページ）。 – 設定を **“なし”** にしてください。メモリーに保存されているファクスは自動的に印刷されます。 – 機能#449（83 ページ）を **“あり”** に設定し、受信したファクスを印刷してください（66 ページ）。
“同一名のファイルが存在します”	● SDカードのフォルダーには、同一名のファイルが既に存在しています。残りの表示メッセージを参照して、データの保存を続けてください。
“スキャナー位置の　エラーです”	● スキャナー位置が正しくありません。電源スイッチをいったんオフにしてから、オンに戻してください。問題を解決できない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“SDの空容量不足” **“SDカードの空容量が不足しています”**	● SDカードに新しいデータを保存する領域がありません。不要なデータを消去してください。
“SDカードが挿入されていません”	● SDカードが本機から抜かれています。SDカードを挿入し直してください（101 ページ）。 ● 本機にSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください（101 ページ）。
“書き込み禁止です”	● SDカードの書き込み防止スイッチがロック位置になっています。ロックを解除して、書き込み可能な状態にしてください（101 ページ）。
“キャリブレーション中です”	● 色ずれ補正の変更中です。しばらくお待ちください。
“通信エラーです”	● 送信エラーが発生しました。もう一度やり直してください。
“トナーカートリッジが　装着されていません”	● トナーカートリッジが装着されていません。装着してください（11 ページ）。
“トレイ2左側の　カバーが開いています”	● 増設カセットの左カバーが開いています。カバーを閉じてください。
“廃トナー　未装着です” **“廃トナーカートリッジが　装着されていません”**	● 廃トナーカートリッジが装着されていません。装着してください（10 ページ）。

10.3 正しく機能しないとき

10.3.1 全般

問題	原因および解決法
本機が動作しない。	● 接続を確認してください（19、27 ページ）。
用紙排出部がすぐにいっぱいになる、または用紙が用紙排出部に正しく積み重ならない。	● 湿度が高いと、用紙がカールすることがあります。用紙の向きを変えて、セットし直してください。用紙のカールがひどい場合、その用紙を用紙排出部から取り出してください。問題が解消されない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
電話帳に保存されている項目の表示や音量の調整ができない。	● 本機がスキャンモード、コピーモード、またはプリントモードのいずれかに設定されています。**【ファクス】**を押してモードを切り替えてください。問題が解消されない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
PCファクスおよびリモートコントロールの使用中に印刷エラーが表示される。	● PCファクスおよびリモートコントロールでは、プリンタードライバーが使用されます。送信エラーは印刷エラーとして表示されます。
Multi-Function Stationが正しく機能しない。	● USBケーブルがUSBハブに接続されている場合、USBケーブルをコンピューターのUSBポートに直接接続してください。 ● お使いのコンピューターにインストールされているWindowsに最新版のService Packが適用されていることを確認してください。詳細については、MicrosoftのWebサイトをご覧ください。 ● コンピューターにその他の多機能ソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールしてください。 ● コンピューターに十分なメモリーとハードディスク空き領域があることを確認してください。コンピューターでメモリー不足の警告が表示された場合、その他のアプリケーションを終了してください。ハードディスクに十分な空き領域がない場合、不要なファイルを消去してください。 ● Multi-Function Stationをいったんアンインストールしてから、インストールし直してください。
Multi-Function Stationをインストールまたはアンインストールできない。	● Multi-Function Stationのインストールまたはアンインストールに必要なファイルのいくつかが壊れている可能性があります。MfsCleanerユーティリティ（付属のCD-ROMに収録）を使用して、問題を解決してください。 **1.** 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。 ● セットアッププログラムが自動的に始まります。 **2.** ［ツール］→［削除ツール］ ● ［MfsCleaner］ウィンドウが表示されます。 **3.** ［削除］をクリックし、［はい］をクリックしてコンピューターを再起動する。 **お知らせ** ● Multi-Function Stationを再インストールする方法については、26 ページを参照してください。
Multi-Function Stationで電子取扱説明書を表示できない。	● 事前にコンピューターに電子取扱説明書をインストールしてください（28 ページ）。

問題	原因および解決法
次の機能を操作しているときに、［対象装置］または［装置選択］ダイアログボックスで本機を見つけられない。 **スキャン** **リモートコントロール** **PCファクス** **デバイスモニター**	● プリンタードライバーがインストールされていません。プリンタードライバーをコンピューターにインストールしてください（26 ページ）。
リモートコントロールでの機能設定に必要なパスワードを忘れた。	● 機能設定用パスワードを変更した可能性があります。パスワードを忘れた場合、機能#155を使用して新しいパスワードを割り当ててください（75 ページ）。現在のパスワードを入力する必要がある場合、代わりに **"0101"** と入力してください。
カラー印刷に必要なパスワードを忘れた。	● カラー印刷用パスワードを変更した可能性があります。パスワードを忘れた場合、機能#153を使用して新しいパスワードを割り当ててください（75 ページ）。現在のパスワードを入力する必要がある場合、代わりに **"0101"** と入力してください。
Eメール関連機能が正常に動作しない。	● Eメールの送受信でSSL暗号化技術が必要な環境では、Eメールサーバーやシステム設定が別途必要となることがあります。

10.3.2 印刷に関する問題

問題	原因および解決法
白黒で印刷できない。 **または** **カラーで印刷できない。**	● 本機をプリンターとして使用する場合、［品質］タブでカラーモードを変更してください（34 ページ）。 ● 封筒またははがきに印刷する場合、【モノクロ】/【カラー】を押しても、印刷色はカラーモード設定に従います。 ● 本機をプリンターとして使用する場合 － 白黒で印刷するときは、白黒プリンターを選択します。 － カラーで印刷するときは、カラープリンターを選択します。 ● ダイレクトプリントを行う場合 － 白黒で印刷するときは、【モノクロ】を押します。 － カラーで印刷するときは、【カラー】を押します。 ● 本機をコピーとして使用する場合 － 白黒でコピーするときは、【モノクロ】を押します。 － カラーでコピーするときは、【カラー】を押します。 ● 本機をファクスとして使用する場合、カラーファクスの送受信はできません。 ● 空になっているカラートナーカートリッジがあります。表示メッセージに従って、空のトナーカートリッジを交換してください。シアン、マゼンタ、イエローが空でも、白黒では印刷することができます。
FTPサーバー上のファイルを印刷できない。	● FTPサーバー情報が設定されていません。事前にFTPサーバー情報の設定を行ってください（94 ページ）。 ● ファイルが大きすぎるか、ファイル形式がサポートされていません。サポートされているファイル形式を使用してください（40 ページ）。
カラー印刷が暗すぎる、または明るすぎる。	● 濃度を調整してください（100 ページ）。
印刷した文書に白い縦線が入る。	● ドラムカートリッジが原因である可能性があります。カラーテスト、テストプリントページの順序で印刷して、ドラムカートリッジを清掃してください（133 ページの機能#480）。

問題	原因および解決法
印刷品質が低い(にじみ、点または線のぼけなど)。 ABC ↓ ABC	● 用紙によっては、推奨される印刷面があります。試しに用紙を裏返して印刷してください。 ● 使用した用紙は綿または繊維の含有率が20 %を超えている可能性があります(レターヘッドのある用紙や履歴書用紙など)。 ● 用紙が湿りすぎています。新しい用紙を使用してください。
用紙を変更したが、印刷品質が良くならない。	● ガラスまたはローラーが修正液などで汚れています。ガラスまたはローラーを清掃してください(130、131 ページ)。修正液が完全に乾かないうちに原稿をセットしないでください。 ● 用紙搬送ガイドがトナーなどで汚れています。清掃してください(132 ページ)。 ● 機能#482のトナーセーブモードがありになっています(78 ページ)。 ● 本機が原因ではない可能性があります。テストプリントリストを印刷して、問題を特定してください(133 ページ)。
白紙が排出される。	● 原稿の裏表を逆にしてコピーしました。 ● 相手側がファクス機に原稿を裏表逆にセットして送信しました。相手先に確認してください。
本機をプリンターとして使用したとき、印刷結果がゆがんでいる。	● USBケーブルで本機とコンピューターを接続しているとき、コンピューター側で印刷を中止して、すぐに印刷を行うと印字結果がゆがむことがあります。これを避けるためには、再度印字する前に60秒お待ちください。
PCLドライバーを使用したい。	● PCLドライバーは、次の手順に従ってインストールしてください。 **1.** Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。 **2.** [変更] → [PCLプリンタードライバーの追加]。画面の指示に従う。
プリンタードライバーを使用して自動両面印刷を指定したが、片面だけ印刷される。	● 自動両面印字ユニット(オプション)を取り付けてください(104 ページ)。

10.3.3 スキャナー

問題	原因および解決法
スキャンできない。	● 高画質でスキャンする場合、利用可能なメモリー容量を十分に確保する必要があります。コンピューターでメモリー不足の警告が表示された場合、その他のアプリケーションを終了して、やり直してください。 ● 本機は使用中です。後でもう一度やり直してください。 ● ハードディスクに十分な空き領域がない。不要なファイルを消去して、やり直してください。 ● 本機とコンピューター間の接続を点検してください(19、27 ページ)。 ● コンピューターを再起動して、やり直してください。 ● 設定した用紙サイズよりも長い原稿をスキャンしようとしました。設定を変更するか、原稿を適切な用紙サイズに分割してやり直してください。
白黒でスキャンできない。 または カラーでスキャンできない。	● 白黒でスキャンするには、【モノクロ】を押してください。カラーでスキャンするには、【カラー】を押してください。

問題	原因および解決法
本機をスキャナーとして使用するときに、原稿が本機に送り込まれない。	● 自動原稿送り装置の原稿をいったん取り出し、原稿をセットし直してください。
［キャンセル］をクリックした後も、スキャンが継続される。	● しばらくお待ちください。中止要求が受け入れられるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
本機で原稿をスキャンするときに、本機に目的のコンピューターの名前が表示されない（LAN接続のみ）。	● プリンタードライバーがインストールされていません。プリンタードライバーをコンピューターにインストールしてください（26 ページ）。 ● コンピューター名リストアップ機能が［オフ］に設定されています。［PC名を装置に表示］を［オン］に設定してください（29 ページ）。 ● LAN上の最大許容数のコンピューターが本機に接続されています（30台まで）。その他のコンピューターで［PC名を装置に表示］を［オフ］に設定してください（29 ページ）。 ● 本機のIPアドレスが変更されている可能性があります。IPアドレスを検出するには、次の順序で操作してください。 ● ［スタート］→［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Panasonic］→本機の名前→［IPアドレスチェッカー］ ● 本機のIPアドレスが検出されます。

10.3.4 コピー

問題	原因および解決法
コピーできない。	● 機能設定中はコピーできません。機能設定の終了後、コピーしてください。 ● 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿をセットし直してください。 ● 用紙がセットされていないか、給紙カセットの用紙切れです。用紙をセットしてください（16 ページ）。
コピーされた文字が鮮明でない。	● 原稿が暗すぎるか、明るすぎます。読取濃度を変更して（48 ページ）、やり直してください。
コピーされた文書が暗すぎて読めない。	● 原稿にカラー用紙が使用されています。読取濃度を変更し（48 ページ）、**“文字”**読取画質（48 ページ）を使用して薄めにコピーしてください。

10.3.5 ファクス

問題	原因および解決法
ファクスを送信できない。	● 電話機コードが本機の［外部電話］端子に接続されています。［回線］端子に接続してください（19 ページ）。 ● 相手側のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。もう一度やり直してください。 ● 相手側の機器はファクス機ではありません。相手先に確認してください。 ● 相手側のファクス機がファクスに自動応答しませんでした。ファクスを手動で送信してください（55 ページ）。 ● ファクス通信速度を**“14.4kbps”**に設定してください（80 ページの機能#418）。
ファクスを海外に送信できない。	● 海外通信モードを使用してください（79 ページの機能#411）。 ● 電話番号の終わりにポーズを2回追加するか、手動でダイヤルしてください。

問題	原因および解決法
受信したファクスの文字がゆがんでいるという苦情が相手先から届いた。	● 電話回線でキャッチホンなどの特別電話サービスをご利用の場合、ファクス送信中にそのサービスが起動した可能性があります。このようなサービスを利用していない回線に本機を接続してください。 ● 同じ回線にある別の電話の受話器が外れています。内線電話の受話器を置いて、やり直してください。
受信したファクスの品質に関して、相手先から苦情があった。	● 試しに原稿をコピーしてみてください。コピーされたイメージが鮮明である場合、相手側のファクス機に問題がある可能性があります。 ● コピーされたイメージが鮮明でない、暗すぎる、または白黒線やにじみが現れる場合、115 ページ「10.3.2印刷に関する問題」を参照してください。 ● 原稿が暗すぎるか、明るすぎます。読取濃度を変更して（55 ページ）、やり直してください。
受信したファクスが暗すぎて読めないという苦情が相手先から届いた。	● 原稿にカラー用紙が使用されています。読取濃度を変更し（55 ページ）、**“文字”**読取画質（55 ページ）を使用して薄めにコピーしてから、やり直してください。
ファクスを受信できない。	● 電話機コードが本機の［外部電話］端子に接続されています。［回線］端子に接続してください（19 ページ）。 ● 機能#442が有効になっており、受信したファクスは自動的にコンピューターに転送されています。コンピューターを使用して、受信したファクスを表示させてください（69 ページ）。 ● 機能#448が有効になっており、受信したファクスは自動的にメモリーに保存されています。受信したファクスをディスプレイに表示させてください（65 ページ）。 ● ファクス通信速度を**“14.4kbps”**に設定してください（80 ページの機能#418）。
ファクスの全文書を受信できない。	● ファクス自動Eメール転送（83 ページの機能#452）が有効になっています。この場合、最大8 MBまでしかファクスを受信できません。この機能を無効にして、相手先にファクス再送信を依頼してください。
ファクスを自動受信できない。	● 受信モードが手動受信モードに設定されています。ファクス専用モードまたはファクス／電話切替モードに設定してください。 ● 着信に応答するまでの時間が長すぎます。本機が着信に応答するまでの呼び出し回数を少なくしてください（76 ページの機能#210）。
ディスプレイに“ファクス接続中です”と表示されるが、ファクスは受信されない。	● 着信がファクスではありません。手動受信モードまたはファクス／電話切替モードに設定してください。
受信したファクスの印刷品質が低い。	● コピーの品質が適切である場合、本機は正しく機能しています。送信元の原稿がかすれていたか、送信元のファクス機に問題がある可能性があります。送信元に鮮明な原稿を使用するように頼むか、ファクス機を点検するように頼んでください。 ● 適切にコピーできない場合、115 ページ「10.3.2印刷に関する問題」を参照してください。

問題	原因および解決法
送信元からファクスを送信できないという苦情が来た。	● 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになりました。用紙をセットするか（16 ページ）、または詰まっている用紙を取り除いてください（124 ページ）。 ● 機能#442が **“常時”**（82 ページ）に設定されている場合、本機とコンピューター間の接続を確認してください。 ● 機能#448が **“あり”**（82 ページ）に接続されている場合、メモリーは受信したファイルでいっぱいです。ファイルを表示、印刷、または保存し、不必要なファイルを消去してください（67 ページ）。 ● 本機がファクス専用モードになっていません。【ファクス受信モード】を繰り返し押して、【ファクス受信モード】ライトを点灯させてください。
目的の受信モードを選択できない。	● ファクス専用モードに設定したい場合 －【ファクス受信モード】を繰り返し押して、【ファクス受信モード】ライトを点灯させてください。 ● 手動受信モードまたはファクス／電話切替モードに設定したい場合 － 機能#404（79 ページ）で好みの受信モードを選択してから【ファクス受信モード】を繰り返し押して、【ファクス受信モード】ライトを消灯させてください。
内線電話が接続されている場合、【*】【#】【9】を押してもファクスを受信できない。	● 事前にリモート受信をオンにしておく必要があります（81 ページの機能#434）。 ●【*】【#】【9】を強く押してください。 ● リモート受信コードを【*】【#】【9】（初期値）から変更した可能性があります。リモート受信コード（81 ページの機能#434）を確認してください。
ダイヤル音が聞こえない。	● 電話機コードが本機の［外部電話］端子に接続されています。［回線］端子に接続してください（19 ページ）。 ● 本機の接続にスプリッタ／カプラーを使用している場合、スプリッタ／カプラーを取り外し、本機を壁面の端子に直接接続してください。本機が正しく機能する場合、スプリッタ／カプラーを点検してください。 ● 本機を電話機コードから取り外し、正常であることが確認されている電話を接続してみてください。電話が正しく機能する場合、弊社のサービス担当者に連絡して、本機の修理を依頼してください。電話が正しく機能しない場合、電話会社にご連絡ください。 ● 電源コードまたは電話機コードが接続されていません。接続を確認してください（19 ページ）。 ● コンピューターモデム経由で本機を接続している場合、本機を電話回線端子に直接接続してください。
電話できない。	● ダイヤル切替設定が正しくない可能性があります。設定を変更してください（20 ページの機能#120）。
本機の呼び出し音が鳴らない。	● 呼び出し音量がオフになっています。呼び出し音量を調整してください（23 ページ）。
ファクス音のみが聞こえて通話ができないという苦情が相手先から届いた。	● ファクス専用モードに設定されています（62 ページ）。その番号はファクス専用であることを相手先に伝えてください。
【再ダイヤル】または【ポーズ】ボタンが正しく機能しない。	● ダイヤル中にこのボタンを押すと、ポーズが挿入されます。ダイヤル音が聞こえた直後に押すと、最後にダイヤルした番号が再ダイヤルされます。

問題	原因および解決法
ボイスメールメッセージを聞こうとすると、必ずファクス音で中断される。	● 【*】【#】【9】と入力している可能性があります。これはリモート受信コードの初期値です。ボイスメールサービスを使用する場合、リモート受信機能をオフにするか、リモート受信コードを設定し直してください（81 ページの機能#434）。
コンピューターでファクスを受信できない。	● 次の機能が事前に設定されていることを確認してください。 － PCファクス受信（82 ページの機能#442） － PCファクス受信用コンピューター設定（26 ページの機能#443）
受信したファクスを表示できない。	● 見てから印刷機能を事前にありに設定しておく必要があります（82 ページの機能#448）。 ● 印刷中、コピー中、またはスキャン中には、受信したファクスを表示できません。印刷、コピー、またはスキャンの後にやり直してください。
受信したファクスを消去できない。	● 消去する前に、受信したファクスを表示または印刷してください（65 ページ）。
受信したファクスが自動的に印刷されない。	● 機能#448が有効になっており、受信したファクスは本機のメモリーに保存されています。受信したファクスをディスプレイに表示させてください（65 ページ）。

10.3.6 SDカードの使用

問題	原因および解決法
イメージが表示されない。	● 本機にSDカードが挿入されていません。サポートされているSDカードを挿入してください（101 ページ）。 ● 挿入されているSDカードは本機と互換性がありません。サポートされているSDカードを使用してください（101 ページ）。 ● SDカードにファイルが保存されていません。サポートされているファイル形式のファイルを事前にSDカードに保存してください。 ● ファイルが大きすぎるか、ファイル形式がサポートされていません。サポートされているファイル形式を使用してください（38 ページ）。
イメージが表示されるまでにかなりの時間がかかる。	● イメージのファイル形式やサイズに応じて、イメージの表示にはある程度の時間がかかります。これは正常な状態です。
データをSDカードに保存できない。	● 本機にSDカードが挿入されていません。サポートされているSDカードを挿入してください（101 ページ）。 ● SDカードの書き込み防止スイッチがロック位置になっています。ロックを解除して書き込み可能な状態にしてから（101 ページ）、やり直してください。 ● SDカードに新しいファイルを保存するための十分な空き領域がありません。不要なファイルを消去して、やり直してください。
SDカードに保存されているファイルを印刷できない。	● 本機にSDカードが挿入されていません。サポートされているSDカードを挿入してください（101 ページ）。 ● ファイル形式の異なる複数のファイルを同一ページで印刷しようとしました。継続印刷設定を有効にしてください（39 ページ）。 ● ファイルが壊れている可能性があります。試しにファイルをコンピューターで表示してください。 ● ファイルが大きすぎるか、ファイル形式がサポートされていません。サポートされているファイル形式を使用してください（38 ページ）。

10.3.7 ネットワーク

<table>
<tr><th>問題</th><th>原因および解決法</th></tr>
<tr><td>次の機能を操作できない。
– コンピューターからのプリント
– スキャン
– リモートコントロール
– PCファクス
– デバイスモニター</td><td>● LAN端子のLEDを確認してください。LEDが点灯または点滅している場合、ネットワークに正しく接続できています。
LEDが点灯または点滅していない場合、LANケーブル（カテゴリ5（CAT5）イーサネットケーブル）がLAN端子に正しく接続されていることを確認してください。
● LEDが点滅しているのに、目的の操作を実行できない場合、本機のIPアドレスが変更されている可能性があります。
IPアドレスを検出するには、次の順序で操作してください。
［スタート］→［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Panasonic］→ 本機の名前 →［IPアドレスチェッカー］
● 本機のIPアドレスが検出されます。
お知らせ
● IPアドレスを検出できない場合、IPアドレスを手動で入力してください（90 ページの機能#501）。コンピューターおよび本機のIPアドレスは、次のように、同じローカルIPアドレスクラスである必要があります。ご自分のローカルネットワークスケールに対応したクラスに指定されている数字の範囲内で、IPアドレスを設定してください。
<table><tr><th>クラス</th><th>サブネットマスク</th><th>IPアドレス</th></tr><tr><td>クラスA</td><td>255.0.0.0</td><td>10.0.0.1 -
10.255.255.254</td></tr><tr><td>クラスB</td><td>255.255.0.0</td><td>172.xx.0.1 -
172.xx.255.254*1</td></tr><tr><td>クラスC</td><td>255.255.255.0</td><td>192.168.xx.1 -
192.168.xx.254*2</td></tr></table>*1 次の例のように、“xx”は本機とコンピューターで同じ値になる必要があります。
例：172.16.0.1 - 172.16.255.254
（“xx”の使用可能範囲は16 - 31です）
*2 次の例のように、“xx”は本機とコンピューターで同じ値になる必要があります。
例：192.168.0.1 - 192.168.0.254
（“xx”の使用可能範囲は0 - 255です）
● 使用中のファイアウォールソフトウェアで接続が遮断されています。
ファイアウォールソフトウェアを無効にするか、Multi-Function Stationが正しく機能できるようにファイアウォール設定を変更してください。
● LAN機能は、本機とコンピューターが同じネットワークセグメントに接続されている場合にのみ使用できます。ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ネットワーク管理者にご相談ください。</td></tr>
</table>

問題	原因および解決法
Multi-Function Stationをインストールするときに、本機が［ネットワーク接続装置の選択］ダイアログボックスに表示されない。	● 使用中のファイアウォールソフトウェアで接続が遮断され、セットアッププログラムでデバイスが全く一覧表示されないことがあります。ネットワーク管理者に連絡して、ファイアウォールソフトウェアを一時的に無効にしてください。 ● 本機が別のネットワークセグメントに接続されており、セットアッププログラムでデバイスが全く一覧表示されないことがあります。ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ネットワーク管理者にご相談ください。
Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）のインストール後に、［Windowsセキュリティの重要な警告］ダイアログボックスが表示されて、［PCCMFLPD］をブロックするか尋ねるメッセージが表示され、次の機能を操作できない。 **－ コンピューターからのプリント** **－ スキャン** **－ リモートコントロール** **－ PCファクス** **－ デバイスモニター**	● ［ブロックする］をクリックして、Windows ファイアウォール設定ツールを実行し、Multi-Function Stationのデータ送信を許可してください（123 ページ）。

10.3.8 留守番電話の使用

問題	原因および解決法
ファクスを自動受信できない。	● 留守番電話の応答メッセージが長すぎます。メッセージを短くしてください。長さが10秒未満のメッセージを録音してください。 ● 留守番電話の呼び出し回数が多すぎます。1回または2回に設定してください。
音声メッセージを受信できない。	● 留守番電話がオンで、本機に正しく接続されているか点検してください（67 ページ）。 ● 留守番電話の呼び出し回数を1回または2回に設定してください。
リモートアクセスコードを押して留守番電話へのリモートアクセスを試みたが、接続が切断された。	● コードに“#”が含まれている可能性があります。この記号は、電話会社から提供されている一部の機能に使用されます。留守番電話のコードを、“#”の含まれていない別の番号に変更してください。
発信元からファクスを送信できないという苦情が来た。	● 留守番電話のメモリーに、音声メッセージを録音するための空きが残っていない。留守番電話の取扱説明書を参照して、不必要なメッセージを消去してください。 ● 応答メッセージの再生だけを行うように留守番電話を設定しています。

10.3.9 停電が発生した場合

- 本機は機能しません。
- メモリーに保存されているファイル（コピー中、コンピューターからのプリント中、ファクス送信中、またはファクス受信中）は失われます。
- 本機は、停電発生時に緊急通報するように設計されていません。緊急サービスへの連絡には、別の方法を使用する必要があります。
- ファクスの送受信は中断されます。

- 電力が復旧すると、メモリー内のどのファクス項目が消去されたかわかるように、停電レポートが印刷されます。

10.3.10 Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）/Windows Vista/Windows 7ユーザー向けのファイアウォール設定ツール（LAN接続のみ）

Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）/Windows Vista/Windows 7をインストールすると、Windows ファイアウォール機能が有効になり、接続を遮断するために次の機能が使用できなくなります。
– デバイスモニター
– LPD Manager（ネットワーク通信ツール）
Windows ファイアウォール設定ツールを使用すると、Windows ファイアウォールのセキュリティ設定を変更できるため、上記の機能を正しく使用できるようになります。

1 本機の付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- [言語の選択] ダイアログ画面が表示された場合、このソフトウェアで使用する言語を選択してください。[OK] をクリックする。

2 [ツール] → [Windowsファイアウォール設定]
- [Windows ファイアウォール設定ツール] ウィンドウが表示されます。

3 [例外リストに追加] → [OK] → [OK]

セキュリティ設定を確認する（Windows XPユーザー向け）

1. [スタート] → [コントロール パネル] → [セキュリティ センター]
   - [Windows セキュリティ センター] ウィンドウが表示されます。
2. [Windows ファイアウォール]
   - [Windows ファイアウォール] ダイアログ画面が表示されます。
3. [例外] タブをクリックする。
4. [Panasonic Trap Monitor Service] および [Panasonic LPD] が [プログラムおよびサービス] リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

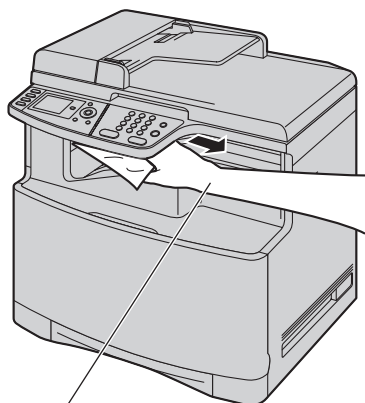
セキュリティ設定を確認する（Windows Vistaユーザー向け）

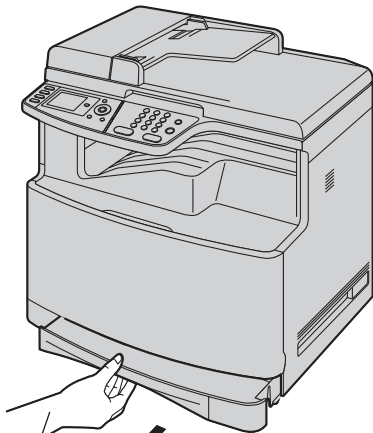
1. [スタート] → [コントロール パネル] → [セキュリティ センター]
2. [Windows ファイアウォール]
   - [Windows ファイアウォール] ダイアログ画面が表示されます。
3. [設定の変更]
   - [ユーザーアカウント制御] ダイアログ画面が表示されます。
4. [続行]
5. [例外] タブをクリックする。
6. [Panasonic Trap Monitor Service] および [Panasonic LPD] が [プログラムまたはポート] リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

セキュリティ設定を確認する（Windows 7ユーザー向け）

1. [スタート] → [コントロール パネル] → [システムとセキュリティ] → [Windows ファイアウォール] → [詳細設定]
   - [セキュリティが強化されたWindowsファイアウォール] ウィンドウが表示されます。
2. [受信の規則]
3. [Panasonic Trap Monitor Service]、[Panasonic LPD Manager] および [Panasonic LPD] が [受信の規則] リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

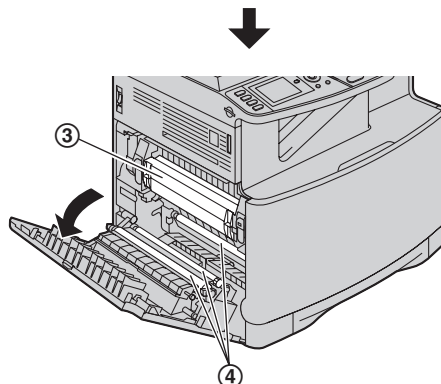
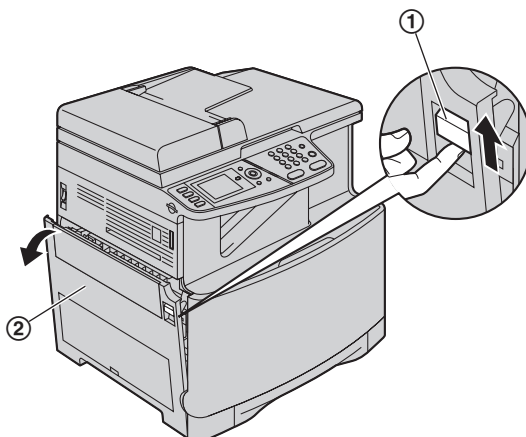
11.1 用紙詰まり

お知らせ
- **左カバーを開けずに、詰まった用紙を無理に引き出さないでください。**

お願い
無理に引き出さないでください。

- **給紙カセットを開けないでください。詰まった用紙が引っ張られて、紙詰まりがさらにひどくなることがあります。**

お願い
開けないでください。

11.1.1 本機の内部に用紙が詰まった場合

ディスプレイに次のように表示されます。
– “用紙詰まりです”
“左側のカバーを”
“開けてください”
“高温注意”
– “用紙詰まりです”
↕
“左カバーを開けて　高温注意”

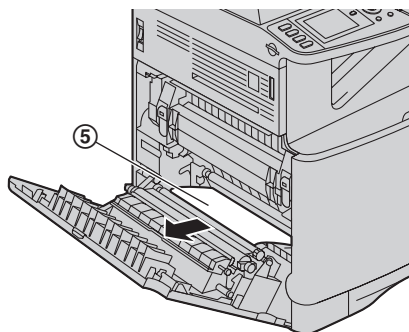
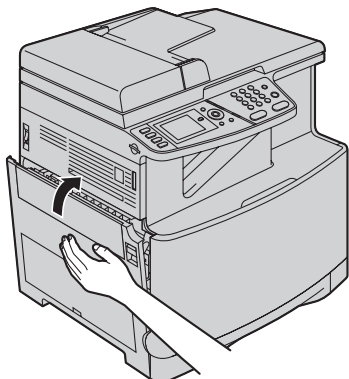
1 リリースレバー（①）を押し上げて、左カバー（②）を開ける。

お知らせ
- **印刷中または印刷直後、定着部（③）は高温になっています。詰まった用紙を取り除く前に、定着部が冷えるまでお待ちください。**

お知らせ
- ローラー（④）には触れないでください。

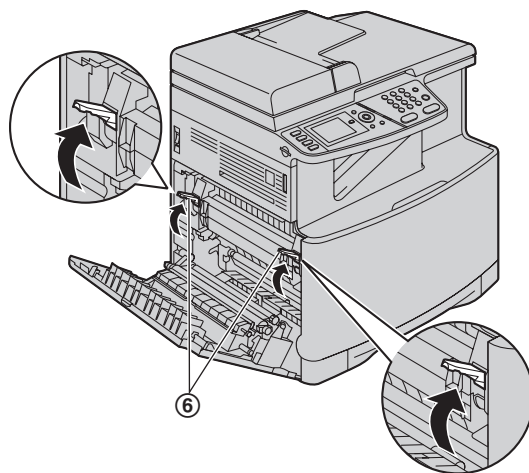
2 詰まった用紙を取り除く。

事例1

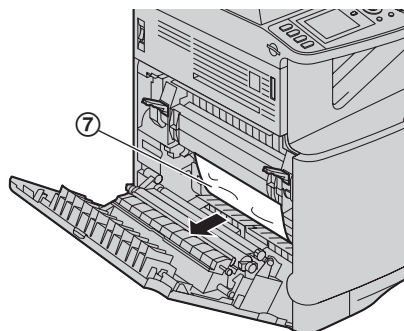
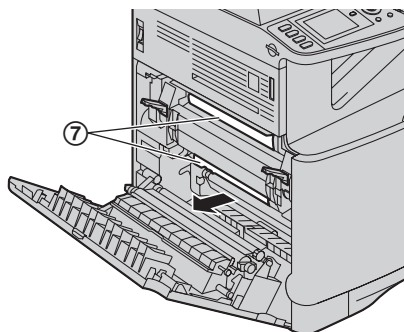
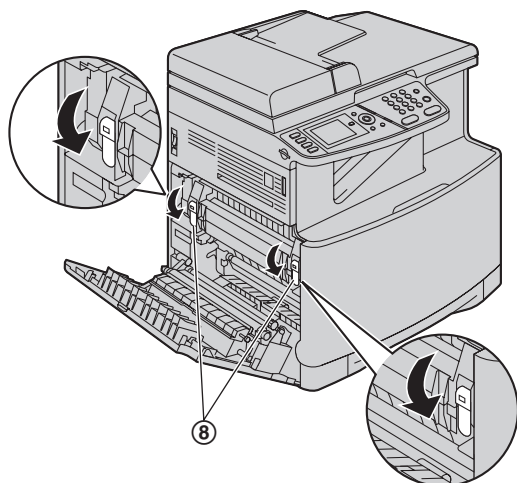
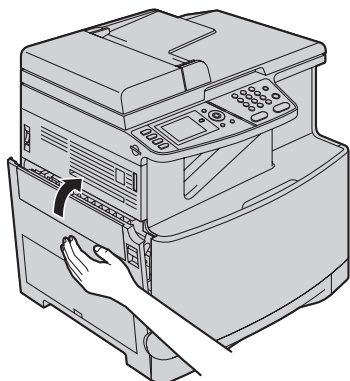
ローラー付近で用紙が詰まった場合

1. 詰まった用紙（⑤）を手前に引っ張って、慎重に取り除く。

2. 左カバーを閉じる。

事例2

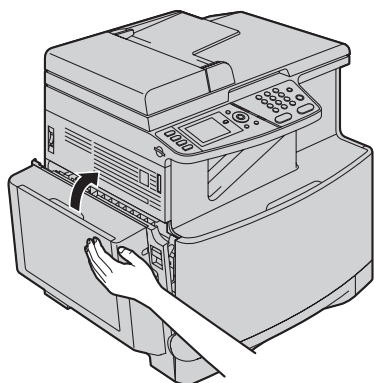
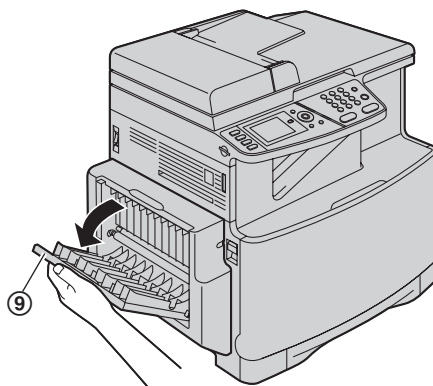
定着部付近で用紙が詰まった場合

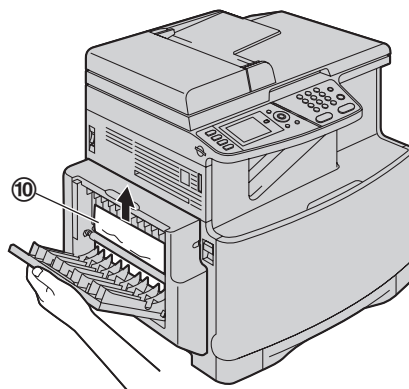
1. 両方の緑レバー（⑥）を止まる位置まで持ち上げる。

2. 詰まった用紙（⑦）を手前に引っ張って、慎重に取り除く。

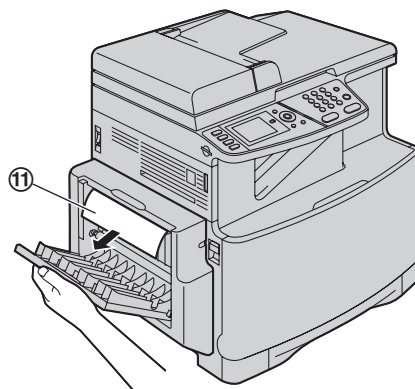
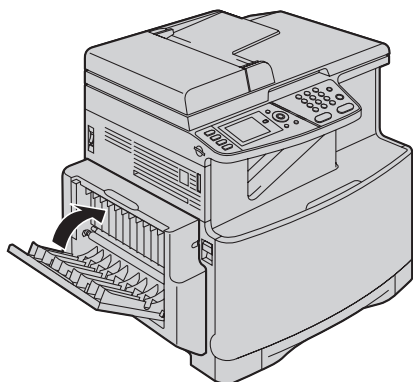
例1

例2

3. 緑レバー（⑧）を押して、元の位置に戻す。

4. 左カバーを閉じる。

事例3

自動両面印字ユニット（オプション）の内側に用紙が詰まった場合

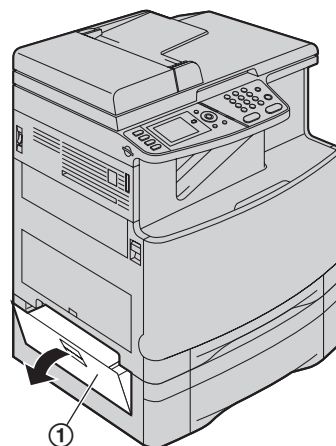
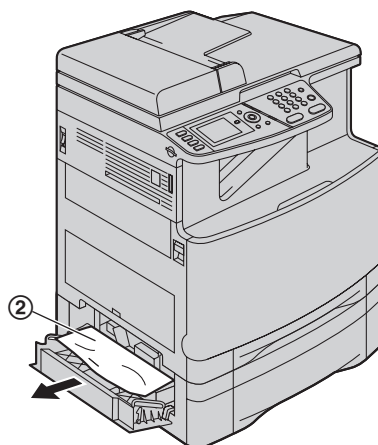
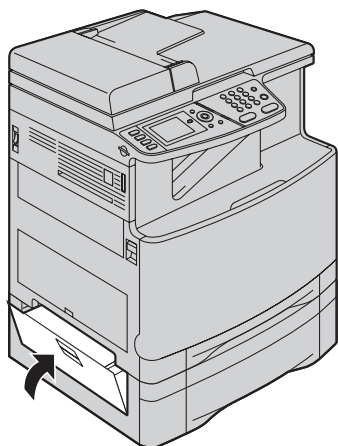
1. 左カバーを閉じる。

2. 自動両面印字ユニットカバー（⑨）を開ける。

3. **ローラー付近で用紙が詰まった場合**

   自動両面印字ユニットカバーを開けたまま保持し、詰まった用紙（⑩）を上方向に引っ張って、慎重に取り除く。

   自動両面印字ユニットの用紙排出部付近に用紙が詰まった場合

   自動両面印字ユニットカバーを開けたまま保持し、詰まった用紙（⑪）を手前に引っ張って、慎重に取り除く。

4. 自動両面印字ユニットカバーを閉じる。

11.1.2 増設カセット付近で用紙が詰まった場合

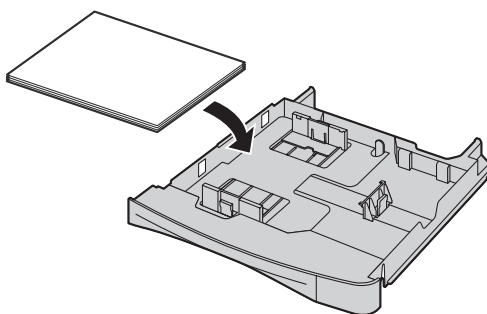
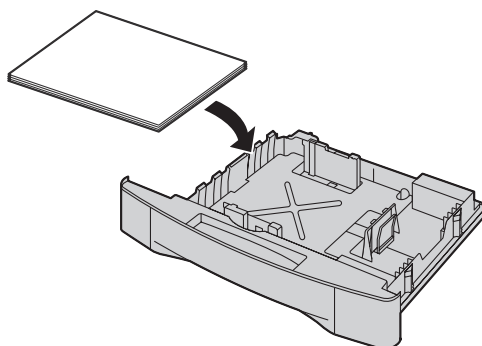
ディスプレイに次のように表示されます。

– **"用紙詰まりです"**
  "トレイ2左側の"
  "カバーを開けて"
  "ください"
– **"用紙詰まりです"**
  ↕
  "トレイ2左側のカバーを"
  "開けてください"

1 増設カセットの左側にあるカバー（①）を開ける。

2 詰まった用紙（②）を取り除く。

3 増設カセットの左側にあるカバーを閉じる。

11.1.3 用紙が本機に正しく引き込まれなかった場合

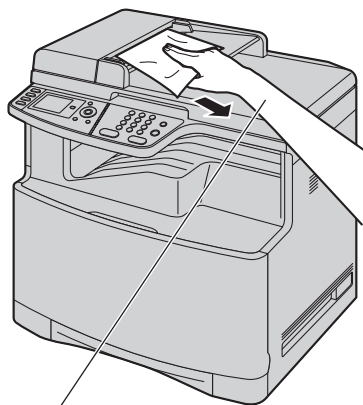
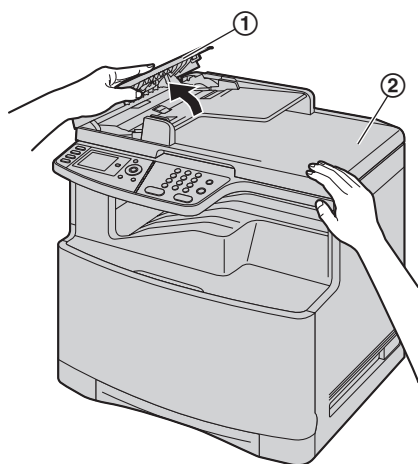
ディスプレイに次のように表示されます。
– **“トレイ1の用紙を給紙できません”**（標準カセット）
– **“トレイ2の用紙を給紙できません”**（増設カセット）

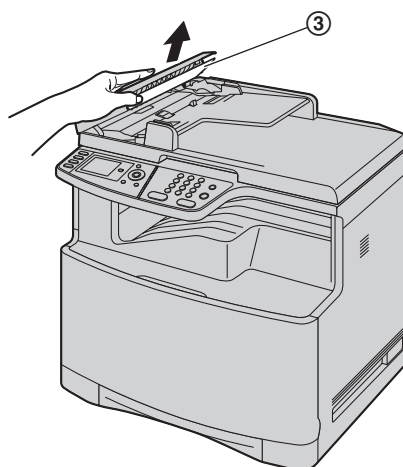
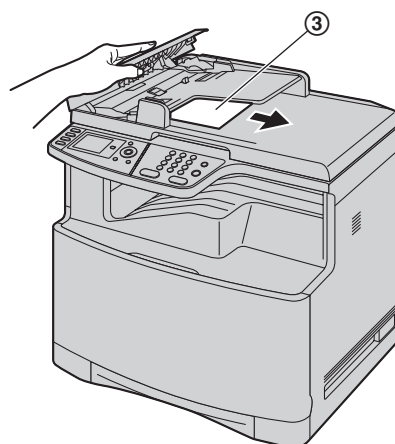
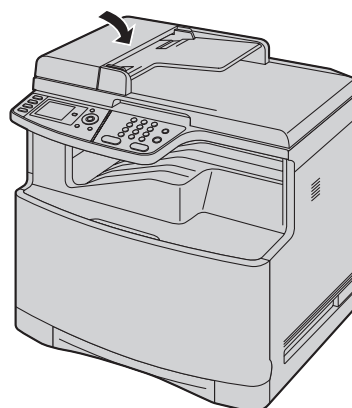
1 所定の位置にカチッと入るまで給紙カセットを引き出し、カセットの前部を持ち上げて完全に引き出す。用紙を取り出し、まっすぐに揃える。

2 用紙をセットし直す。
標準カセット

増設カセット

3 給紙カセットの前部を持ち上げながら、給紙カセットを本機に挿入する。給紙カセットを奥まで完全に押し込む。

お知らせ
- メッセージが表示され続ける場合、用紙の仕様を点検してから、用紙をセットし直してください。詳細については、16 ページおよび104 ページを参照してください。

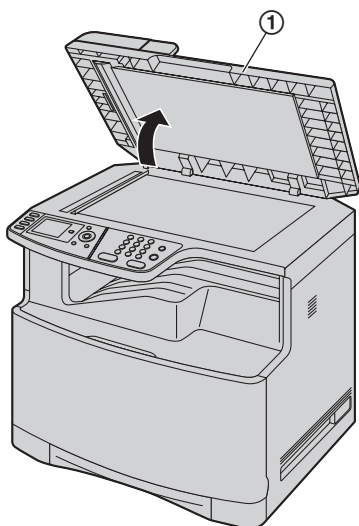
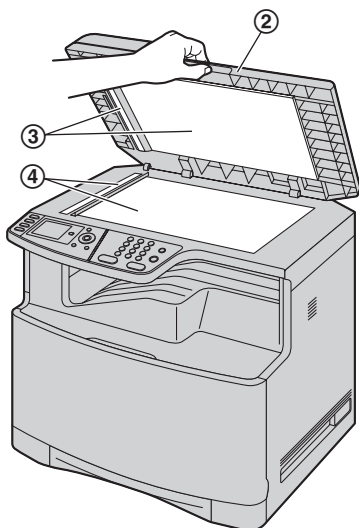
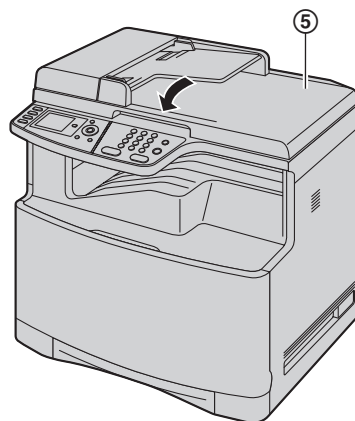
11.2 原稿詰まり（自動原稿送り装置）

お知らせ
- **ADFカバーを開けずに、詰まった原稿を無理に引き出さないでください。**

1 ADF（②）を保持した状態で、ADFカバー（①）を開ける。

2 詰まった原稿（③）を慎重に取り除く。

原稿挿入部付近で原稿が詰まった場合

原稿排出部付近で原稿が詰まった場合

3 ADFカバーを閉じる。

12.1 白ガイド／白板とガラスを清掃する

次の表面に黒線、白線、または汚れた模様が現れた場合、白ガイド／白板とガラスを清掃してください。
－ 用紙
－ 原稿
－ スキャンされたデータ
－ 相手先から受信したファクス文書

お知らせ
- **清掃には、ペーパータオルやティッシュペーパーなどの紙用品を使用しないでください。**

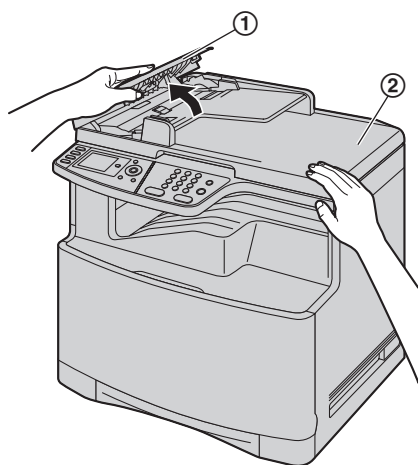
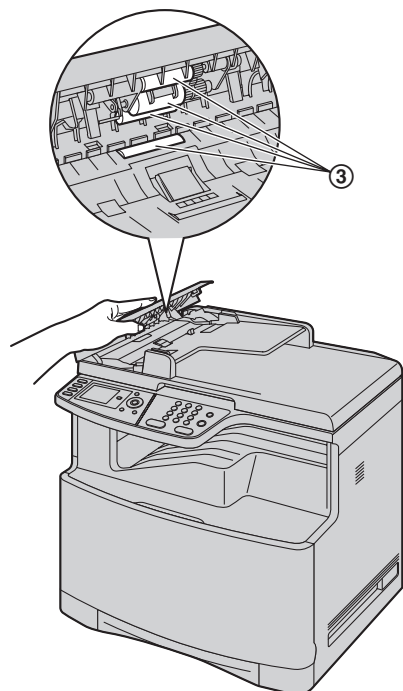
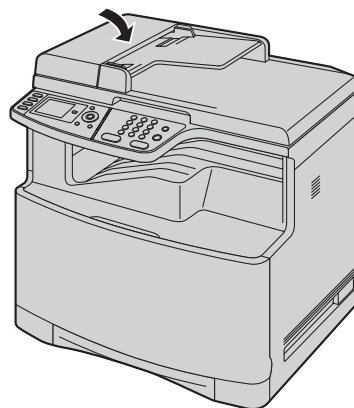
1 ADF（①）を開ける。

2 ADF（②）を保持した状態で、白ガイド／白板（③）と原稿台ガラス（④）を清掃する。

3 ADF（⑤）を閉じる。

12.2 原稿搬送ローラーを清掃する

原稿送りの失敗が頻発するようになったら、ローラーを清掃してください。

お知らせ

- **清掃には、ペーパータオルやティッシュペーパーなどの紙用品を使用しないでください。**

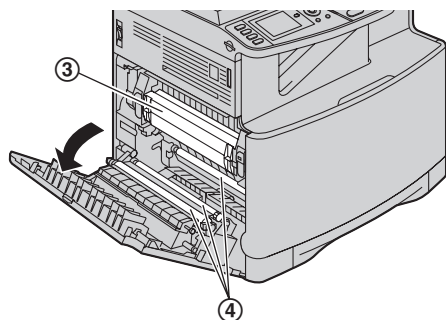
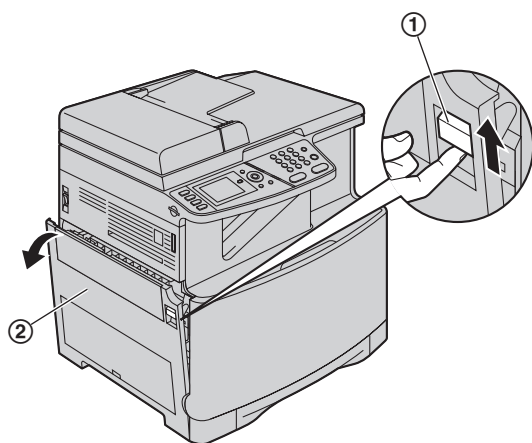
1 電源スイッチをオフにする。

2 ADF（②）を保持した状態で、ADFカバー（①）を開ける。

3 水で湿らせた布を使用して、原稿搬送ローラー（③）を清掃し、すべての部品を十分に乾かす。

4 ADFカバーを閉じる。

5 電源スイッチをオンにする。

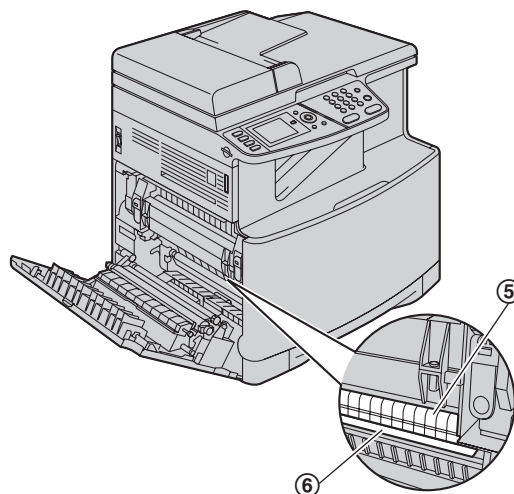
12.3 用紙搬送ガイドを清掃する

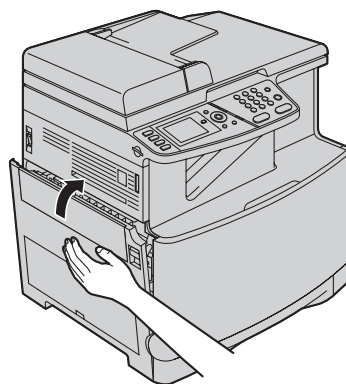
用紙の上または下に線や汚れた模様が現れたら、本機内部の用紙ガイドを清掃してください。

1 電源スイッチをオフにする。

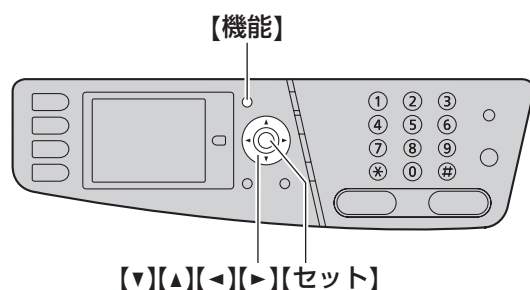
2 リリースレバー（①）を押し上げて、左カバー（②）を開ける。

お知らせ
- **印刷中または印刷直後、定着部（③）は高温になっています。用紙搬送ガイドを清掃する前に、定着部が冷えるまでお待ちください。**

お知らせ
- ローラー（④）には触れないでください。

3 乾いたペーパータオルまたはティッシュペーパーを使用して、用紙搬送ガイド（⑤）を清掃する。

お知らせ
- 黒ベルト（⑥）に触れたり、強く擦ったりしないでください。

4 左カバーを閉じる。

5 電源スイッチをオンにする。

13.1 参考リストおよびレポート

参考用として、次のリストおよびレポートを印刷することができます。
– **“機能設定リスト”**
– **“電話番号リスト”**
– **“ファクス通信履歴”**
– **“同報送信登録リスト”**
– **“テストプリント”**
– **“カラーテスト”**
– **“着信メモリーリスト”**
– **“PCLフォントリスト”**
– **“Eメールアドレスリスト”**
– **“FTPサーバーリスト”**
– **“SMBフォルダーリスト”**

1 【機能】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“レポート印刷”**を選択する。

3 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。

4 【セット】を押して印刷を開始する。→【機能】

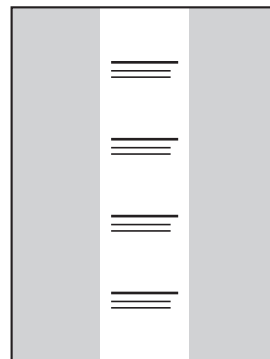
カラーテスト

ブラック、シアン、マゼンタおよびイエローで構成されるカラーテストページを印刷すると、問題のあるドラムカートリッジを特定することができます。
カラーテストページに白い縦線が現れた場合、次の解決法を試してください。

解決法1：ドラムカートリッジの清掃

お知らせ
- **この解決法は、用紙が3枚以上必要です。事前に、給紙カセットに十分な枚数の用紙がセットされていることを確認してください。**

1. 【機能】→【♯】【4】【8】【0】
2. カラーテストページで白い縦線の入っているカラーを選択する。

   【1】**“ブラック”**（初期値）
   【2】**“シアン”**
   【3】**“マゼンタ”**
   【4】**“イエロー”**
3. 【セット】
   - 選択した色を3ページ印刷すると、ドラムカートリッジは自動的に清掃されます。

   - 白い縦線の入っている線すべてに対して、ステップ1～3を繰り返してください。
   - カラーテストをもう一度印刷してください。白い縦線が解消されていない場合、次の解決法を試してください。

解決法2：ドラムカートリッジの交換
- ブラックのテストページに白い縦線が入っている場合、ドラムカートリッジ（モノクロ）を交換してください。
- シアン、マゼンタ、またはイエローのテストページに白い縦線が入っている場合、ドラムカートリッジ（カラー）を交換してください。
- カラーテストをもう一度印刷してください。白い縦線が解消されていない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。

13.2 仕様

■適合回線
公衆電話回線
■直流抵抗値[*1]
322 Ω
■原稿サイズ
最大幅216 mm、最大長さ600 mm
■有効読取幅
208 mm
■有効印刷幅
A4：202 mm
レター／リーガル：208 mm
■電送時間[*2]
約4秒／ページ（ECM-MMRメモリー送信）[*3]
■読取解像度
スキャン解像度
最大600 × 1,200 dpi（光学）
最大9,600 × 9,600 dpi（補間）
コピー解像度
最大600 × 600 dpi
ファクス解像度
水平方向：8 dot/mm
垂直方向：3.85 本/mm- 標準画質
7.7 本/mm- 小さい／写真画質
15.4 本/mm- 細密画質
■写真モード
64階調
■読取方式
接触式イメージセンサー
■記録方式
レーザー電子写真方式
■データ圧縮方式
Modified Huffman（MH）、Modified READ（MR）、Modified Modified READ（MMR）
■モデム通信速度
33,600 / 31,200 / 28,800 / 26,400 / 24,000 / 21,600 / 19,200 / 16,800 / 14,400 / 12,000 / 9,600 / 7,200 / 4,800 / 2,400 bps、自動フォールバック
■使用環境
10 °C - 32.5 °C、20 % - 80 % RH（相対湿度）
■外形寸法
約：幅520 mm × 奥行き438 mm × 高さ546 mm
■質量（重量）
約30 kg
■消費電力
スタンバイ：約20 W
プレヒート：約40 W（印字終了から節電モードタイマー設定値まで。初期値5分）
コピー：約550 W
最大：約1,000 W（定着ランプ作動時）
■電源
100 V AC、50/60 Hz

■メモリー容量
（操作および保存メモリー用）：
192 MB
■ファクスメモリー容量
10 MB（合計）
メモリー受信時：約630ページ
（最大255ページ／受信）
メモリー送信時：約150ページ
（ITU-T No. 1テストチャート（標準解像度）に基づく。）
■スキャンtoEメールアドレス用メモリー容量：
5 MB（合計）（Eメールメッセージを含む）
■スキャンtoFTPサーバー用メモリー容量：
20 MB（合計）
■スキャンtoSMBフォルダー用メモリー容量：
20 MB（合計）
■レーザーダイオード特性
レーザー出力：最大6.5 mW
波長：770 nm - 800 nm
放出持続時間：連続
■印刷速度
カラー
A4：約20 ppm（ページ／分）
レター：約21 ppm（ページ／分）
白黒
A4：約20 ppm（ページ／分）
レター：約21 ppm（ページ／分）
■印刷解像度
最大1,200 × 1,200 dpi

*1 直流抵抗値が300 Ωを超えておりますので、電話をかける、またはファクスを送信することができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。
*2 通信速度はページの内容、解像度、電話回線および相手先のファクス機の能力に応じて異なります。
*3 通信速度は、ITU-T No. 1テストチャートの使用に基づいています（標準解像度使用）。相手先のファクス機の能力が本機よりも劣っている場合、通信時間が長くなることがあります。

ITU-T No.1テストチャート

THE SLEREXE COMPANY LIMITED
SAPORS LANE · BOOLE · DORSET · BH 25 8 ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

お知らせ
- 設計および仕様は予告なく変更されることがあります。
- この説明で使用されている図およびイラストは、実際の製品と多少異なる場合があります。
- 時計の誤差は約±60秒／月です。

用紙の仕様

普通紙／厚口普通紙：
A4：210 mm × 297 mm
レター：216 mm × 279 mm
リーガル：216 mm × 356 mm
B5（JIS）：182 mm × 257 mm*1
B5（ISO）：176 mm × 250 mm*1
216 × 330：216 mm × 330 mm*1
216 × 340：216 mm × 340 mm*1

厚紙A*1／厚紙B*1：
A4：210 mm × 297 mm
レター：216 mm × 279 mm
B5（JIS）：182 mm × 257 mm
B5（ISO）：176 mm × 250 mm

OHPフィルム*1／ラベル紙*1：
A4：210 mm × 297 mm
レター：216 mm × 279 mm

封筒*1：
封筒 長形3号：120 mm × 235 mm
封筒 洋形4号：105 mm × 235 mm
封筒 COM-10：105 mm × 241 mm
封筒 DL：110 mm × 220 mm

はがき*1：
官製はがき：100 mm × 148 mm

用紙重量
60 g/m^2～165 g/m^2

*1 標準カセットのみ

トナーの寿命

ISO/IEC 19798で規定されたページを4,000ページ印刷します。

お知らせ
- ISO/IEC 19798の規定は下記の通りです。
  - 環境：23 ± 2 ℃ / 50 ± 10 % RH（相対湿度）
  - プリントモード：連続印刷
- トナー消費量は、文字の濃さ、太さおよびサイズに応じて変化します。
- トナーセーブ機能を有効にすると、トナーカートリッジは約40 %長持ちします。

ドラムの寿命

ドラムカートリッジは定期的に交換する必要があります。実際のドラムの寿命は、温度、湿度、用紙のタイプ、1回の印刷ジョブあたりの印刷枚数など、さまざまな要因によって左右されます。ドラムの寿命は最長で約10,000枚です。1回あたりの印刷枚数が少ないジョブで本機を頻繁に使用すると、寿命切れまでにドラムが印刷できる実際の枚数はこの推定値を大幅に下回る場合があります。ドラムの寿命に影響を及ぼす要因は制御できないものが多いため、弊社では寿命切れまでにドラムで印刷できる最小枚数を保証することができません。

お知らせ
- 古いドラムカートリッジを使い続けると、不具合の原因になることがあります。これを防止するため、ドラム寿命が切れると、本機はしばらくして印刷を停止します。この場合、ドラムカートリッジを新品に交換するまで、印刷できません。

廃トナーカートリッジの寿命

廃トナーカートリッジは定期的に交換する必要があります。廃トナーカートリッジの寿命は、白黒印刷で印刷密度5 %の場合、最長で約32,000枚、カラー印刷でシアン、マゼンタ、イエローおよびブラックの印刷密度5 %の場合、約8,000枚です。実際の枚数は、原稿の内容に応じて大幅に異なることがあります。

廃棄物の処分方法

- 当社では、環境保護のため使用済みのカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳細は、カートリッジの梱包箱の記載内容をご覧ください。
- 本機が使用済みや不要となり、本機を廃却される場合は、お買い上げの販売店、サービス実施会社にご連絡下さい。

13.3 著作権及びライセンスに関する情報

- この製品はNetBSDカーネルの一部を使用しています。
  NetBSDカーネルの一部使用は、次の一般的なBSDスタイルライセンスに基づいています。

ただし、NetBSDカーネルの一部には次の著作権告知が提供されています。

Copyright (c) 1996,1999 by Internet Software Consortium.
Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.
Copyright (c) 1997 Jonathan Stone and Jason R. Thorpe. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 Christos Zoulas. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 Manuel Bouyer. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997,98 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (C) 1997-2000 Sony Computer Science Laboratories Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997-2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com> All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (C) 1999 WIDE Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000 Jason L. Wright (jason@thought.net) All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000, 2001, 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright 1998 Massachusetts Institute of Technology. All rights reserved.
Copyright 2001 Wasabi Systems, Inc. All rights reserved.
Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.
Portions Copyright (c) 1995 by International Business Machines, Inc.
Copyright (c) 1983, 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 by Internet Software Consortium. All rights reserved.
Copyright (c) 1980, 1986, 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1988 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1992, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1994 Christopher G. Demetriou. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 Gardner Buchanan <gbuchanan@shl.com> All rights reserved.

NetBSDカーネルの一部には、上記のバークレー形式ライセンスとは多少異なるライセンスが提供されています。詳細については、NetBSDカーネルのソースコードを参照してください。
NetBSDカーネルのソースコードはNetBSD CVS Repositories（http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/）から提供されており、この製品には次のディレクトリにあるソースコードの一部が含まれています。
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/

- この製品はNet-SNMPソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

また、この製品には次の告知およびライセンスを含むソフトウェアも含まれています。

/***
Copyright 1988, 1989, 1990 by Carnegie Mellon University
Copyright 1989 TGV, Incorporated

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and TGV not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU AND TGV DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU OR TGV BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
**/

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

/*-
* Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.
* All rights reserved.
*
* This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the
*   following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and
*   the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or
*   promote products derived from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY
* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

```
/*
* Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
* All rights reserved.
*
* This code is derived from software contributed to Berkeley by Tom Truscott.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the
*     following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and
*     the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following
*     acknowledgement:
*     This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its
*     contributors.
* 4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or
*     promote products derived from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY
* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
```

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

- この製品はACMELabsが開発したthttpdソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

```
/*-
* Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.
* All rights reserved.
*
* This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the
*    following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and
*    the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or
*    promote products derived from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY
* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
```

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

- この製品はNetBSDソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

- この製品はMD4およびOpenSSLプロジェクトによって開発されたOpenSSLソフトウェアのDESを含んでおり、SMBプロトコル認証にて使用されます。また、OpenSSLソフトウェアは次の用語とライセンス条件に基づいて使用されています。

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *   the documentation and/or other materials provided with the
 *   distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *   software must display the following acknowledgment:
 *   "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *   for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *   endorse or promote products derived from this software without
 *   prior written permission. For written permission, please contact
 *   openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *   nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *   permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *   acknowledgment:
 *   "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *   for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
 * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
 * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
 * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
 * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
 * OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 * ==
 *
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
 * Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 */

 Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *

```
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to.  The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*    documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
*    must display the following acknowledgement:
*    "This product includes cryptographic software written by
*    Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
*    The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
*    being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
*    the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
*    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/
```

● JPEG

このソフトウェアの一部はIndependent JPEG Groupの研究成果に基づいています。

● libtiffは、Sam LefflerがSilicon Graphics社に在職中に作成したソフトウェアです。

Copyright(C) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright(C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

- zlibは、Jean-loup GaillyおよびMark Adlerが作成したライブラリです。

14.1 索引